令和元年度

主要施策の成果に関する報告書

南風原町

目　　次

資料編

令和元年度会計別決算状況　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・１
一般会計歳入決算状況　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・２
令和元年度町税決算状況　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・３
一般会計歳出決算状況（性質別）　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・４
一般会計歳出決算状況（目的別）　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・５
基金及び町債残高の状況　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・６
町の総合計画にもとづいた令和元年度事業一覧　・・・・・・・・・・・・・・・・７

本　編

１　みんなで考え、みんなで創るわくわくするまち

●情報の共有できるひらかれたまち　・・・・・・・・・・・・・・・・・・１２
●自ら考え、行動し、みんなで創るまち　・・・・・・・・・・・・・・・・・１５

２　きらきらと輝く人が育つまち

●安らぎと豊かな人間関係、生きる力を育む、家庭教育　・・・・・・・１６
●地域に学び、地域を愛する人を育む、ふるさと教育　・・・・・・・・１７
●個性を伸ばし、豊かな心と健やかな体を地域と育む、学校教育・・・２１

３　ちむぐくるでともにつくる福祉と健康のまち

●ちむぐくるで支えあう安心して暮らせるまち　・・・・・・・・・・・・３７
●健康づくりの推進　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・３８
●子ども・子育て支援の充実　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・５８
●障がい者(児)・高齢者支援の充実　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・８２

４　工夫と連携で産業が躍動するまち

●南風原産品を創り伸ばす農業の振興　・・・・・・・・・・・・・・・・９５
●賑わい・就労を創る商業、製造業、新規産業の振興　・・・・・・・９９
●地域の連携で創る観光の振興　・・・・・・・・・・・・・・・・・・１０３
●歴史と伝統を誇る工芸産業の振興　・・・・・・・・・・・・・・・・・１０６

５　みどりとまちが調和した安全・安心のまち

●安全・安心に暮らせるまちづくり　・・・・・・・・・・・・・・・・・１０８
●快適で文化的に暮らせるまちづくり　・・・・・・・・・・・・・・・１１１
●利便性のよい魅力あるまちづくり　・・・・・・・・・・・・・・・・・１２２

６　環境と共生する美しく住みよいまち

●環境への取り組み　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・１３０

７　行財政計画

●効率的で健全な行財政運営　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・１３５

令和元年度会計別 決算状況

（単位：千円）

	年度	予算現額	歳入総額 (A)	歳出総額 (B)	歳入歳出差引額 (A)－(B)＝(C)	翌年度へ繰越す財源 (D)	実質収支 (C)－(D)＝(E)
一般会計	令和元年度	16,074,605	15,472,054	15,300,713	171,341	19,900	151,441
	平成30年度	16,321,587	15,158,961	14,461,219	697,742	14,537	683,205
	差　引	△ 246,982	313,093	839,494	△ 526,401	5,363	△ 531,764
国民健康保険特別会計	令和元年度	4,705,278	4,666,547	4,623,291	43,256	0	43,256
	平成30年度	4,838,673	4,297,760	4,791,878	△ 494,118	0	△ 494,118
	差　引	△ 133,395	368,787	△ 168,587	537,374	0	537,374
下水道事業特別会計	令和元年度	839,064	703,468	690,249	13,219	67	13,152
	平成30年度	796,634	688,168	683,369	4,799	987	3,812
	差　引	42,430	15,300	6,880	8,420	△ 920	9,340
土地区画整理事業特別会計	令和元年度	568,830	587,055	550,897	36,158	15,158	21,000
	平成30年度	834,524	813,566	795,092	18,474	13,221	5,253
	差　引	△ 265,694	△ 226,511	△ 244,195	17,684	1,937	15,747
農業集落排水事業特別会計	令和元年度	26,118	25,400	21,849	3,551	0	3,551
	平成30年度	23,890	23,692	20,945	2,747	2,420	327
	差　引	2,228	1,708	904	804	△ 2,420	3,224
後期高齢者医療特別会計	令和元年度	315,861	316,166	313,481	2,685	0	2,685
	平成30年度	297,062	298,771	296,349	2,422	0	2,422
	差　引	18,799	17,395	17,132	263	0	263
合　　計	令和元年度	22,529,756	21,770,690	21,500,480	270,210	35,125	235,085
	平成30年度	23,112,370	21,280,918	21,048,852	232,066	31,165	200,901
	差　引	△ 582,614	489,772	451,628	38,144	3,960	34,184

一　般　会　計　歳　入　決　算　状　況

（単位：千円）

	令和元年度		平成３０年度		前年度比	
	決算額 A	構成比	決算額 B	構成比	増減額 A-B=C	伸び率 C/B×100
（自主財源） A	6,785,956	43.9	7,040,329	46.4	△ 254,373	△ 3.6
町税	4,268,454	27.6	4,141,771	27.3	126,683	3.1
分担金・負担金	304,067	2.0	389,748	2.6	△ 85,681	△ 22.0
使用料・手数料	80,747	0.5	114,127	0.8	△ 33,380	△ 29.2
財産収入	21,007	0.1	7,981	0.0	13,026	163.2
寄附金	211,948	1.4	60,592	0.4	151,356	249.8
繰入金	691,719	4.5	1,027,720	6.8	△ 336,001	△ 32.7
繰越金	697,742	4.5	854,542	5.6	△ 156,800	△ 18.3
諸収入	510,272	3.3	443,848	2.9	66,424	15.0
（依存財源） B	8,686,098	56.1	8,118,632	53.6	567,466	7.0
地方譲与税	67,605	0.4	68,141	0.5	△ 536	△ 0.8
利子割交付金	1,910	0.0	3,086	0.0	△ 1,176	△ 38.1
配当割交付金	6,774	0.1	5,125	0.0	1,649	32.2
株式譲渡所得割交付金	4,773	0.0	4,436	0.0	337	7.6
地方消費税交付金	637,774	4.1	663,469	4.4	△ 25,695	△ 3.9
自動車取得税交付金	11,157	0.1	19,841	0.2	△ 8,684	△ 43.8
環境性能割交付金	2,198	0.0	0	0.0	2,198	皆増
地方特例交付金	114,050	0.7	22,213	0.2	91,837	413.4
地方交付税	2,146,901	13.9	2,145,659	14.2	1,242	0.1
交通安全対策特別交付金	4,250	0.0	4,675	0.0	△ 425	△ 9.1
国庫支出金	2,809,111	18.2	2,339,983	15.4	469,128	20.0
県支出金	2,023,795	13.1	2,218,604	14.6	△ 194,809	△ 8.8
地方債	855,800	5.5	623,400	4.1	232,400	37.3
合計（A＋B）	15,472,054	100.0	15,158,961	100.0	313,093	2.1

※数値は「令和元年度南風原町一般会計・特別会計歳入歳出決算書」より

令和元年度町税決算状況

（単位：千円）

	令和元年度			平成30年度			令和元－平成30		
	調定額 A	決算額 B	(B/A)×100 =C %	調定額 D	決算額 E	(E/D)×100 =F %	調定額の増減 A-D=G	決算額の増減 B-E=H	決算額の増減率 (H/E)×100 %
町税	4,296,714	4,268,454	99.3	4,173,302	4,141,771	99.2	123,412	126,683	3.1
町民税	1,882,321	1,867,201	99.2	1,797,030	1,783,255	99.2	85,291	83,946	4.7
個人町民税	1,626,106	1,611,932	99.1	1,556,461	1,543,835	99.2	69,645	68,097	4.4
1.現年課税分	1,613,842	1,605,778	99.5	1,540,796	1,536,162	99.7	73,046	69,616	4.5
2.滞納繰越分	12,264	6,154	50.2	15,665	7,673	49.0	△ 3,401	△ 1,519	△ 19.8
法人町民税	256,215	255,269	99.6	240,569	239,420	99.5	15,646	15,849	6.6
1.現年課税分	255,424	255,224	99.9	238,944	238,910	100.0	16,480	16,314	6.8
2.滞納繰越分	791	45	5.7	1,625	510	31.4	△ 834	△ 465	△ 91.2
固定資産税	2,011,679	1,999,948	99.4	1,973,574	1,957,420	99.2	38,105	42,528	2.2
純固定資産税	1,989,727	1,977,996	99.4	1,958,057	1,941,903	99.2	31,670	36,093	1.9
1.現年課税分	1,974,926	1,969,641	99.7	1,934,639	1,928,539	99.7	40,287	41,102	2.1
2.滞納繰越分	14,801	8,355	56.4	23,418	13,364	57.1	△ 8,617	△ 5,009	△ 37.5
国有資産等交付金	21,952	21,952	100.0	15,517	15,517	100.0	6,435	6,435	41.5
軽自動車税	139,995	138,586	99.0	133,852	132,250	98.8	6,143	6,336	4.8
種別割	139,236	137,827	99.0	133,852	132,250	0.0	5,384	5,577	4.2
1.現年課税分	137,790	137,365	99.7	131,924	131,435	99.6	5,866	5,930	4.5
2.滞納繰越分	1,446	462	32.0	1,928	815	42.3	△ 482	△ 353	△ 43.3
環境性能割	759	759	100.0	0	0	0.0	759	759	皆増
町たばこ税	262,719	262,719	100.0	268,846	268,846	100.0	△ 6,127	△ 6,127	△ 2.3
1.現年課税分	262,719	262,719	100.0	268,846	268,846	100.0	△ 6,127	△ 6,127	△ 2.3
2.滞納繰越分	0	0	－	0	0	－	0	0	－
1.現年課税分合計	4,267,412	4,253,438	99.7	4,130,666	4,119,409	99.7	136,746	134,029	3.3
2.滞納繰越分合計	29,302	15,016	51.2	42,636	22,362	52.4	△ 13,334	△ 7,346	△ 32.9

一 般 会 計 歳 出 決 算 状 況 （ 性 質 別 ）

（単位：千円）

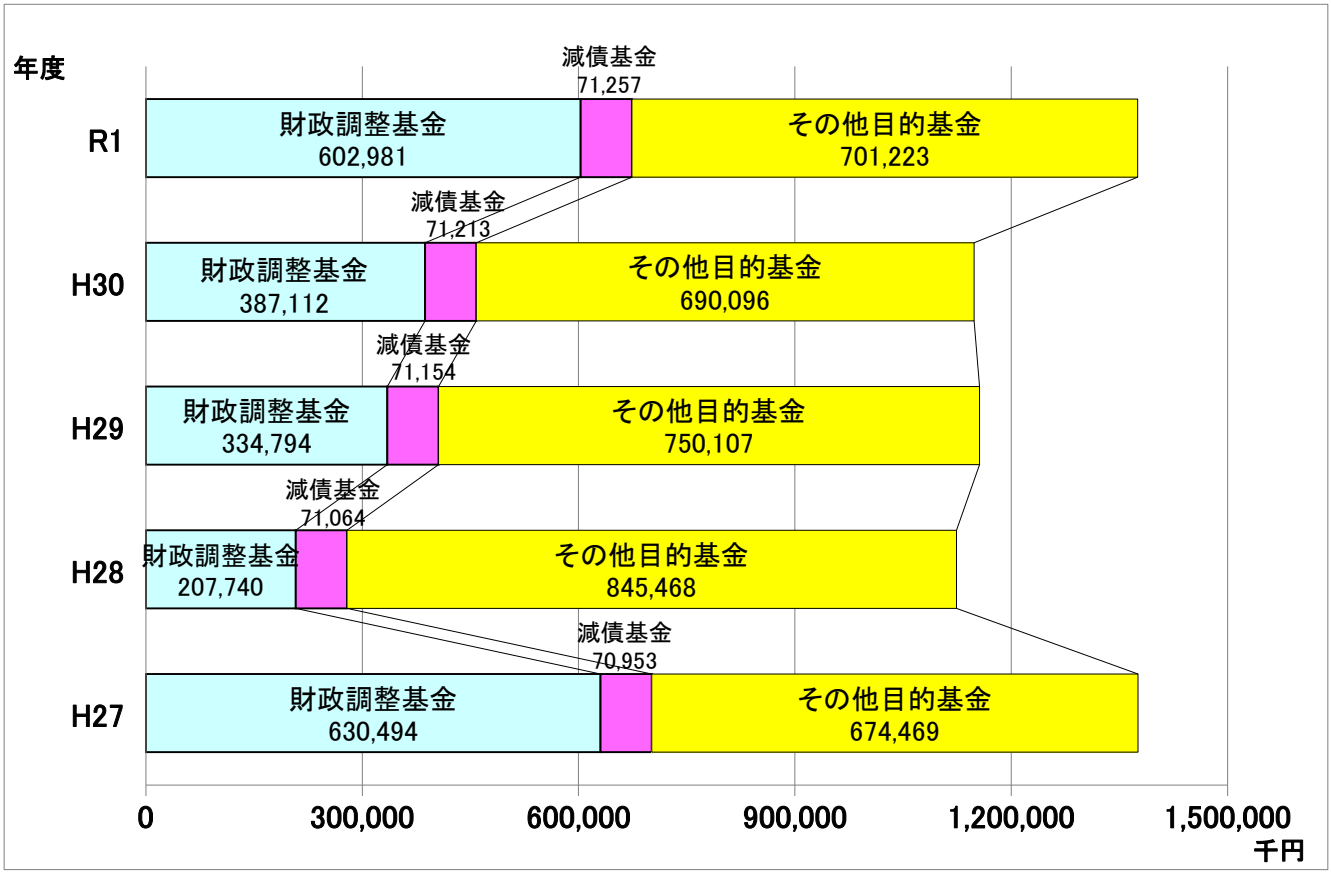
	令和元年度		平成３０年度		前年度比	
	決算額 A	構成比	決算額 B	構成比	増減額 A-B=C	伸び率 C/B×100
（義務的経費）①	7,560,913	49.4	7,347,135	50.8	213,778	2.9
人　　件　　費	1,670,181	10.9	1,703,167	11.8	△ 32,986	△ 1.9
扶　　助　　費	4,841,018	31.6	4,627,627	32.0	213,391	4.6
公　　債　　費	1,049,714	6.9	1,016,341	7.0	33,373	3.3
（投資的経費）②	1,326,638	8.7	968,010	6.7	358,628	37.0
普 通 建 設 事 業	1,317,782	8.6	941,763	6.5	376,019	39.9
災 害 復 旧 事 業	8,856	0.1	26,247	0.2	△ 17,391	△ 66.3
（その他の経費）③	6,413,162	41.9	6,146,074	42.5	267,088	4.3
物　　件　　費	1,890,900	12.4	1,825,528	12.6	65,372	3.6
維 持 補 修 費	11,031	0.1	22,552	0.2	△ 11,521	△ 51.1
補　助　費　等	1,350,421	8.8	1,391,506	9.6	△ 41,085	△ 3.0
積　　立　　金	1,031,976	6.7	1,069,946	7.4	△ 37,970	△ 3.5
投資及び出資金	0	0.0	0	0.0	0	0.0
貸　　付　　金	30,000	0.2	20,000	0.1	10,000	50.0
繰　　出　　金	2,098,834	13.7	1,816,542	12.6	282,292	15.5
合計（①＋②＋③）	15,300,713	100.0	14,461,219	100.0	839,494	5.8

一 般 会 計 歳 出 決 算 状 況 （ 目 的 別 ）

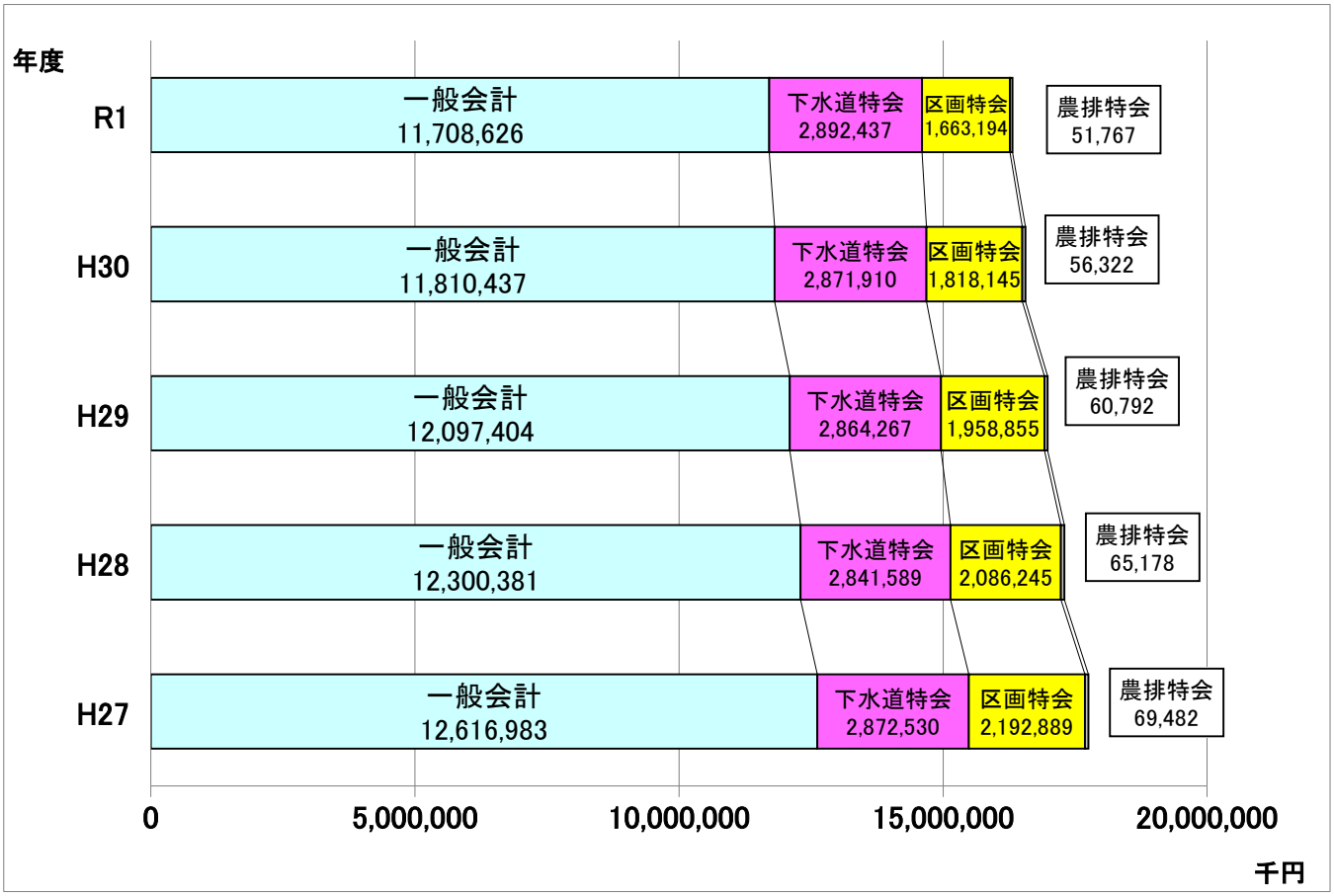
（単位：千円）

	令和元年度		平成３０年度		前年度比	
	決算額 A	構成比	決算額 B	構成比	増減額 A-B=C	伸び率 C/B×100
議会費	120,322	0.8	118,922	0.8	1,400	1.2
総務費	2,126,390	13.9	2,188,339	15.1	△ 61,949	△ 2.8
民生費	7,294,857	47.7	6,564,730	45.4	730,127	11.1
衛生費	959,361	6.3	953,847	6.6	5,514	0.6
労働費	24,287	0.2	25,151	0.2	△ 864	△ 3.4
農林水産費	97,734	0.6	215,802	1.5	△ 118,068	△ 54.7
商工費	155,345	1.0	119,825	0.8	35,520	29.6
土木費	895,194	5.8	965,783	6.7	△ 70,589	△ 7.3
消防費	473,102	3.1	422,174	2.9	50,928	12.1
教育費	2,095,551	13.7	1,844,057	12.8	251,494	13.6
災害復旧費	8,856	0.0	26,247	0.2	△ 17,391	△ 66.3
公債費	1,049,714	6.9	1,016,342	7.0	33,372	3.3
諸支出金	－	－	－	－	－	－
合計	15,300,713	100.0	14,461,219	100.0	839,494	5.8

基金残高の状況



町債残高の状況



令和元年度 主要施策の成果に関する報告書　事業一覧表（第五次総合計画体系別）

まちづくり目標	達成の柱	事業名称	担当課	ページ
みんなで考え、みんなで創るわくわくするまち	情報の共有でひらかれたまち	議会広報広聴活動強化事業	議会事務局	12
		広報・広聴事業	総務課	13
	自ら考え、行動し、みんなで創るまち	区長（自治会長）事務委託事業	総務課	15

まちづくり目標	達成の柱	事業名称	担当課	ページ
きらきらと輝く人が育つまち	安らぎと豊かな人間関係、生きる力を育む、家庭教育	教育相談事業	学校教育課	16
	地域に学び、地域を愛する人を育む、ふるさと教育	子ども平和学習交流事業	生涯学習文化課	17
		国際交流事業（育英会）	生涯学習文化課	18
		学校支援地域本部設置事業	生涯学習文化課	19
		公民館活動の充実事業	生涯学習文化課	20
	個性を伸ばし、豊かな心と健やかな体を地域と育む、学校教育	学校給食用材料に係る経費	教育総務課	21
		調理場運営事業	教育総務課	22
		就学奨励事業	学校教育課	23
		幼稚園就園援助事業	学校教育課	24
		各幼稚園にかかる経費	学校教育課	25
		英会話教育の充実	学校教育課	26
		学校教育事業	学校教育課	27
		特別支援教育支援員（ヘルパー）配置事業	学校教育課	28
		スクール・サポート・スタッフ配置事業	学校教育課	29
		学校ICT推進事業	学校教育課	30
		小学校（学校管理費・教育振興費）	学校教育課	31
		中学校（学校管理費・教育振興費）	学校教育課	32
		学習支援員等配置事業	学校教育課	33
		幼稚園就園奨励事業	こども課	34
		幼稚園体育活動充実事業	教育総務課	35
		幼稚園空調機設置事業	学校教育課	36

令和元年度 主要施策の成果に関する報告書　事業一覧表（第五次総合計画体系別）

まちづくり目標	達成の柱	事業名称	担当課	ページ
ちむぐくるでともにつくる福祉と健康のまち	ちむぐくるで支えあう安心して暮らせるまち	社会福祉団体育成事業	こども課	37
	健康づくりの推進	国民健康保険事業（国民健康保険特別会計）	国保年金課	38
		高齢者医療対策費	国保年金課	42
		婦人がん検診事業	国保年金課	43
		住民健診（健康診査）事業	国保年金課	44
		後期高齢者医療事業(後期高齢者医療特別会計)	国保年金課	45
		新生児妊産婦訪問指導事業	国保年金課	46
		未熟児養育医療事業	国保年金課	47
		1歳6か月児健康診査事業	国保年金課	48
		3歳児健康診査事業	国保年金課	49
		妊婦一般健康診査事業	国保年金課	50
		乳児一般健康診査事業	国保年金課	51
		長寿県復活　食の応援事業	国保年金課	52
		予防接種事業	国保年金課	53
		介護予防事業	保健福祉課	54
		認知症施策推進事業	保健福祉課	56
		介護保険運営事業	保健福祉課	57
	子ども・子育て支援の充実	宮平保育所運営事業	こども課	58
		認可保育園事業・補助（保育所運営費）	こども課	59
		延長保育促進事業	こども課	60
		障がい児保育事業（町単独事業）	こども課	61
		認可保育園事業・町単独事業	こども課	62
		地域型保育事業・補助	こども課	63
		保育対策総合支援事業	こども課	64
		保育所等整備交付金事業	こども課	65
		利用者支援事業	こども課	66
		認可外保育園事業・町単独事業	こども課	67
		認可外保育園事業・補助事業	こども課	68
		ひとり親家庭認可外利用料補助事業	こども課	69

令和元年度 主要施策の成果に関する報告書　事業一覧表（第五次総合計画体系別）

まちづくり目標	達成の柱	事業名称	担当課	ページ
ちむぐくるでともにつくる福祉と健康のまち	子ども・子育て支援の充実	母子父子家庭医療費助成事業	こども課	70
		こども医療費助成事業	こども課	71
		子供の貧困緊急対策事業	こども課	72
		病児保育事業	こども課	73
		児童館運営事業・単独	こども課	74
		学童保育事業・補助	こども課	75
		放課後児童の居場所づくり支援事業	こども課	76
		ファミリーサポートセンター事業	こども課	77
		地域子育て支援拠点事業	こども課	78
		児童手当事業	こども課	79
		認定こども園事業・補助	こども課	80
		正規雇用化促進事業	こども課	81
	障がい者（児）・高齢者支援の充実	包括的支援事業	保健福祉課	82
		生活支援体制整備事業	保健福祉課	83
		家族介護支援事業	保健福祉課	84
		在宅医療・介護連携推進事業	保健福祉課	85
		高齢者地域支援体制整備・評価事業	保健福祉課	86
		重度心身障害者医療費助成事業	保健福祉課	88
		自立支援医療費事業	保健福祉課	89
		市町村地域生活支援事業	保健福祉課	90
		介護給付・訓練等給付事業	保健福祉課	92
		敬老会事業	保健福祉課	93
		高齢者祝金支給事業	保健福祉課	94

令和元年度 主要施策の成果に関する報告書　事業一覧表（第五次総合計画体系別）

まちづくり目標	達成の柱	事業名称	担当課	ページ
工夫と連携で産業が躍動するまち	南風原産品を創り伸ばす農業の振興	農業委員会運営事業	産業振興課	95
		新規就農一貫支援事業	産業振興課	96
		地力増強対策事業	産業振興課	97
		多面的機能支払交付金	まちづくり振興課	98
	賑わい・就労を創る商業、製造業、新規産業の振興	住宅リフォーム支援事業	まちづくり振興課	99
		商工会の育成強化	産業振興課	100
		商品開発・技術力強化事業	産業振興課	101
	地域の連携で創る観光の振興	観光事業	産業振興課	103
		観光PR促進事業	産業振興課	104
		黄金森公園スポーツ施設活性化事業	教育総務課	105
	歴史と伝統を誇る工芸産業の振興	琉球絣等伝統工芸事業	産業振興課	106

まちづくり目標	達成の柱	事業名称	担当課	ページ
みどりとまちが調和した安全・安心のまち	安全・安心に暮らせるまちづくり	防災体制強化事業	総務課	108
		不発弾処理促進事業	総務課	109
		災害時等避難施設改修事業	総務課	110
	快適で文化的に暮らせるまちづくり	津嘉山公園整備事業	都市整備課	111
		都市公園管理事業	まちづくり振興課 都市整備課	112
		下水道事業（下水道事業特別会計）	区画下水道課	113
		農業集落排水事業（農業集落排水事業特別会計）	区画下水道課	119
	利便性のよい魅力あるまちづくり	道路維持事業	まちづくり振興課	122
		都市計画振興事業	まちづくり振興課	123
		町道10号線道路改良事業	都市整備課	124
		町道73号線道路改良事業	都市整備課	125
		津嘉山中央線街路事業	都市整備課	126
		津嘉山北土地区画整理事業（土地区画整理事業特別会計）	区画下水道課	127

令和元年度 主要施策の成果に関する報告書　事業一覧表（第五次総合計画体系別）

まちづくり目標	達成の柱	事業名称	担当課	ページ
環境と共生する美しく住みよいまち	環境への取り組み	環境保全対策事業	住民環境課 区画下水道課	130
		指定ごみ袋還元基金事業	住民環境課	133
		ごみ処理対策事業	住民環境課	134

まちづくり目標	達成の柱	事業名称	担当課	ページ
行財政計画	効率的で健全な行財政運営	議会運営事業	議会事務局	135
		企画事務事業	企画財政課	136
		電子計算事務事業	企画財政課	137
		ふるさと納税推進事業	企画財政課	138
		住基・印鑑登録・旅券事務事業	住民環境課	139
		町県民税に係る経費	税務課	140
		固定資産税に係る経費	税務課	141
		賦課徴収事業	税務課	142

１　みんなで考え、
みんなで創るわくわくするまち

令和元年度主要施策の成果に関する報告書

単位：千円

事業名	議会広報広聴活動強化事業			予算科目	会計	一般会計	01
部　課	議会事務局	局長名	比嘉　勝治		款	議会費	01
連絡先	889－3097				項	議会費	01
目　標	みんなで考え、みんなで創るわくわくするまち				目	議会費	01

事業の目的	対象（誰を・何を）	意図（どういう状態にしたいのか）
	町民など	議会の活動状況を広く町民に知らせます。 議会だよりは、町民への情報公開としての役割があり、議会の審議、活動状況を広く町民に知らせる重要な役割を担っています。

事業の実施内容

1. 議会広報紙「はえばる議会だより」を定例会ごとに年4回発行しています。表紙写真や町民の声を公募し、表紙の題字は各小学校から推薦された児童に提供してもらう等、町民が議会活動により関心を持つよう工夫しています。

2. 議会の活動内容をより詳しく伝えるため、全戸配布に加え公共施設、金融機関、医療機関、コンビニや大型商業施設等にも広報委員自らが設置依頼し、広報活動に努めています。

3. 町議会ホームページの充実を図るため、はえばる議会だよりや会議録を掲載しています。また、定例会・臨時会の審議結果や議員個々の賛否、議会運営の動き、毎月のスケジュール等を公開するなど、議会活動を町民にわかりやすく伝えることを常に心がけ、情報発信に努めています。

4. 令和元年度は、5月20日の議会報告会、10月17日の町民生委員・児童委員連合会、2月5日の町学童保育連絡協議会と意見交換会を行い、貴重なご意見を伺うことができました。今後もあらゆる機会を通して、町民の意見等を議会の討議及び政策に反映させるよう努めていきます。

○議会広報紙「はえばる議会だより」発行　（電子版は町ホームページに掲載）
A4版　12ページ　　発行部数　16,000部×4回
予算額　1,688千円　　決算額　1,657千円

▲第8回議会報告会（イオン南風原店）

▲町民生委員・児童委員連合会との意見交換会

事業の成果

議会広報紙「はえばる議会だより」は分かりやすく、町民に関心をもっていただく文面・写真の選定を心がけ編集し、各広報委員においても積極的に研修会へ参加することで編集能力の向上に努め、町民の目線に立った広報紙づくりに取り組みました。また、「はえばる議会だより」の発行や町議会ホームページ等の充実によって、議会活動を分かりやすく町民に伝え、【開かれた議会】を目指し、多くの広報広聴活動を実施することで町民の貴重なご意見を伺うよう努めています。

予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳				
			国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
	1,688	1,657					1,657

令和元年度主要施策の成果に関する報告書

単位：千円

事業名	広報・広聴事業			予算科目	会計	一般会計	01
部課	総務部　総務課	課長名	新垣　圭一		款	総務費	02
連絡先	889－4415				項	総務管理費	01
目標	みんなで考え、みんなで創るわくわくするまち				目	文書広報費	02

事業の目的	対象（誰を・何を）	意図（どういう状態にしたいのか）
	町民など	広報誌やホームページ、掲示板等を用いて町行政情報を発信し、住民との情報共有を図ることを目的としています。また、ホームページ等を用いて、町行政に対する住民の意見、要望、提案等を反映させます。

事業の実施内容

○広報誌『広報はえばる』の発行　　印刷製本費　4,212千円（二色刷16ページ）

・表やイラスト、写真等を使い、分かりやすく、興味を持ってもらえるようなレイアウトを心がけました。
・学習ボランティア等を紹介するため、固定のコーナーを設けています。

年度	印刷製本代	毎月発行部数	1部単価
R1	4,212千円	16,000部	22.0円
H30	6,588千円	15,000部	36.6円
H29	6,156千円	14,300部	35.9円

令和元年度の有料広告掲載状況
掲載会社　14社　のべ118枠
広告収入　2,148千円

・町内全戸配布（区長委託方式）、さらに県外、国外（ブラジル、カナダなど）の町人会にも郵送しています。
・ショッピングセンター、スーパーにも設置しています。

スマートフォンアプリ「マチイロ」でPUSH配信により広報を配信しています！

○ホームページの充実　　（町HP　http://www.town.haebaru.lg.jp）
ポータルサイトデータセンター保守委託料　523千円

・見やすく・分かりやすい情報の提供及び掲載情報の充実を図りました。
・町広報・議会広報等各種出版物について、電子ブックでも公開することにより、パソコンだけでなく、スマートフォンからも見やすくなりました。それにより、着実にホームページのアクセス数も増加しています。
・多くの情報をタイムリーに提供していきます。

ホームページアクセス数/日	
R1	2,046件
H30	2,281件
H29	2,097件

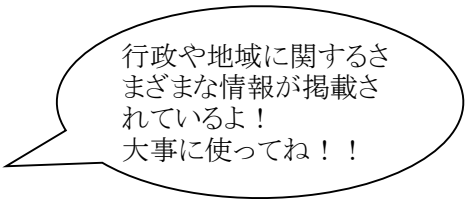
次ページへつづく →

事業の実施内容

○広報掲示板設置工事　130 千円

各字、自治会に設置されている掲示板の修繕、移設、新設などを行っています。

・令和元年度は、修理、撤去等でのべ9件ありました。
（面板交換・修理8件、移設1件。主に老巧化や、台風被害による破損等）
・町内には現在約160の掲示板があり、行政や地域の情報発信に利用されています。



○LED電光掲示板　光熱水費・修繕費　381千円

・兼城交差点にある「南風原町LED電光掲示板」で、行政情報をはじめとする町のさまざまな情報を発信しています。

○日本広報協会負担金　15千円

・広報活動の技術向上を図るために、日本広報協会に参加しています。

○その他広報公聴活動経費　140千円

・広報誌の県内関係機関や県外・国外町人会等への郵送代や、消耗品費等。

○まちメール

・町民の皆さまからのご意見やご提案をお伺いし、町政運営の施策に反映するため、ホームページや庁舎1階に町政提案箱を設置しています。
・R1年度に町政提案箱に届いた件数：8件

○行政懇談会

・町民のニーズを把握し、町民の声を反映した町政運営を行うことを目的に、町民の皆さまと南風原町長が町行政について話し合う行政懇談会を2年を周期として各地域が希望する時期に合わせて開催しています。

事業の成果

住民の行政に対する意見、質問、要望や提案など、住民ニーズを的確に把握するため、住民との情報共有に努めるとともに、行政側から積極的に情報を発信することを心がけました。広報誌で発信している行政情報を広く届けるため、戸別配布、ホームページに加え、スマートフォンアプリ「マチイロ」を利用し配信を行っています。また、広報誌に掲載した内容はホームページへ掲載するよう呼びかけを行い、情報発信に対する職員の意識向上を図りました。加えて、積極的に財源を確保するという観点から広報誌への有料広告の掲載を行っています。また行政懇談会を開催することで、住民の皆さまからの意見聴取、情報共有を図りました。

予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳				
			国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
	5,481	5,401					5,401

令和元年度主要施策の成果に関する報告書

単位：千円

事業名	区長（自治会長）事務委託事業			予算科目	会計	一般会計	01
部課	総務部　総務課	課長名	新垣　圭一		款	総務費	2
連絡先	889－4415				項	総務管理費	1
目標	みんなで考え、みんなで創るわくわくするまち				目	諸費	11

事業の目的	対象（誰を・何を）	意図（どういう状態にしたいのか）
	町内全字・全自治会	町政を円滑に運営するため事務委託要綱に定めている事務を委託します。

事業の実施内容

◆　区長（自治会長）事務委託料　　43,725千円

本町が委託する業務は下記のとおりとなっております。

①広報・連絡事務

広報誌配布・広報掲示板への掲示等

②災害時協力事務

災害時における一時避難所対応等

③その他

- 諸統計調査に関すること。
- 保健衛生に関すること。
- 援助物資の配給に関すること。
- 社会福祉事業に関すること。
- 国民健康保険に関すること。
- 災害救助に関すること。
- 環境に関すること。
- 町県民税に関すること。
- 土地事務に関すること。
- 農業関係の調査協力に関すること。
- 家畜に関すること。
- 林業に関すること。
- 商工鉱業に関すること。
- 耕地、農業土木に関すること。
- 土木事業及び維持管理に関すること。
- 都市計画に関すること。
- 選挙の啓蒙に関すること。
- 議会における調査審査の協力に関すること。
- その他各課及び消防、選挙、議会、教育及び農業において必要とする事項

事業の成果

各字・自治会へ各種事務事業を委託する事で町政を円滑に運営することができました。

予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳				
			国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
	43,725	43,725					43,725

２　きらきらと輝く人が育つまち

令和元年度主要施策の成果に関する報告書

単位：千円

事業名	教育相談事業			予算科目	会計	一般会計	01
部課	教育部　学校教育課	課長名	宮良　泰子		款	教育費	10
連絡先	889－6181				項	教育総務費	01
目標	きらきらと輝く人が育つまち				目	事務局費	02

事業の目的	対象（誰を・何を）	意図（どういう状態にしたいのか）
	町立小・中学校の児童生徒、保護者、教諭等	児童・生徒における不登校、特別支援教育等の課題について、青少年教育相談員、特別支援教育相談員、心の教室相談員、学習支援員が、学校及び関係機関と連携して教育相談等により解決に努めます。

事業の実施内容

1. 報酬・報償費 （予算額　15，614千円、決算額　15，562千円）

○教育相談支援センターに青少年教育相談員、各小中学校に心の教室相談員を配置し、児童生徒、保護者等の教育相談行い、不登校の改善に務めました。また、教育委員会に特別支援教育相談員を配置し、発達障害等の子どもへの対応に悩みを持つ保護者に対して相談等の支援を行いました。
○中学校に学習支援員（適応教室指導員、自立支援教室指導員）を配置し、教室に入れない生徒に個別指導等の学習支援を行い基礎学力の定着に努めました。

2. 需用費、役務費等 （予算額　329千円、決算額　307千円）

○相談業務に必要な消耗品や通信費、傷害保険料を支出しました。

南風原町の不登校児童・生徒の現状について（平成26年度～令和元年度）

（小学校）

年度	H26			H27			H28			H29			H30			R1		
	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計
10～30日未満	7	2	9	1	2	3	4	9	13	12	8	20	19	24	43	33	26	59
30日以上	4	4	8	5	4	9	8	6	14	21	15	36	28	18	46	22	16	38
計	11	6	17	6	6	12	12	15	27	33	23	56	47	42	89	55	42	97

（中学校）

年度	H26			H27			H28			H29			H30			R1		
	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計
10～30日未満	2	6	8	1	1	2	3	6	9	10	7	17	6	6	12	22	24	46
30日以上	13	20	33	6	6	12	15	11	26	28	19	47	33	37	70	38	40	78
計	15	26	41	7	7	14	18	17	35	38	26	64	39	43	82	60	64	124

※不登校の定義-「何らかの心理的、情緒的、身体的あるいは社会的要因・背景により、登校しないあるいはしたくともできない状況にあるため年間30日以上欠席した者のうち、病気や経済的な理由による者を除いたもの」（文部科学省定義）

事業の成果

10日以上欠席している児童・生徒について、前年度と比較すると小学生は8人増、中学生で42人増となっており増加傾向となっていることが課題です。不登校の要因として小学校では「無気力、不安」や「親子の関わり方」が多く、中学校では「無気力、不安」、「生活リズムの乱れ・あそび・非行」が多くなってます。
教育相談員は、学校や関係機関と連携し、個別会議や全体会議（登校支援会議等）を開催し、不登校児童・生徒の解消に努めています。また、学校や家庭と連携し、不登校児童・生徒の心情や不登校になった背景の理解に努め、学校に登校しやすい雰囲気づくりや訪問相談等を行っています。令和元年度の不登校児童・生徒のうち、登校復帰した児童・生徒は小学生で17人、中学生で9人となっています。

予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳				
			国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
	15,943	15,869	0	12,396	0	0	3,473

令和元年度主要施策の成果に関する報告書

単位：千円

事業名	南風原町子ども平和学習交流事業			予算科目	会計	一般会計	01
部課	教育部　生涯学習文化課	課長名	島袋　健		款	総務費	02
連絡先	889－7399				項	総務管理費	01
目標	きらきらと輝く人が育つまち				目	地域づくり推進事業	12

事業の目的	対象（誰を・何を）	意図（どういう状態にしたいのか）
	町内の4小学校の6年生	集まったメンバーが仲間意識を持って協力して学習し合い、平和や戦争、人権や差別などについて自分の考えや意見を積極的に交換できるようにします。あらゆる社会の出来事に目を向け、自分のこととして社会をより深く理解しようとする人材育成に努めます。

事業の実施内容

町内の子どもたちに戦争や平和、人種や人権差別などについて、他地域の関係者や体験者の講話をはじめ、子どもたちとの交流研修、施設見学をさせることによって視野を広め、学習を深めさせる目的で実施しています。令和元年度は6年生を各学校から2人推薦していただき、合計8人の児童で宿泊研修を含む事前研修を数回（太平洋戦争・沖縄戦・広島原爆・松代大本営壕・ハンセン病と愛楽園・宮森ジェット事故墜落60周年に例祭・飯上げ体験など）実施し、報告激励会を開催。その後、沖縄市でのピースフェスタに参加し、夏休みには、3泊4日で、広島、京都、大阪へ本研修に出かけました。その後もその報告会を開催し、卒業までに報告書の作成に取り組みました。

【令和元年度事業のスケジュール】

・令和元年5月
4小学校の6年生の児童たちに学校を通して周知していただき、募集要項と申込用紙を配布し、希望者8人を決定しました。

・令和元年6月～8月

■数回にわたり、宿泊研修を含み事前研修。太平洋戦争・沖縄戦・広島原爆・松代大本営壕・ハンセン病と愛楽園・宮森ジェット事故墜落60周年慰霊祭参加・飯上げ体験など実施。
■本研修　7／31～8／3に京都、大阪、広島へ（立命館大学国際平和ミュージアム、ホロコースト記念館、広島平和記念資料館と平和公園、広島市内の戦跡めぐり）。
■事前研修後、本研修後に、報告会を開催し、学んだことをまとめて発表しました。
■報告書の作成。事前学習、本研修すべてを終了し、それぞれ学んだことをまとめました。

	【予算額】	【決算額】
引率旅費（職員、引率教諭特別旅費等）	190千円	188千円
平和学習ガイド、講師謝礼金等	100千円	84千円
施設使用料	10千円	0千円
補助金（生徒9人）	820千円	645千円
合計	1，120千円	917千円

ホロコースト記念館で

広島原爆ドーム前

宿泊所でまとめ学習

事業の成果

初めて会うメンバーとも研修を重ねる内に打ち解け、学習を継続してきました。疑問に思ったり、したことを素直に聞けるようになったり、研修後との作文も上手になりました。「平和学習」で、なぜ人権学習か、「平和」を作るとはどんなことかをそれぞれが考えるようになり、素直な表現で報告書を作成することができました。戦争の歴史を伝えるガイドの皆さんの話を聞くにつれ、体験者ではなくても、学習や研究によって平和の構築に貢献できることや、自分にできることを見つけようと努力している様子がうかがえました。

予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳				
			国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
	1,120	917		734			183

令和元年度主要施策の成果に関する報告書

単位：千円

事業名	国際交流事業（育英会）			予算科目	会計	一般会計	01
部　課	教育部　生涯学習文化課	課長名	島袋　健		款	総務費	02
連絡先	889－0568				項	総務管理費	01
目　標	きらきらと輝く人が育つまち				目	地域づくり推進事業費	12

事業の目的	対象（誰を・何を）	意図（どういう状態にしたいのか）
	町内の中学生の国際交流	国際交流事業は中学生を海外に派遣し、ホームステイや学校体験入学等を通して、国際化時代に対応しうる青少年を育てます

事業の実施内容

・南風原町育英会補助金（国際交流事業）　予算額　4，841千円　　決算額　4，841千円

〇令和元年度の内容（派遣期間：令和元年10月16日～10月25日）

今回の国際交流事業は、団長、引率2名、団員10名の計13名がカナダ国ブリティッシュコロンビア州バンクーバー、アルバータ州バンフ、カルガリーへ派遣され、ホームステイやミドルスクールへの体験入学、町人会、県人会、ホストファミリーとのパーティー、資料館・牧場の見学等の研修が実施されました。今後、団員がこの研修に参加したことにより大きく成長し、学校や地域でリーダーとして活躍することを期待しています。

バンフ国立公園で雪景色と雪上車

カルガリーオキナワンクラブの皆さんと夕食会

レスブリッジ市長訪問

ホストファーザーのダリルさんのお世話になりました。

金城嘉孝さんの空手道場で交流

事業の成果

国際交流事業については、町内の中学生を海外（令和元年度はカナダ）へ派遣し、現地の教育・文化・歴史産業などを視察学習、ミドルスクール（中学校）への体験入学、ホームステイを行い、国際的視野を広げていくこと及びホストファミリーとの関わりを通して人とのつながりを感じ学ぶことができました。

予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳				
			国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
	4,841	4,841		3,872			969

令和元年度主要施策の成果に関する報告書

単位：千円

事業名	学校支援地域本部設置事業			予算科目	会計	一般会計	01
部課	教育部　生涯学習文化課	課長名	島袋　健		款	教育費	10
連絡先	889－0568				項	社会教育費	05
目標	きらきらと輝く人が育つまち				目	社会教育総務費	01

事業の目的	対象（誰を・何を）	意図（どういう状態にしたいのか）
	町内の小学生・中学生及び地域住民など	地域全体で学校を支援することで、子どもたちが多様な体験・経験ができ、学校教育の充実を図ります。また、地域住民の学習成果の活用機会の拡充及び地域の教育力の活性化を図り、地域と連携する事で地域に開かれた学校としての環境を整備します。

事業の実施内容

	予算額	決算額
○学校支援地域本部設置事業	6,443 千円	6,310 千円
主な経費		
報償費（地域コーディネーター5名分、実行委員謝礼金）	5,828 千円	5,812 千円
需用費（消耗品、食料費、印刷製本費）	326 千円	316 千円
役務費（通信運搬費・ボランティア活動保険・振込手数料	289 千円	182 千円

○事業実施内容

① 実行委員会を2回、教頭連絡会を2回開催。

② 学校支援ボランティア　　参加人数　498人（延べ人数　1,719人）

③ 地域コーディネーターの配置　5名

④ 学校支援ボランティア懇親会の開催（令和元年7月25日）　158名参加
　学校支援ボランティア・実行委員会・教育委員会・学校関係者を一堂に会して、日頃のボランティア活動への感謝を込めた懇親会を開催しました。会では、地元野菜を使った手作り料理が振る舞われ、また、児童生徒たちからのビデオレターと感謝の手紙の展示、活動写真のスライドショーを上映しました。

⑤ 広報活動として、『広報はえばる』への掲載　全12回。壁新聞の発行　14回。
夏休みにイオン南風原店内で、税の申告時期には役場ロビーで活動写真を展示。
ボランティア募集ポスターの掲示、チラシを配布。

↑学習支援の様子
（クラブ活動三線の指導）

↑ボランティア懇親会の様子
（ボランティアさんへビデオレターで感謝を伝えました）

事業の成果

町内6小中学校で学校支援活動を実施し、各学校で地域住民等の皆さんによる学校支援の活動分野が広がり、子どもと地域の人のふれあう機会が増えました。また、行き届いた指導が行われ教員の負担が軽減されたり、地域学習では教師側も地域の歴史や文化を学ぶ事で学習内容の深化ができたりし、学校教育の充実を図ることができました。さらに、地域住民がこれまで学んできた知識や経験等を生かす場が広がり、地域の教育力の活性化及び地域のきずなづくりも図ることができました。

予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳				
			国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
	6,443	6,310		4,972			1,338

令和元年度主要施策の成果に関する報告書

単位：千円

事業名	公民館活動の充実事業			予算科目	会計	一般会計	01
部課	教育部　生涯学習文化課	課長名	島袋　健		款	教育費	10
連絡先	889－0568				項	社会教育費	05
目標	きらきらと輝く人が育つまち				目	公民館費	02

事業の目的	対象（誰を・何を）	意図（どういう状態にしたいのか）
	町民・サークル活動等公民館利用関係者	公民館まつり等の行事を行うことにより、町民の生涯学習の向上を図り、郷土文化の継続発展につなげます。

事業の実施内容

・主な経費

	予算額	決算額
	32,029 千円	31,585 千円
公民館まつり報償費	50 千円	48 千円
需用費（光熱水費等）	9,402 千円	9,341 千円
役務費（通信運搬費等）	580 千円	472 千円
その他（冷房管理・舞台操作業務等）	21,997 千円	21,724 千円

事業の成果

「公民館まつり」を実施することにより、町民や・サークル会員の一年間の活動の集大成として舞台の部、展示の部、体験コーナーと日頃の成果を発表する事ができました。

予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳				
			国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
	32,029	31,585					31,585

令和元年度主要施策の成果に関する報告書

単位：千円

事業名	学校給食用材料に係る経費			予算科目	会計	一般会計	01
部　課	教育部　教育総務課	課長名	比嘉 純子		款	教育費	10
連絡先	889－3691				項	保健体育費	06
目　標	きらきらと輝く人が育つまち				目	学校給食賄費	03

事業の目的	対象（誰を・何を）	意図（どういう状態にしたいのか）
	町立の幼稚園の園児、小学校・中学校の児童・生徒	「食」について正しい理解と習慣を養い、栄養の確保に十分配慮した「おいしく・楽しい・魅力ある学校給食」を実現します。

事業の実施内容

園児児童生徒に給食を提供することで、食事について正しい理解を深め健全な食生活を営むことができる判断力を培い、学校生活を豊かにし、明るい社交性及び共同の精神を養います。また、園児児童生徒の健康の増進を図り、食料の生産・消費についての理解を深めます。

一年間に幼稚園児は一人当たり一食207円で月額3,000円の11ヶ月分、小学生は一人当たり一食209円で月額3,800円の11ヶ月分、中学生は一食237円で月額4,300円の11ヶ月分の給食費を徴収しています。

賄い材料費として、231,026千円を食材等の購入に支出しました。

	予算額	決算額
・需用費（賄い材料費）	244,757千円	231,026千円

パンを揚げる作業

事業の成果

安全でおいしい給食の提供や地産地消の取り組みとして、関係機関と連携して町内産、県内産の食材を使った給食を提供しました。

給食費については、納付相談後に分納誓約を交わし計画的に納付してもらう方法、児童手当給付での納付促進、現年度分各納期毎に未納者への督促の結果、現年度分213,000千円（前年度217,114千円）、収納率98.49％(前年度96.04％）、滞納繰越分9,249千円（前年度6,216千円）、収納率は13.53％（前年度9.85％）となりました。

予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳				
			国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
	244,757	231,026	2,883			222,249	5,894

令和元年度主要施策の成果に関する報告書

単位：千円

事業名	調理場運営事業			予算科目	会計	一般会計	01
部　課	教育部　教育総務課	課長名	比嘉 純子		款	教育費	10
連絡先	889－3691				項	保健体育費	06
目　標	きらきらと輝く人が育つまち				目	共同調理場運営費	02

事業の目的	対象（誰を・何を）	意図（どういう状態にしたいのか）
	町立の幼稚園の園児、小学校・中学校の児童・生徒	いつも、安全・安心でおいしい給食が提供できるよう、衛生的な施設の維持を図ります。

事業の実施内容

安全・安心でおいしい給食を提供するために、学校給食共同調理場の施設・設備等は常に清潔で、安全に稼働できるようにしておかなければなりません。そのために、人の体に悪影響を与える細菌がいないか定期的に検査したり、機械・設備等が安定的に稼働できるように専門業者に業務委託をしています。

	予算額	決算額
・需用費	3,864千円	3,660千円
・役務費	695千円	694千円
・委託料（野そ等防除委託料等）	6,616千円	6,611千円
・使用料及び賃借料（マイコンスライサー使用料等）	638千円	537千円
・備品購入費（二重食缶等）	15,954千円	3,100千円
・公課費	119千円	119千円
合　計	27,886千円	14,721千円

人気の献立（ちらしずし・ハンバーグ）

人気の献立（スパゲティー・グラタン）

事業の成果

学校給食衛生安全基準を遵守し、調理員や施設・設備の衛生管理を徹底しました。それにより、児童生徒の適切な栄養摂取による健康の保持、増進を図るための「安全・安心でおいしい」給食を提供することができました。

予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳				
			国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
	27,886	14,721					14,721

令和元年度主要施策の成果に関する報告書

単位：千円

事業名	就学奨励事業			予算科目	会計	一般会計	01
部課	教育部　学校教育課	課長名	宮良　泰子		款	教育費	10
連絡先	889－6181				項	小学校費・中学校費	2・3
目標	きらきらと輝く人が育つまち				目	教育振興費	02

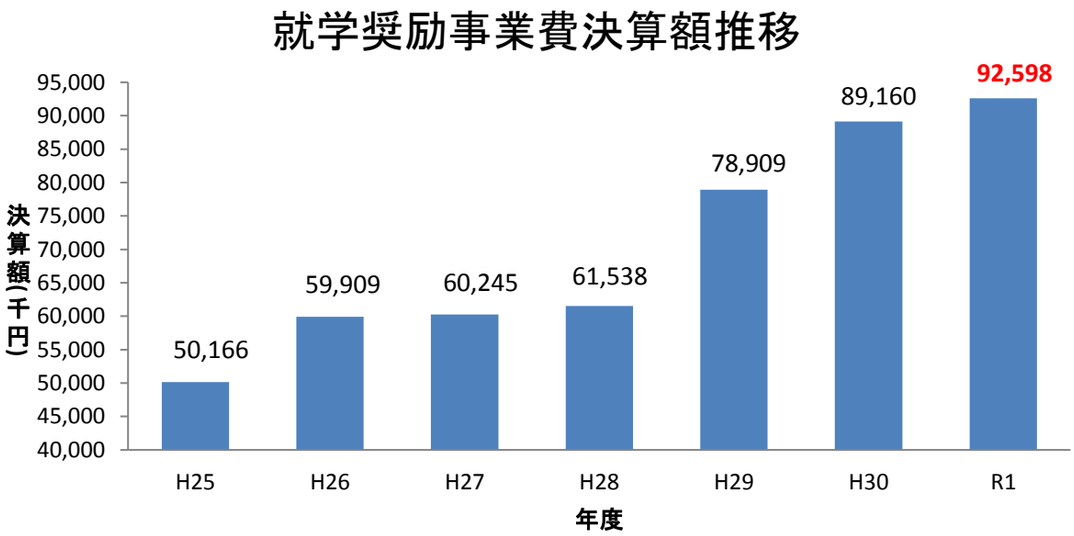
事業の目的	対象（誰を・何を）	意図（どういう状態にしたいのか）
	経済的理由によって就学困難と認められる児童生徒の保護者及び特別支援学級に在級する児童生徒の保護者	学用品費や給食費等の援助をすることで、保護者の就学に対する経済的負担を軽減し、児童生徒の義務教育の円滑化を実現します。

事業の実施内容

就学奨励事業（予算額　98,993千円、決算額　92,598千円）

要保護準要保護児童生徒援助費
○小学校（予算額　51,829千円、決算額　48,883千円）
要保護準要保護児童援助費支給者数
・要保護　1人　　・準要保護　749人
○中学校（予算額　44,806千円、決算額　42,713千円）
要保護準要保護生徒援助費支給者数
・要保護　1人　　・準要保護　357人

特別支援教育就学奨励費
○小学校（予算額　1,357千円、決算額　583千円）
支給者数　55人
○中学校（予算額　1,001千円、決算額　419千円）
支給者数　35人



事業の成果

経済的な理由等により就学困難な児童生徒の保護者に対してや特別支援学級に通うお子様がいる世帯に対し援助をすることにより、児童生徒が義務教育を円滑に受けることに資することができました。また、入学予定者に対して、入学準備金の前倒し支給を行うことにより、より援助者に対して充実した事業となりました。

予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳				
			国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
	98,993	92,598	540	12,251			79,807

令和元年度主要施策の成果に関する報告書

単位：千円

事業名	幼稚園就園援助事業			予算科目	会計	一般会計	01
部課	教育部　学校教育課	課長名	宮良　泰子		款	教育費	10
連絡先	889－6181				項	幼稚園費	04
目標	きらきらと輝く人が育つまち				目	幼稚園費	01

事業の目的	対象（誰を・何を）	意図（どういう状態にしたいのか）
	町立幼稚園に通う園児のいる世帯で、生活保護世帯及び町民税非課税世帯にあたる世帯。	給食費等を援助することで、保護者の就園に対する経済的負担を軽減し、園児の幼稚園生活が円滑に行われるようにします。

事業の実施内容

幼稚園就園援助事業(予算額　2，961千円　　決算額　2，920千円　)

○町立幼稚園に通う園児がいる世帯の中で下記に該当する世帯に対し、給食費を援助しました。また、該当世帯の中で預かり保育を申し込んでいる世帯にはおやつ代等の援助も行いました。

・生活保護受給世帯

・町民税非課税世帯

○援助費（予算額　2，961千円　決算額　2，920千円）

○幼稚園別援助人数

南風原幼稚園
援助人数　30人

津嘉山幼稚園
援助人数　51人

北丘幼稚園
援助人数　43人

翔南幼稚園
援助人数　26人

事業の成果

町立幼稚園に通う生活保護・非課税世帯等に給食費等の援助を行うことによって、就園に対する経済的負担の軽減を行うことができました。

予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳				
			国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
	2,961	2,920	0	0			2,920

令和元年度主要施策の成果に関する報告書

単位：千円

事業名	各幼稚園にかかる経費			予算科目	会計	一般会計	01
部課	教育部　学校教育課	課長名	宮良　泰子		款	教育費	10
連絡先	889－6181				項	幼稚園費	04
目標	きらきらと輝く人が育つまち				目	幼稚園費	01

事業の目的	対象（誰を・何を）	意図（どういう状態にしたいのか）
	町立4幼稚園の園児	自・他の命を大切にし、健康・安全な生活習慣、食習習慣を身につけさせます。1人1人の特性に応じ発達課題に即した指導を行い、自然や身近な動植物及び対人関係を通して道徳性を培います。

事業の実施内容

町立の4幼稚園の園児たちが、安心して幼稚園での生活が送れるように施設整備の維持（光熱費・園医委託料・消防設備保安委託・園施設修繕費等）や、教材費（行事用、教授用消耗品、飼育動物のえさ代等）に係る経費等を支出しました。

●各幼稚園決算額合計　13,359 千円

○南風原幼稚園	予算額	4,027 千円	決算額	3,559 千円
○津嘉山幼稚園	予算額	4,506 千円	決算額	4,313 千円
○北丘幼稚園	予算額	3,458 千円	決算額	2,986 千円
○翔南幼稚園	予算額	2,801 千円	決算額	2,501 千円

じょうろで水やり、みんなでお花を育てよう♪

協力し合って、竹馬に挑戦　！

事業の成果

町立4幼稚園における幼稚園の維持管理運営経費（光熱費・消耗品・修繕料・役務費等）を効率的な予算執行に努めた結果、快適な環境のもとでその心身の発達を助長することができました。
小動物や草花など、教師と一緒に関わる中で親しみをもつことができました。園生活の仕方を身につけることができました。（あいさつ・持ち物の片付け・トイレなど）
朝の会や帰りの会、集会などで話を聞く時の姿勢を日常的に確認させることで、人の話を最後まで聞くことができるようになりました。草花への水やり、飼育活動、室内の清掃をみんなと協力してやり遂げ、やり遂げた後の気持ち良さに気づかせることができました。

予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳				
			国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
	14,792	13,359					13,359

令和元年度主要施策の成果に関する報告書

単位：千円

事業名	英会話教育の充実事業			予算科目	会計	一般会計	01
部課	教育部　学校教育課	課長名	宮良　泰子		款	教育費	10
連絡先	889－6181				項	教育総務費	01
目標	きらきらと輝く人が育つまち				目	事務局費	02

事業の目的	対象（誰を・何を）	意図（どういう状態にしたいのか）
	町立小・中学校の児童・生徒	小学校で英語に触れたり、外国の文化に慣れ親しむ体験活動を行い、中学校で外国人とのコミュニケーションにより英語に親しみ、国際社会で使える英語を習得させます。

事業の実施内容

○小学校英語指導助手報酬（予算額7，200千円、決算額7，200千円）
- ・南風原小学校　1名
- ・津嘉山小学校　1名
- ・北丘小学校　　1名
- ・翔南小学校　　1名

○外国人英語指導助手（予算額7，292千円、決算額7，290千円）
決算の内訳（報酬費6，861千円、役務費等429千円）
- ・南風原中学校　1名
- ・南星中学校　　1名

外国人英語指導助手による授業風景

事業の成果

小学校英語指導助手・外国人英語指導助手の配置により、小学校は楽しみながら、中学校は外国人とコミュニケーションをとりながら英語に親しみ、英語の基礎学力の向上に貢献しました。

予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳				
			国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
	14,492	14,490	0	8,452	0	0	6,038

令和元年度主要施策の成果に関する報告書

単位：千円

事業名	学校教育事業			予算科目	会計	一般会計	01
部課	教育部　学校教育課	課長名	宮良　泰子		款	教育費	10
連絡先	889－6181				項	教育総務費	01
目標	きらきらと輝く人が育つまち				目	事務局費	02

事業の目的	対象（誰を・何を）	意図（どういう状態にしたいのか）
	幼稚園の幼児、小学校の児童、中学校の生徒及び教諭	学校教育を円滑に運営するため、各種委員会の開催、施設の修繕や維持管理委託などを行います。

事業の実施内容

・ 報酬　　予算額　2,305 千円　　決算額　2,153 千円
教育支援員会、いじめ問題対策委員会、いじめ防止等専門委員会の各委員報酬及び学校情報推進嘱託員の報酬として支出しました。

・ 賃金　　予算額　355 千円　　決算額　340 千円
臨時職員1名の賃金として支出しました。

・ 報償費　　予算額　1,300 千円　　決算額　724 千円
講演会の講師、就学時健診の医師への謝礼金として支出しました。

・ 旅費　　予算額　73 千円　　決算額　69 千円
各委員会の委員への費用弁償として支出しました。

・ 需用費　　予算額　867 千円　　決算額　785 千円
就学時健診で使用する消耗品、Q－Uテスト用紙、防犯ブザーなどの購入費として支出しました。

・ 役務費　　予算額　141 千円　　決算額　114 千円
学校廃棄物処理手数料、学習支援ボランティア保険料として支出しました。

・ 委託料　　予算額　13,317 千円　　決算額　12,329 千円
標準学力検査、学校廃棄物運搬処理、校内防虫処理、就学時健診、学校産業医やパソコン保守管理などの委託料として支出しました。

・ 使用料及び賃借料　　予算額　2,116 千円　　決算額　1,583 千円
学校用サーバー等の賃借料やライセンスの使用料として支出しました。

・ 負担金、補助金等　　予算額　7,154 千円　　決算額　6,919 千円

主な支出

・ 町学力向上推進委員会補助金　1,200 千円
・ 島尻地区教育研究所負担金　4,228 千円
・ 適応指導教室事業設置負担金　894 千円

事業の成果

・ いじめ問題対策委員会を開催し、いじめの防止等に関する機関及び団体の連携に関し協議をするとともに、当該機関及び団体相互の連絡調整を図りました。また、いじめ防止等専門委員会では、いじめの防止等のための対策の推進に関する事項について審議し、いじめ防止に向けて取り組みました。
・ 講師を招聘し、町内学校の教諭を対象に教育講演会や四園研修会を開催し、資質向上を図りました。
・ 小中学校で標準学力検査を実施し、児童生徒の学力を把握することで効果的な授業を実施するとともに、個別復習教材により児童生徒個々の苦手なところの克服に取り組みました。

予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳				
			国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
	27,628	25,016		3,387			21,629

令和元年度主要施策の成果に関する報告書

単位：千円

事業名	特別支援教育支援員配置事業			予算科目	会計	一般会計	01
部　課	教育部　学校教育課	課長名	宮良　泰子		款	教育費	10
連絡先	889－6181				項	小学校費・中学校費・幼稚園費	2・3・4
目　標	きらきらと輝く人が育つまち				目	学校管理費・幼稚園費	01

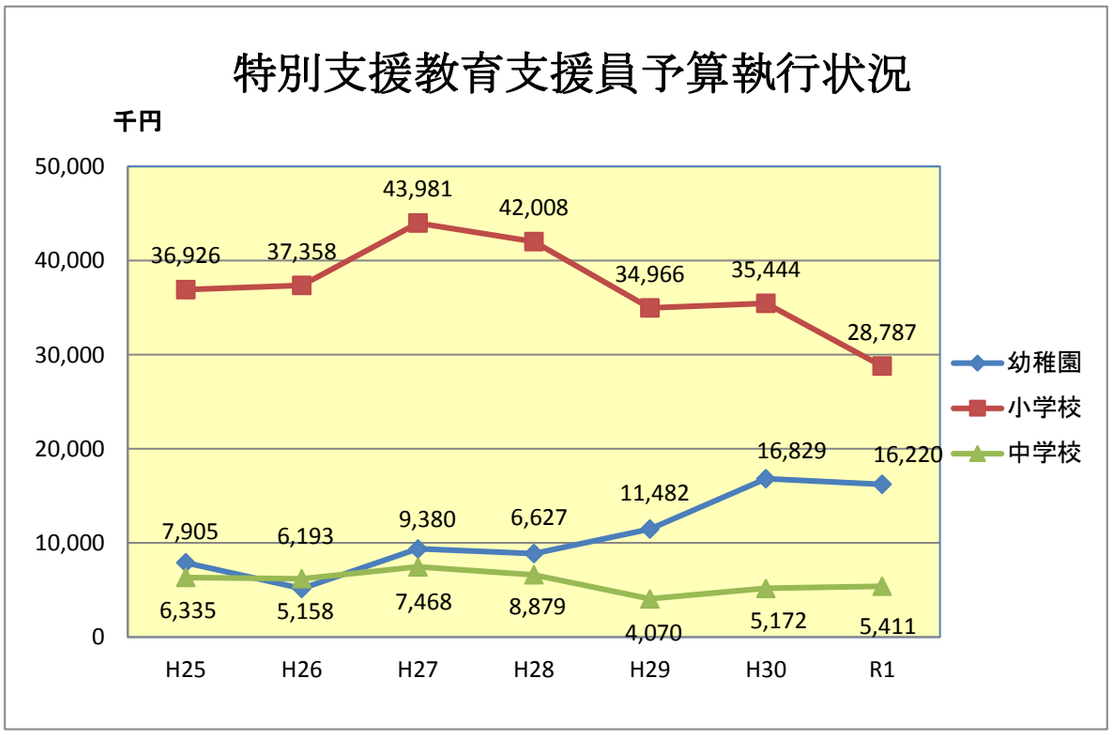
事業の目的	対象（誰を・何を）	意図（どういう状態にしたいのか）
	町立幼稚園、小学校、中学校に通う特別な支援を要する園児及び児童生徒	特別支援教育支援員を配置し、特別な支援を要する児童生徒の学校生活や学習上の改善を図る。

事業の実施内容

○小学校（予算額　29，154千円、　決算額　28，787千円）
配置人数　23名
・南風原小学校　5名　　・津嘉山小学校　8名
・北丘小学校　　8名　　・翔南小学校　　2名

○中学校（予算額　5，896千円、　決算額　5，411千円）
配置人数　5名
・南風原中学校　3名　　・南星中学校　　2名

○幼稚園（予算額　16，749千円、　決算額　16，220千円）
配置人数　19名
・南風原幼稚園　5名　　・津嘉山幼稚園　9名
・北丘幼稚園　　4名　　・翔南幼稚園　　1名



事業の成果

町立4幼稚園、4小学校及び2中学校へ特別支援教育支援員を配置したことで、特別な支援を要する園児及び児童生徒が安全な園生活、学校生活を送ることができました。
また、小中学校においては、発達の違いにより支援方法も異なることから、夏休み期間中に、幼小中合同で研修を開催し、特別支援教育支援員の質の向上に務め、特別支援教育支援員の対応への満足度について対象児童となる保護者へのアンケートを実施し、56名からの回答を集計した結果、満足度87.5%の成果がありました。

予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳				
			国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
	51,799	50,418		38,857			11,561

令和元年度主要施策の成果に関する報告書

単位：千円

事業名	スクール・サポート・スタッフ配置事業			予算科目	会計	一般会計	01
部課	教育部　学校教育課	課長名	宮良　泰子		款	教育費	10
連絡先	889－6181				項	小学校費・中学校費	02・03
目標	きらきらと輝く人が育つまち				目	学校管理費	01

事業の目的	対象（誰を・何を）	意図（どういう状態にしたいのか）
	主として教員の業務支援を図り、教員が一層児童生徒への指導や教材検討等に注力できる体制を整備することを目的に、町内の小中学校にスクール・サポート・スタッフを配置する。	学校教育活動の一層の充実と教員の「働き方改革」の実現を図ることを目的とし、教員の事務作業の負担軽減につなげる。

事業の実施内容

○小学校　（予算額　4,771千円、　決算額　4,577千円）
スクール・サポート・スタッフ配置人数　8名
・南風原小学校　2名
・津嘉山小学校　2名
・北丘小学校　　2名
・翔南小学校　　2名

○中学校　（予算額　2,296千円、　決算額　2,296千円）
スクール・サポート・スタッフ配置人数　4名
・南風原中学校　2名
・南星中学校　　2名

事業の成果

スクール・サポート・スタッフの配置により、授業で使用する教材等の印刷や物品の準備、教材・資料の整理、保管、学校行事・式典等の準備補助といったサポート体制ができ、教員の業務負担軽減が図られている。

予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳				
			国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
	7,067	6,873	0	6,845	0	0	28

令和元年度主要施策の成果に関する報告書

単位：千円

事業名	学校ICT推進事業			予算科目	会計	一般会計	01
部課	教育部　学校教育課	課長名	宮良　泰子		款	教育費	10
連絡先	889－6181				項	小学校費・中学校費	02・03
目標	きらきらと輝く人が育つまち				目	教育振興費	02

事業の目的	対象（誰を・何を）	意図（どういう状態にしたいのか）
	小・中学校にICT環境を整備します。	小・中学校に電子黒板やデジタル教科書等のICT機器を整備し、学力向上を目的とした魅力ある授業づくりを目指します。

事業の実施内容

小中学校にICT支援員を配置し、電子黒板やタブレットなどのICT機器を活用した授業支援を行いました。

小中学校決算合計額　6,714　千円

○ICT支援員委託料（1名）
小学校（予算額　4，480千円、決算額　4，476千円）
中学校（予算額　2，240千円、決算額　2，238千円）

↑　ICT 支援員による教職員への研修会

事業の成果

ICT支援員を配置したことで、教諭や児童・生徒のICT機器に対する苦手意識が軽減され、ICT機器の活用機会が増え、授業や教材づくり等の支援に役立てることができました。

予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳				
			国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
	6,720	6,714		5,371			1,343

令和元年度主要施策の成果に関する報告書

単位：千円

事業名	小学校（学校管理費・教育振興費）			予算科目	会計	一般会計	01
部　課	教育部　学校教育課	課長名	宮良　泰子		款	教育費	10
連絡先	889－6181				項	小学校費	02
目　標	きらきらと輝く人が育つまち				目	学校管理費・教育振興費	1・2

事業の目的	対象（誰を・何を）	意図（どういう状態にしたいのか）
	小学校の児童	小学校に通う児童が学習しやすい環境をつくります。

事業の実施内容

町内にある4小学校のこどもたちが、安心して学校生活を送れるように、施設設備の維持（光熱水費・消防用設備管理委託・学校施設修繕費等）、児童健康診断費用、各教科（教育振興備品・各種大会派遣費等）などにかかる経費を支出しました。
また、4小学校で消防用設備等の保守管理委託料は12,300千円、教育振興備品は1,187千円を支出しました。

小学校決算合計額　85,939　千円

○南風原小学校　予算額　23,844 千円　決算額　21,903 千円

○津嘉山小学校　予算額　24,910 千円　決算額　24,013 千円

○北丘小学校　予算額　23,253 千円　決算額　22,301 千円

○翔南小学校　予算額　18,488 千円　決算額　17,722 千円

令和元年度に購入した太鼓セット（音楽）

事業の成果

町立4小学校の学校管理・運営等で使う物品の購入・修繕・役務費・使用料及び賃借料等の学校管理費、授業や学校行事等で使う教育振興費を、効率的な予算執行に努めた結果、教育環境の整備を図ることができ、児童の健全育成及び学力向上に繋げることができました。

予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳				
			国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
	90,495	85,939		264			85,675

令和元年度主要施策の成果に関する報告書

単位：千円

事業名	中学校（学校管理費・教育振興費）			予算科目	会計	一般会計	01
部　課	教育部　学校教育課	課長名	宮良　泰子		款	教育費	10
連絡先	889－6181				項	中学校費	03
目　標	きらきらと輝く人が育つまち				目	学校管理費・教育振興費	1・2

事業の目的	対象（誰を・何を）	意図（どういう状態にしたいのか）
	中学校の生徒	中学校に通う生徒が学習しやすい環境をつくります。

事業の実施内容

町内にある2中学校の生徒たちが、安心して学校生活を送れるように、施設設備の維持（光熱水費・消防用設備管理委託・学校施設修繕費等）、生徒健康診断費用、各教科にかかる経費（教育振興費の備品・各種大会派遣費等）を支出しました。

また、2中学校で消防用設備等の保守管理委託料は6,269千円、教育振興備品は1,270千円を支出しました。

中学校決算合計額　49,698　千円

○南風原中学校　予算額　27,760 千円　決算額　27,277 千円

○南星中学校　予算額　23,137 千円　決算額　22,421 千円

令和元年度に購入した電源装置（理科）

事業の成果

町立2中学校の学校管理・運営等で使う物品の購入・修繕・役務費・使用料及び賃借料等の学校管理費、授業や学校行事等で使う教育振興費を、効率的な予算執行に努めた結果、教育環境の整備を図ることができ、生徒の学力向上及び健全育成に繋げることができました。

予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳				
			国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
	50,897	49,698		528			49,170

令和元年度主要施策の成果に関する報告書

単位：千円

事業名	学習支援員等配置事業			予算科目	会計	一般会計	01
部　課	教育部　学校教育課	課長名	宮良　泰子		款	教育費	10
連絡先	889－6181				項	小学校費・中学校費	2・3
目　標	きらきらと輝く人が育つまち				目	学校管理費	01

事業の目的	対象（誰を・何を）	意図（どういう状態にしたいのか）
	教員免許を有する者を学習支援員として、町立小・中学校に派遣する。	小・中学校では担任教諭の助手として、各学級及び各学年で遅れのある児童生徒への学習支援を行い、学力の向上を図ります。

事業の実施内容

○小学校　（予算額　15，360千円、　決算額　14，708千円）
学習支援員配置人数　8名
・南風原小学校　2名
・津嘉山小学校　2名
・北丘小学校　　2名
・翔南小学校　　2名

○中学校　（予算額　7，680千円、　決算額　7，625千円）
学習支援員配置人数　4名（※適応教室指導員は教育相談事業にて実施）
・南風原中学校　2名
・南星中学校　　2名

事業の成果

町立4小学校及び2中学校へ学習支援員を配置することにより、個別指導や補習指導支援を行うことができ、児童生徒の基礎学力向上のための環境整備を図ることができました。

予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳				
			国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
	23,040	22,333		17,603			4,730

令和元年度主要施策の成果に関する報告書

単位：千円

事業名	幼稚園就園奨励事業			予算科目	会計	一般会計	01
部課	民生部　こども課	課長名	儀間　博嗣		款	教育費	10
連絡先	889－7028				項	幼稚園費	04
目標	きらきら輝く人が育つまち				目	幼稚園費	01

事業の目的	対象（誰を・何を）	意図（どういう状態にしたいのか）
	私立幼稚園に通園している世帯	幼稚園児のいる世帯に対して、経済的負担の軽減と、公立・私立幼稚園間の保護者負担格差の是正、多子世帯の負担軽減を図ります。

事業の実施内容

○私立幼稚園就園奨励事業　　（3,042千円）
町内に住んでいるこどもが、町内外を問わず私立幼稚園に通う場合、町が示す一定の条件に該当する場合に、幼稚園を通して就園奨励補助金を交付します。
※この事業には国からの補助金（1／3）が含まれています。

■保育料等減免対象の範囲
（1）南風原町に住所を有し、私立幼稚園へ満3歳、3歳児、4歳児、5歳児を通園させている世帯
（2）幼児の属する世帯の令和元年度の町民税が下記のいずれかに該当していること
（同一世帯内で2人以上に課税されている場合は、その合計額）

階層区分			補助限度額 小学校1・2・3年生の兄・姉がいない場合（A）	補助限度額 小学校1・2・3年生の兄・姉がいる場合（B）
1	生活保護を受けている世帯	第1子	308,000 円	
		第2子		308,000 円
		第3子以降		308,000 円
2	令和元年度の町民税が非課税の世帯、所得割が非課税となる世帯	第1子	272,000 円	
		第2子	290,000 円	290,000 円
		第3子以降	308,000 円	308,000 円
3	令和元年度の町民税の所得割課税額が77，100円以下の世帯	第1子	115,200 円	
		第2子	211,000 円	211,000 円
		第3子以降	308,000 円	308,000 円
4	令和元年度の町民税の所得割課税額が211，200円以下の世帯	第1子	62,200 円	
		第2子	185,000 円	185,000 円
		第3子以降	308,000 円	308,000 円
5	上記区分以外の世帯（所得制限なし）	第1子		
		第2子	154,000 円	154,000 円
		第3子以降	308,000 円	308,000 円

※令和元年10月の幼児教育・保育無償化事業の開始に伴い、本事業の対象期間が4月～9月分となるため、減免単価は上記限度額の半額となります。

■補助内訳　　単位：人、円

区分	私立幼稚園 満3歳児	3歳児	4歳児	5歳児	人数	補助額
第1子	0	5	9	7	21	920,700
第2子	0	8	3	7	18	1,518,900
第3子以降	0	4	1	1	6	602,200
合計	0	17	13	15	45	3,041,800

事業の成果

私立幼稚園に通う保護者に対して援助することで、入園料・保育料の経済的負担を軽減することができました。

予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳 国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
	4,306	3,042	1,013				2,029

令和元年度主要施策の成果に関する報告書

単位：千円

事業名	幼稚園体育活動充実事業			予算科目	会計	一般会計	01
部　課	教育部　教育総務課	課長名	比嘉　純子		款	教育費	10
連絡先	889－2620				項	幼稚園費	04
目　標	きらきらと輝く人が育つまち				目	幼稚園費	01

事業の目的

対象（誰を・何を）	意図（どういう状態にしたいのか）
町立四幼稚園5歳児及び4歳児	専門的な知識を持つ講師による体育指導を実施し、運動することの楽しさを教え、さらには運動能力を向上させます。

事業の実施内容

・委託料　　予算額　1，743千円　　決算額　1，728千円
（南風原町立幼稚園体育活動充実支援委託業務）

○南風原町立幼稚園児5歳児及び4歳児クラスを対象に、各園体育指導を実施（5歳児27回、4歳児9回）し、模倣遊びやバルーン遊びで運動することの楽しさを学び、平均台・鉄棒・跳び箱運動で運動能力の向上に努めました。

風船遊び

マット運動

逆上がり

跳び箱

項目	令和元年度		平成30年度	
	人数	割合	人数	割合
5歳児クラス幼児数	365人	―	434人	―
逆上がり習得者	142人	38.9%	164人	37.8%
跳び箱3段習得者	275人	75.3%	305人	70.3%
体育遊びが好きな人（アンケート）	351人	96.2%	409人	94.2%

事業の成果

目標達成のために指導案を工夫したり、各園との調整を事前に行うなど、専門的な知識を持った講師の指導により、子どもたちは運動ができた達成感や楽しさを実感してもらえる結果となった。
また、逆上がりを習得した園児の割合は142人（38．9%）と前年の164人（37．8%）を1．1%上回り、跳び箱3段を習得した園児の割合は275人（75．3%）と前年の305人（70．3%）を5%上回る結果となった。

予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳				
			国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
	1,743	1,728		1,382			346

令和元年度主要施策の成果に関する報告書

単位：千円

事業名	幼稚園空調機設置事業			予算科目	会計	一般会計	01
部課	教育部　学校教育課	課長名	宮良　泰子		款	教育費	10
連絡先	889－6181				項	幼稚園費	04
目標	きらきらと輝く人が育つまち				目	幼稚園費	01

事業の目的	対象（誰を・何を）	意図（どういう状態にしたいのか）
	南風原幼稚園、津嘉山幼稚園、北丘幼稚園、翔南幼稚園の園児	沖縄は長期間にわたり気温が高くなるため、園児の健康維持や熱中症対策を目的に、幼稚園に冷房機を設置する。

事業の実施内容

沖縄は長期間にわたり気温が高くなるため、園児の健康維持や熱中症対策を目的に、各幼稚園に冷房機を設置した。

南風原幼稚園、津嘉山幼稚園、北丘幼稚園、翔南幼稚園決算額　10,197　千円

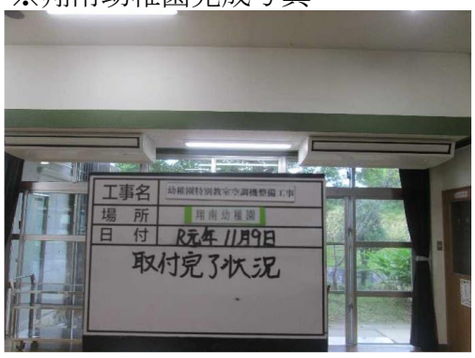
○幼稚園特別教室空調機整備工事（予算額　10,197千円、決算額10,197千円）

※南風原幼稚園完成写真

※津嘉山幼稚園完成写真

※北丘幼稚園完成写真

※翔南幼稚園完成写真



事業の成果

沖縄は長期間にわたり気温が高くなるため、園児の健康維持や熱中症対策を目的に、幼稚園に冷房機の設置工事を行い教育環境を整備することが出来きました。

予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳				
			国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
	10,197	10,197	8,157	0	2,000		40

３　ちむぐくるでともに
つくる福祉と健康のまち

令和元年度主要施策の成果に関する報告書

単位：千円

事業名	社会福祉団体育成事業			予算科目	会計	一般会計	01
部課	民生部　こども課	課長名	儀間　博嗣		款	民生費	03
連絡先	889－7028				項	社会福祉費	01
目標	ちむぐくるでともにつくる福祉と健康のまち				目	社会福祉総務費	01

事業の目的	対象（誰を・何を）	意図（どういう状態にしたいのか）
	社会福祉協議会、民生委員連合会、沖縄県市町村総合事務組合災害弔慰金等負担金	住み慣れた地域で健康で安心した生活を送れるよう、社協をはじめ各福祉団体と協働で地域福祉を推進し「ちむぐくるでともにつくる福祉と健康のまち」をめざします。

事業の実施内容

社会福祉協議会、民生委員連合会への補助金交付を行うことにより、福祉活動の協働・推進・支援を行いました。

●南風原町社会福祉協議会への助成　91，280千円

（内訳）①運営補助金　74，702千円

・職員の人件費、役務費、県社協負担金、通信運搬費、雑費、委託費となっています。

②支えあうまちづくり事業補助金　10，453千円

・主な活動実績として、コミュニティソーシャルワーカー（CSW）を7人配置し、地域とともに積極的な関わりを行うことによって福祉課題を解決しました。相談支援の件数は訪問が338件、来所が98件、電話1,690件、その他が95件、合計で1,221件の延べ相談件数となりました。

③福祉総合相談事業補助金　5，657千円

・町民の抱える心配ごとの解決を図るため、一般相談員を配置し適切な助言・援助を行うとともに法律相談、司法書士相談を実施。本年度の主な相談件数は生計に関する事1，160件、住宅に関する事264件、家族に関する事194件となっており、その他と合計して2，599件の相談を受け問題解決に取り組みました。

④社会的孤立対策事業補助金　153千円

・地域社会において住民相互がつながりあい、ともに支えあい・たすけあうことで子どもをはじめとした世帯等を地域で見守り、育み、地域ぐるみで推進することを目的に事業を実施しました。子どもの居場所づくり支援として、新川自治会が新川区民食堂を毎月1回開催しました。

⑤ボランティアセンター運営事業　315千円

・「福祉教育の推進」では福祉教育連絡会、福祉教育・地域福祉活動実践報告会、町内学校教諭等福祉研修会の開催、福祉教育推進事業助成、町内小中学校総合的学習の時間・出前講座への対応を行いました。また、「ボランティア養成研修の充実」では10代のボランティア研修会、音訳講座、手話講座、ちむぐくるボランティア入門講座を開催しました。その他ボランティアセンター基盤整備ではボランティアプラットホームの開催、募金活動等を行いました。

●民生委員児童委員連合会補助金　5，618千円

民生委員・児童委員の活動状況は、主な内容別相談として住居に関する相談支援が236件と最も多く、次いで日常的な支援が175件、健康・保健医療100件、子どもの教育・学校生活71件となっています。分野別相談・支援件数は、高齢者に関する事が330件、子どもに関することが216件、障害者に関する事が123件、その他329件で合計998件の相談支援件数となっています。毎月1回の定例会や学校との連絡会の開催。県外先進地視察研修は、熊本県天草市へ行き「子ども民生委員について」学習しました。

●沖縄県市町村総合事務組合災害弔慰金等負担金　75　千円

事業の成果

「地域福祉の推進を図る中核的組織」である社会福祉協議会、地域住民・関係機関・団体及び社会福祉施設等との連携を担う民生委員連合会に補助を行う事により、福祉のまちづくりの協働・推進が図られ町民の福祉向上に貢献できました。

予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳				
			国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
	100,421	96,973	2,000				94,973

令和元年度主要施策の成果に関する報告書

単位：千円

事業名	国民健康保険事業（国民健康保険特別会計）		予算科目	会計	国民健康保険特別会計	02
部　課	民生部　国保年金課	課長名　髙良　星一郎		款		
連絡先	889－1798			項		
目　標	ちむぐくるでともにつくる福祉と健康のまち			目		

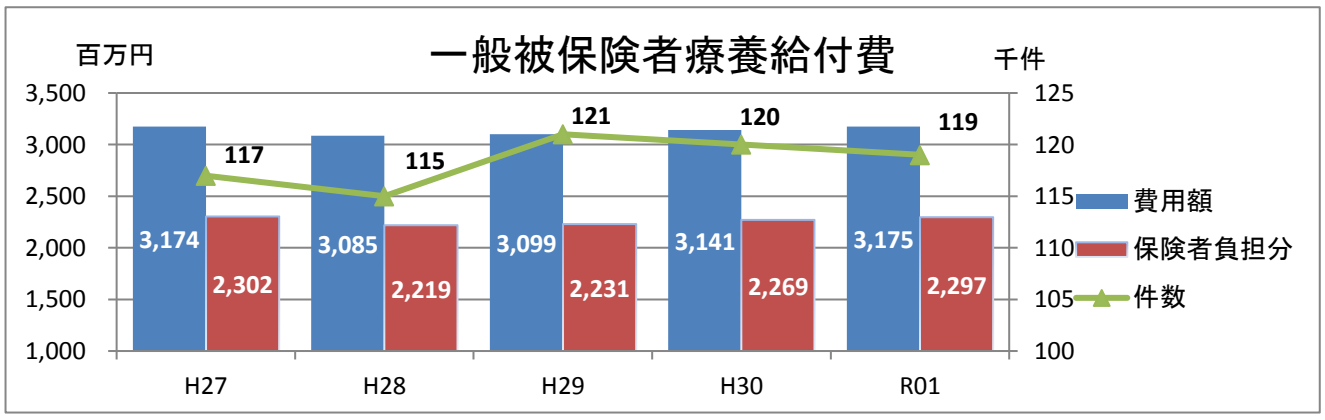
事業の目的	対象（誰を・何を）	意図（どういう状態にしたいのか）
	国民健康保険の加入者（被保険者）が病気やケガ、出産等により医療費等がかかった場合に保険給付を行います。	病気やケガにかかる医療等に対して保険給付を行うことにより、被保険者の経済的負担や心理的不安が軽減され、健康の増進や生活の安定を図ります。

事業の実施内容

病気やケガ等により医療機関で治療や投薬を受けると、被保険者はかかった医療費の3割を個人で負担します。（70歳以上は2割又は3割、未就学児は2割を個人負担します。）残りの医療費は町の国保特別会計から支払われます。

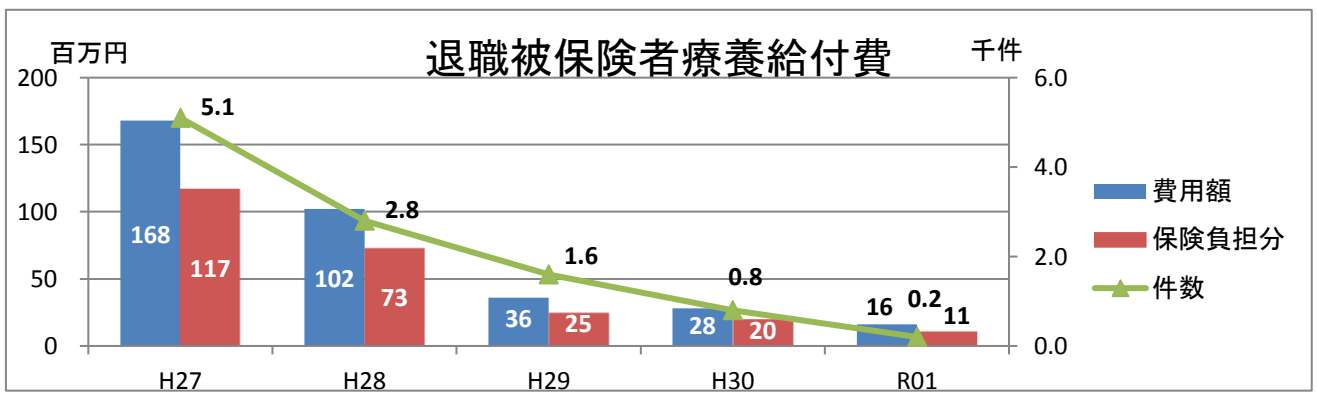
◆ 一般被保険者療養給付費　（2款1項1目）　（単位：千円）

件数	費用額	保険者負担分
119,357	3,175,364	2,296,976



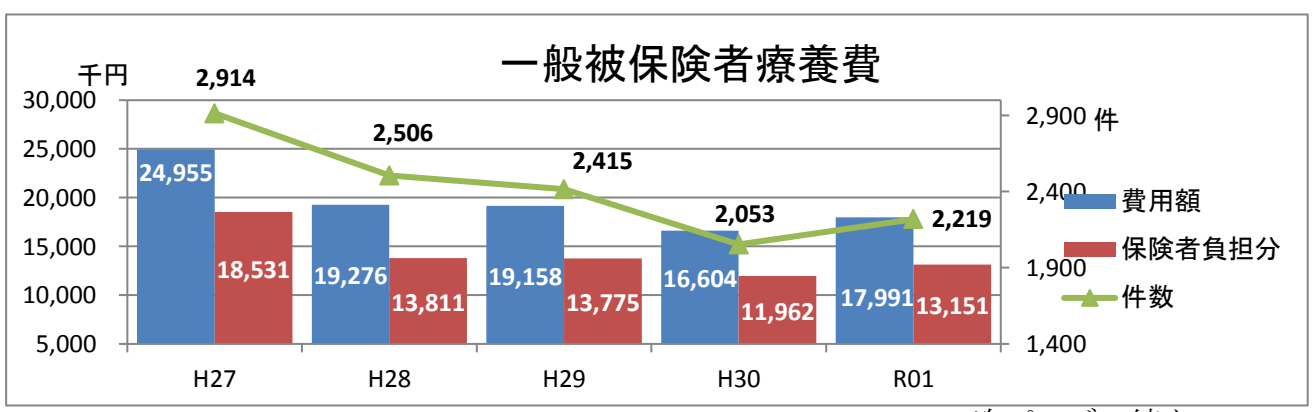
◆退職被保険者等療養給付費（2款1項2目）　（単位：千円）

件数	費用額	保険者負担分
172	16,004	11,199



◆一般被保険者療養費（2款1項3目）　（単位：千円）

件数	費用額	保険者負担分
2,219	17,991	13,151

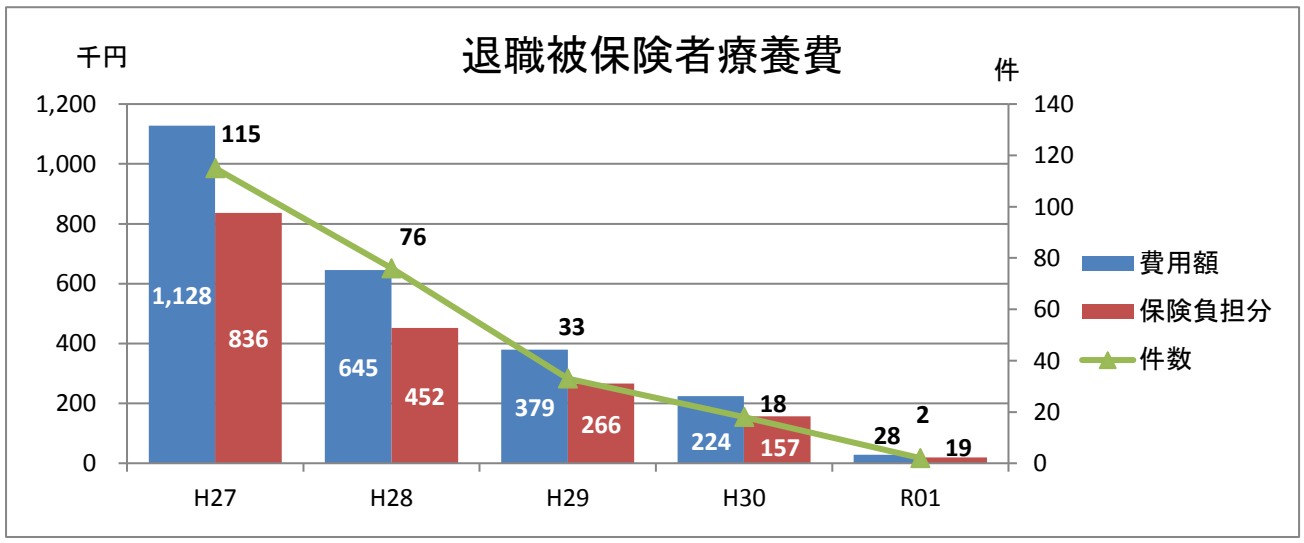


次ページへ続く →

事業の実施内容

◆退職被保険者等療養費（2款1項4目）　　（単位：千円）

件数	費用額	保険者負担分
2	28	19



◆一般被保険者高額療養費（2款2項1目）　　（単位：千円）

件数	保険者負担分
4,813	381,826

◆退職被保険者高額療養費（2款2項2目）　　（単位：千円）

件数	保険者負担分
19	3,277

◆一般被保険者高額介護合算療養費（2款2項3目）（単位：千円）

件数	保険者負担分
0	0

◆出産育児一時金（2款4項1目）　　（単位：千円）

件数	保険者負担分
67	26,099

◆葬祭費（2款5項1目）　　（単位：千円）

件数	保険者負担分
41	840

◆国民健康保険事業費納付金（3款）　　1,216,569　千円

平成30年度に始まった国民健康保険の県単位化に伴い、国・県からの特別調整交付金及び被保険者からの保険税として集めた費用を、南風原町の納付金として負担しました。

◆総務費 総務管理費 一般管理費（1款1項1目）　職員給与費等　　98,465　千円

次ページへ続く →

事業の実施内容

◆保険税収納率向上に係る経費　（1款2項2目）　8,728　千円

収納活動の円滑な実現が図られるよう納付指導員を4名採用し、納期内納付を推進するとともに滞納者等を対象にとして次のことを行いました。

（1）夜8時までの夜間窓口を開設（毎週木曜日）し、納税相談等に利用しやすい環境づくりの実施。
（2）各地区に担当納付指導員を配置し、個別による納付相談の実施。

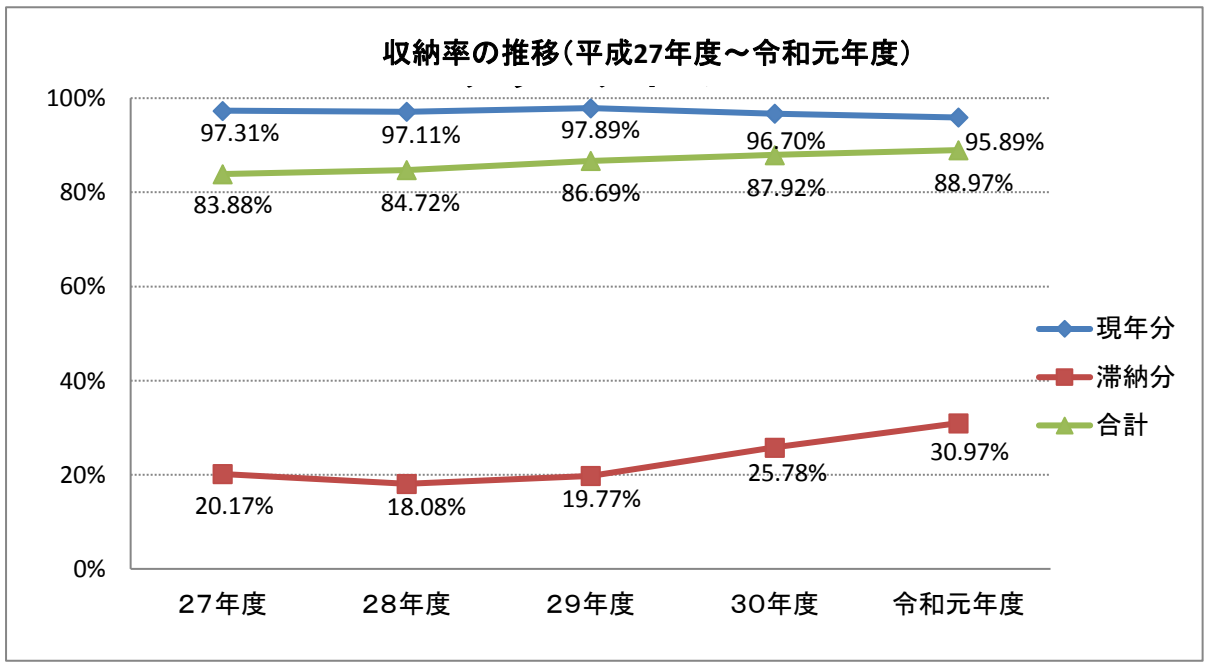
（3）電話による催促、文書の送付、呼び出し等による納税相談の実施。

（4）滞納者の生活状況、資産、収入の調査を行い、滞納処分（債権差押え）による徴収の強化。

☆生活困窮世帯からの相談には、社会福祉協議会相談員等との連携により、計画的に国保税の納付ができる環境作りに努めました。

（収納率の推移）　単位（%）

年度	現年分	滞納分	合計
平成27年度	97.31	20.17	83.88
平成28年度	97.11	18.08	84.72
平成29年度	97.89	19.77	86.69
平成30年度	96.7	25.78	87.92
令和元年度	95.89	30.97	88.97



◆ 特定健康診査等事業　（6款1項1目）

対象者
南風原町国民健康保険被保険者のうち、特定健康診査実施年度中に40歳から74歳となる者。

内臓脂肪型肥満に着目した生活習慣病予防のための健診・保健指導を行い、自らの生活習慣における課題を認識して行動変容と自己管理を行うとともに、健康的な生活を維持することができるようサポートします。

特定健康診査等委託料	16,711 千円
報酬・賃金・報償費等	10,482 千円
その他	2,076 千円
合計	29,269 千円

次ページへ続く →

事業の実施内容

【健診項目】

1．基本的な健診項目
身体測定（身長、体重、BMI、腹囲）、理学的検査（身体診察）、血圧測定、血液化学検査（中性脂肪、HDLコレステロール、LDLコレステロール）、肝機能検査（GOT、GPT、r―GTP）、血糖検査（空腹時または随時）、HbA1c検査、尿検査（尿糖、尿蛋白）、腎機能検査（血清クレアチニン）、血清尿酸検査

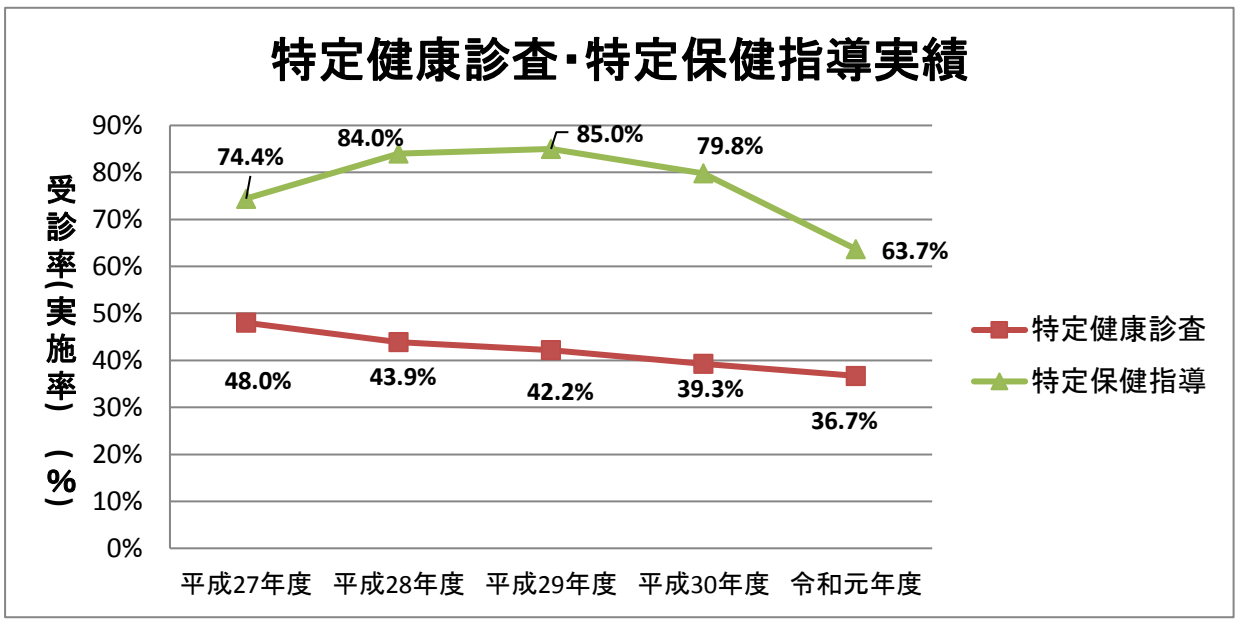
2．詳細な検査の項目
心電図、眼底検査、貧血検査（赤血球数、血色素量［ヘモグロビン値］、ヘマトクリット値)のうち、一定の基準の下、医師が必要と判断したものを選択

3．二次健診の項目
75g糖負荷検査、頸部エコー検査、血圧脈波検査（ABI、PWV）、微量アルブミン尿検査

特定健康診査・特定保健指導実績一覧表

項目／年度	特定健康診査			特定保健指導		
	対象者	受診者	受診率	対象者	受診者	受診率
H27	5,585	2,681	48.0%	425	316	74.4%
H28	5,438	2,389	43.9%	356	299	84.0%
H29	5,289	2,231	42.2%	306	260	85.0%
H30	5,228	2,052	39.3%	292	233	79.8%
R01	5,234	1,921	36.7%	278	177	63.7%

※上記実績は法定報告によるものです。令和元年度は法定報告がまだの為、R2.6月末現在値となっています。



事業の成果

〈給付に係る経費〉
　被保険者への保険給付等を実施する事により、医療の普及、保健の向上、生活の安定を図り、健康の保持・増進に寄与しました。
〈保険税収納率向上に係る経費〉
　収納率（合計）　平成29年度 86.69%　　平成30年度 87.92%　　令和元年度 88.97%
　厳しい社会情勢の中、納税者の国保制度に対する理解と関係各課等との連絡を密にし徴収の取り組みを実施した結果、収納率は対前年度より1.05ポイント上がりました。
※令和元年度において、673,911千円の法定外繰入金を行い、累積赤字を解消しました。

予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳				
			国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
	4,705,278	4,623,291	2,252	2,938,017		8,760	1,674,262

令和元年度主要施策の成果に関する報告書

単位：千円

事業名	高齢者医療対策費			予算科目	会計	一般会計	01
部　課	民生部　国保年金課	課長名	髙良　星一郎		款	民生費	03
連絡先	889－1798				項	老人福祉費	01
目　標	ちむぐくるでともにつくる福祉と健康のまち				目	高齢者医療対策費	02

事業の目的	対象（誰を・何を）	意図（どういう状態にしたいのか）
	医療保険加入者で75歳以上の人又は65歳以上の一定以上の障がいをお持ちの人。	後期高齢者医療制度の安定的運営を維持することを目的とします。

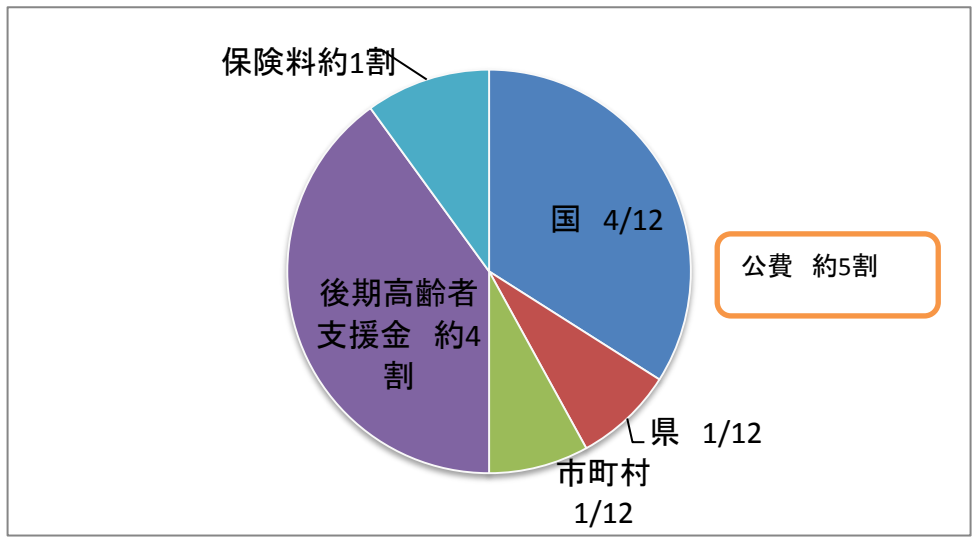
事業の実施内容

後期高齢者医療制度の安定的運営を目指して、保険者である沖縄県後期高齢者医療広域連合へ療養給付費のほか事務費、基盤安定（保険料軽減対策）などの負担金を支出しています。

◆ 後期高齢者医療制度に係る経費（決算額）

・看護師嘱託員報酬	2,307 千円
・消耗品費	18 千円
・公用車リース料	408 千円
・後期高齢者保険料保険基盤安定負担金繰出金	61,920 千円
・後期高齢者療養給付費負担金(現年度分)	234,878 千円
・後期高齢者医療広域連合負担金	18,743 千円
・後期高齢者特別会計へ事務費等繰出金	10,984 千円
・はり、きゅう、あん摩、マッサージ補助金	268 千円
合　計	329,526 千円

【参考　後期高齢者医療制度の財政の全体のイメージ】



事業の成果

看護師が保健指導・長寿健診受診勧奨を実施し、生活習慣病を重症化させないように努めることができました。後期高齢者の医療給付費・事務費等の費用の一部を負担することにより後期高齢者医療制度の安定的運営を維持することができました。

予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳				
			国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
	329,655	329,526		46,439		3,261	279,826

令和元年度主要施策の成果に関する報告書

単位：千円

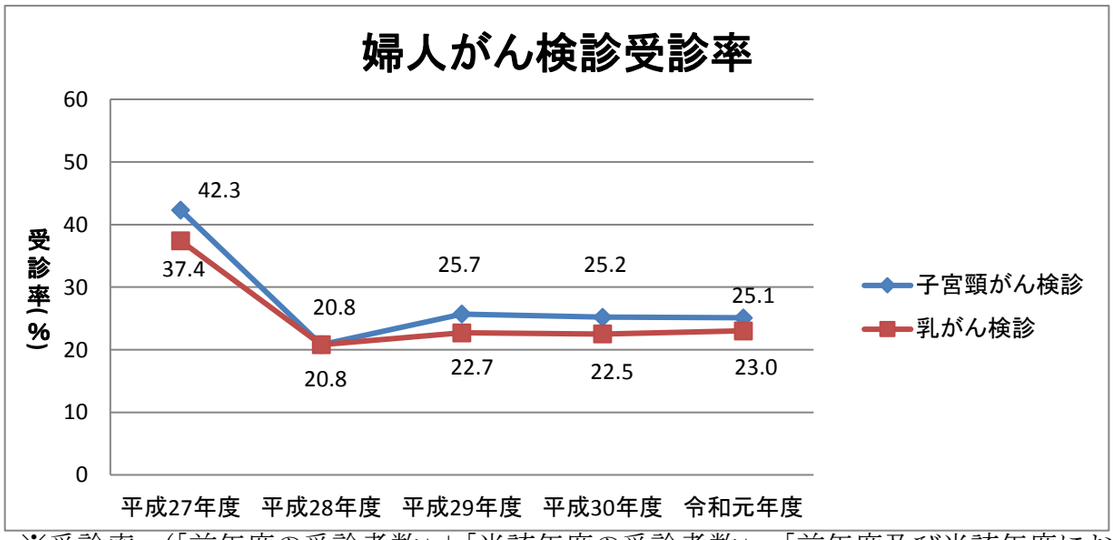
事業名	婦人がん検診事業			予算科目	会計	一般会計	01
部　課	民生部　国保年金課	課長名	髙良　星一郎		款	衛生費	04
連絡先	889－1798				項	保健衛生費	01
目　標	ちむぐくるでともにつくる福祉と健康のまち				目	成人保健対策費	05

事業の目的	対象（誰を・何を）	意図（どういう状態にしたいのか）
	職場等で婦人がん検診を受診する機会のない女性の方を対象としています。子宮がん検診は20歳以上、乳がん検診は40歳以上の方の受診料を助成します。	受診料を助成し経済的な面で受診しやすい環境を整えることにより、婦人がんの早期発見・早期治療に役立て、町民の健康の保持・増進を図ります。

事業の実施内容

○婦人がん検診事業費

婦人がん検診委託料	10,960 千円
婦人がん検診通知等（通信運搬費）	185 千円
その他	573 千円



※受診率＝(「前年度の受診者数」＋「当該年度の受診者数」－「前年度及び当該年度における2年連続受診者数」)÷「当該年度の対象者数」×100
※地域保健・健康増進事業報告書算出による受診率

○女性特有のがん検診推進事業
　この事業は、がんの早期発見と正しい健康意識の普及及び啓発を図り、健康保持・増進を図るため、がん検診受診率を50％に上げることを目的として、以下の年齢の女性に対して、子宮頸がん及び乳がんに関する検診手帳と検診費用が無料となるクーポン券を送付し、受診促進を図ります。

クーポン対象年齢

【子宮頸がん検診無料クーポン券対象年齢】

年齢	生年月日
20歳	平成11年4月2日～平成12年4月1日
25歳	平成6年4月2日～平成7年4月1日
30歳	平成元年4月2日～平成2年4月1日
35歳	昭和59年4月2日～昭和60年4月1日
40歳	昭和54年4月2日～昭和55年4月1日

【乳がん検診無料クーポン券対象年齢】

年齢	生年月日
40歳	昭和54年4月2日～昭和55年4月1日
45歳	昭和49年4月2日～昭和50年4月1日
50歳	昭和44年4月2日～昭和45年4月1日
55歳	昭和39年4月2日～昭和40年4月1日
60歳	昭和34年4月2日～昭和35年4月1日

事業の成果

検診を受けることにより、受診者の「がん」に対する早期発見等の予防意識の高まりへ繋がりました。

予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳				
			国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
	12,347	11,718		112			11,606

令和元年度主要施策の成果に関する報告書

単位：千円

事業名	住民健診（健康診査）事業			予算科目	会計	一般会計	01
部　課	民生部　国保年金課	課長名	髙良　星一郎		款	衛生費	04
連絡先	889－1798				項	保健衛生費	01
目　標	ちむぐくるでともにつくる福祉と健康のまち				目	成人保健対策費	05

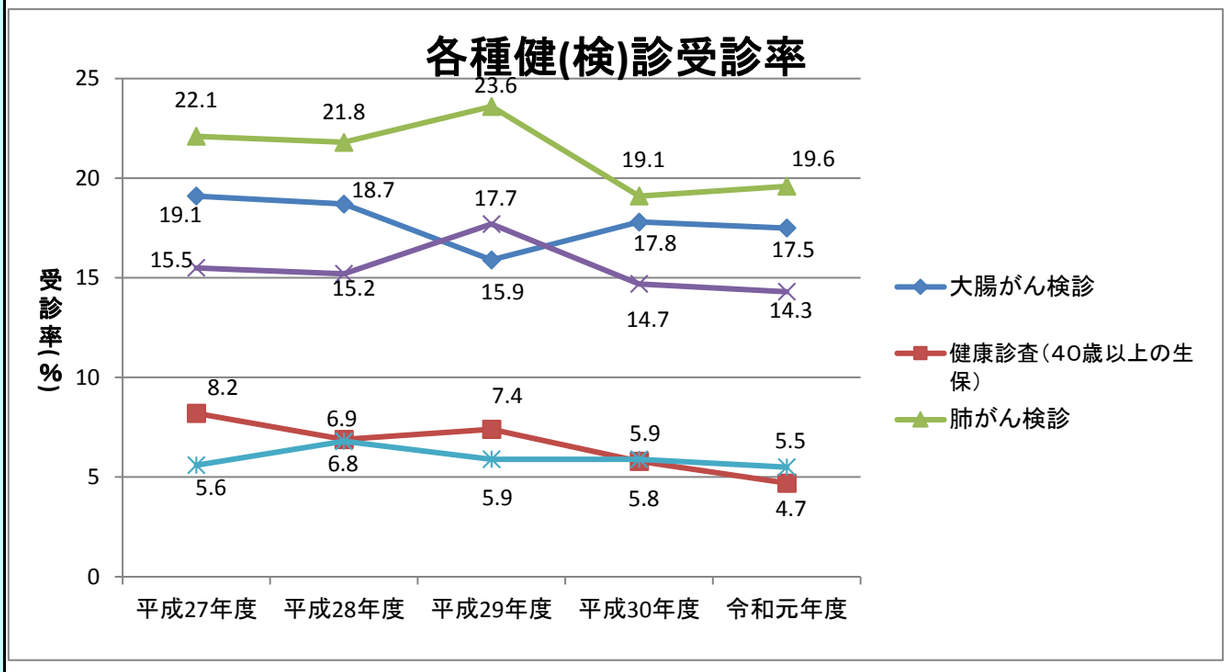
事業の目的	対象（誰を・何を）	意図（どういう状態にしたいのか）
	40歳未満の方で、学校や職場等で健康診査を受ける機会がない方、及び40歳以上の生活保護受給者を対象に受診料を助成します。	受診料を助成し、経済的な面で受診しやすい環境を整えることで、町民の健康の保持と病気の早期発見、適切な医療の確保と、健康寿命の延伸を図ります。

事業の実施内容

40歳未満の方で、学校や職場などで健康診査を受ける機会がない方、及び40歳以上の生活保護受給者を対象に、住民健康診査（身長・体重・腹囲・尿検査・血液検査・医師の診察）を行います。希望者は、胃、肺、大腸がん検診及び眼底、心電図検査が受診できます。

住民健診(健康診査)事業費

基本健診委託料（40歳未満・生保）	2,586 千円
胃がん検診委託料	8,476 千円
肺がん検診委託料	7,179 千円
大腸がん検診委託料	4,322 千円
その他	1,616 千円



※40歳未満健診の受診率は、保健事業ネットからのデータにより算出しています。
※40歳以上で生活保護の方の健診の受診率は、健康増進事業費補助金事業実績報告より算定しています。
※各種がん検診受診率は、地域保健・健康増進事業報告より算定しています。

事業の成果

各種検診を医療機関への委託により実施した結果、要注意者、要治療者等を早期に発見し、早期治療・事後指導に繋げることができました。

予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳				
			国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
	27,439	24,179		101			24,078

令和元年度主要施策の成果に関する報告書

単位：千円

事業名	後期高齢者医療事業			予算科目	会計	後期高齢者医療特別会計	09
部　課	民生部　国保年金課	課長名	髙良　星一郎		款		
連絡先	889－1798				項		
目　標	ちむぐくるでともにつくる福祉と健康のまち				目		

事業の目的	対象（誰を・何を）	意図（どういう状態にしたいのか）
	75歳以上の人に対して、高齢者の心身の特性や生活実態などを踏まえた医療サービスを行います。	高齢期における医療の確保を図るため、共同連帯の理念等に基づき、適切な医療の給付等を行い、保健の向上及び高齢者の福祉の増進を図ります。

事業の実施内容

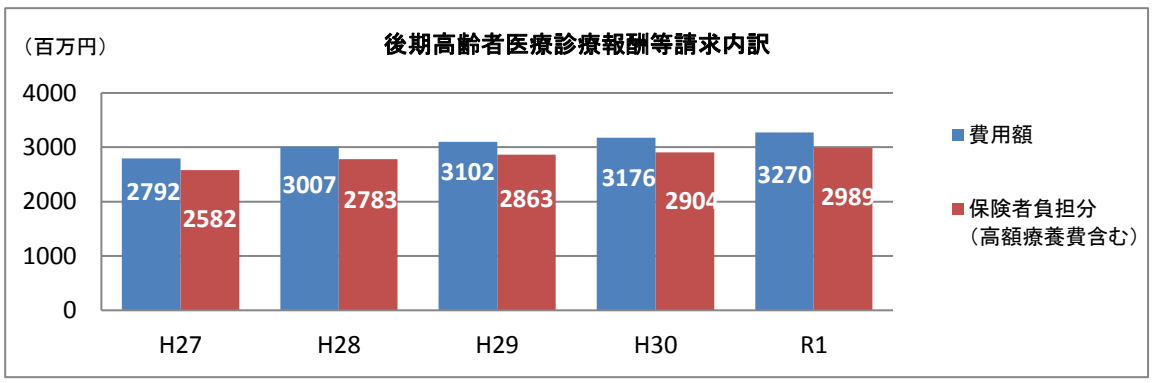
（1）対象者：75歳以上の方（一定の障害がある65歳以上の方）
（2）被保険者数：3,201人（令和元年度平均被保険者数）
（3）事業費（決算額）
- ・総務費（職員給与等）　9,946 千円
- ・後期高齢者医療広域連合納付金　303,283 千円
- ・諸支出金　252 千円

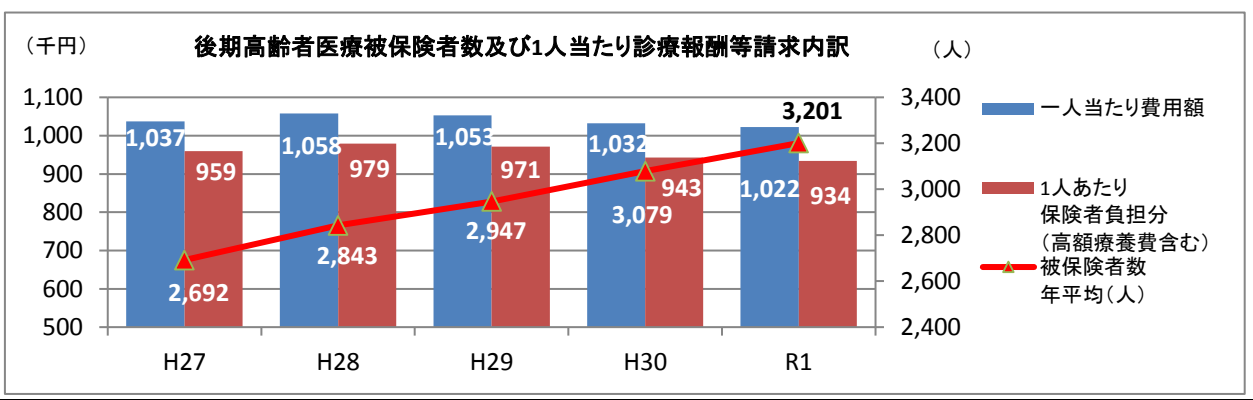
★主な事業内容
- ・被保険者の資格管理に関する申請及び届出の受付
- ・被保険者証及び資格証明書の引渡し・同返還の受付
- ・医療給付に関する申請及び届出の受付並びに証明書の引渡し
- ・保険料の徴収

【　保険料収納率　】

後期高齢者医療保険料収納率（%）

	現年度	滞繰分	計
H27	99.01	82.81	98.99
H28	99.63	64.21	99.35
H29	99.79	68.75	99.66
H30	99.81	54.72	99.64
R1	99.41	62.67	99.23





事業の成果

沖縄県を単位とした広域連合が保険料の賦課及び医療給付を行い、高齢社会に備え財政基盤の安定化を図りました。

予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳				
			国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
	315,861	313,481				240,774	72,707

令和元年度主要施策の成果に関する報告書

単位：千円

事業名	新生児妊産婦訪問指導事業			予算科目	会計	一般会計	01
部課	民生部　国保年金課	課長名	髙良　星一郎		款	衛生費	04
連絡先	889－7381				項	保健衛生費	01
目標	ちむぐくるでともにつくる福祉と健康のまち				目	保健衛生総務費	01

事業の目的	対象（誰を・何を）	意図（どういう状態にしたいのか）
	第1子目の新生児または乳児とその産婦 （第2子以降は希望のあった方）	産前産後の母体の体調回復や新生児の発育状態の確認、子育ての相談・指導をとおして母親の不安を解消し、母子共に健康な生活を送ることができるように支援します。

事業の実施内容

訪問従事者・・・助産師、保健師

《妊婦訪問》

対象：　訪問が必要と判断された妊婦

指導内容
- 健康状態、現状などの問診
- 健康診査の励行
- 妊娠、分娩、産褥及び育児に関する知識
- 生活環境
- 精神保健
- 妊娠期における歯科疾患の予防、及び治療励行
- 家族計画等

《新生児・乳児及び産婦訪問》

対象：　第1子目の新生児または乳児とその産婦
（第2子以降で希望のあった方）

指導内容
- 新生児、産婦の健康状態などの問診
- 母乳栄養について
- 抱き方、寝かせ方
- 乳房マッサージ施行
- 予防接種について
- 新生児の生理について
- 産後の経過について
- 産後の休暇の取り方
- 事故予防について
- 母子制度の説明
- 清潔、皮膚の手入れ
- 操体法実施
- ベビーマッサージ施行
- オムツの当て方
- 家族計画
- その他

主な経費
委託料　　1，530千円

事業の成果

延べ306件の訪問指導を実施し、産前産後のさまざまな悩みや不安を感じやすい時期に、助産師・保健師が訪問し相談相手となることで、不安や悩みの解消を図り、母子ともに健康な生活が送れるよう支援しました。

予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳				
			国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
	1,555	1,530					1,530

令和元年度主要施策の成果に関する報告書

単位：千円

事業名	未熟児養育医療事業			予算科目	会計	一般会計	01
部課	民生部　国保年金課	課長名	髙良　星一郎		款	衛生費	04
連絡先	889－7381				項	保健衛生費	01
目標	ちむぐくるでともにつくる福祉と健康のまち				目	保健衛生総務費	01

事業の目的	対象（誰を・何を）	意図（どういう状態にしたいのか）
	出生時体重2,000グラム以下もしくは医師が入院養育を必要と認めた乳児	医療を必要とする未熟児に対して、入院養育に必要な医療の給付を行うことにより、乳児の健康管理と健全な育成を図ります。

事業の実施内容

○未熟児養育医療とは

身体の発達が未熟なまま出生した乳児に対して、医師が入院養育を必要と認めた場合、費用の一部を国、県、市町村が負担する制度です。（保護者の所得に応じて自己負担額が決められます。また自己負担分はこども医療費助成の対象になります。）

○対象

南風原町に住所を有し、次のいずれかの症状があり、医師が入院養育を必要と認めた乳児が対象となります。

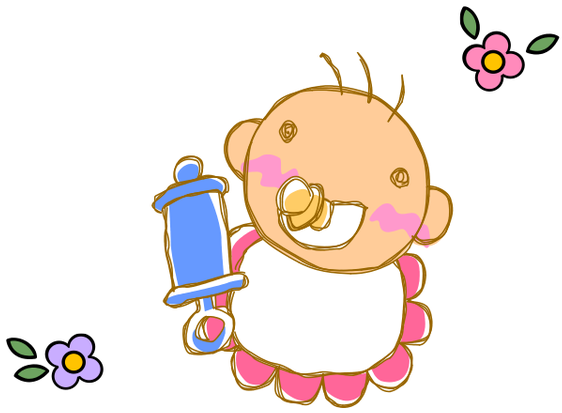
1. 出生時の体重が2,000g以下のもの。
2. 生活能力が特に薄弱であって医師が入院養育を必要と認めたもの。

主な経費

扶助費	12，209千円
委託料	2千円
合　計	12，211千円

＜令和元年度＞

給付実人員	19人
給付延件数	42件
給付延日数	770日



事業の成果

養育に必要な医療の給付を行うことにより、乳児の健康管理と健全な育成を図りました。
また、保健師による退院後の訪問指導（相談）につなげることで継続した支援ができました。

予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳				
			国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
	12,213	12,211	5,776	2,888		655	2,892

令和元年度主要施策の成果に関する報告書

単位：千円

事業名	1歳6か月児健康診査事業			予算科目	会計	一般会計	01
部課	民生部　国保年金課	課長名	髙良　星一郎		款	衛生費	04
連絡先	889－7381				項	保健衛生費	01
目標	ちむぐくるでともにつくる福祉と健康のまち				目	保健衛生総務費	01

事業の目的	対象（誰を・何を）	意図（どういう状態にしたいのか）
	満1歳6か月を超え満2歳に達しない幼児	健康診査、保健指導を行い、母子保健に関する知識の普及に努め、幼児の健康の保持及び増進を図ります。

事業の実施内容

1歳6か月児健康診査（毎月実施/年14回）
※コロナ感染症拡大防止のため、3月予定分は翌年度へ延期（当初予定　年15回）

会場：　ちむぐくる館

健診内容
- 身体測定（体重・身長・胸囲・頭囲）
- 貧血検査（血色素量）
- 歯科医による診察
- 歯科衛生士の指導及び相談
- 小児科医による診察
- 栄養指導及び相談
- 保健指導及び相談
- 心理相談

スタッフ
- 小児科医師　1名
- 歯科医師　1名
- 歯科衛生士　1名
- 検査技師　1名
- 看護師　1名
- 心理相談士　1名
- 栄養士　2名
- 保健師　3名
- 母子保健推進員　4名
- 事務職員　2名

主な経費

医師等謝礼金	1，319千円
消耗品費・通知費等	195千円
健診委託料	452千円
合　計	1，966千円

令和元年度　1歳6か月児健診受診状況

対象者数	受診者数	受診率
538	503	93.5%

健診結果内訳（延べ件数）

問題なし	既医療	要観察・相談	要医療	要精密検査
396	8	92	0	7

事業の成果

幼児期の身体、精神の発育発達の状態を確認することができました。また、保護者が子の発育・発達の原理を知り、日常で実践できるよう支援する事ができました。

予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳				
			国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
	2,142	1,966					1,966

令和元年度主要施策の成果に関する報告書

単位：千円

事業名	3歳児健康診査事業			予算科目	会計	一般会計	01
部課	民生部　国保年金課	課長名	髙良　星一郎		款	衛生費	04
連絡先	889－7381				項	保健衛生費	01
目標	ちむぐくるでともにつくる福祉と健康のまち				目	保健衛生総務費	01

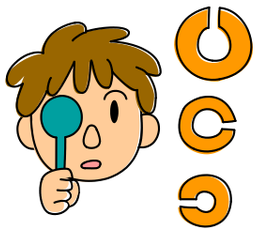
事業の目的	対象（誰を・何を）	意図（どういう状態にしたいのか）
	満3歳5か月を超え4歳に達しない幼児	健康診査、保健指導を行い、母子保健に関する知識の普及に努め、幼児の健康の保持及び増進を図ります。

事業の実施内容

3歳児健康診査（毎月実施/年14回）
※コロナ感染症拡大防止のため3月実施予定分は翌年度へ延期（当初予定　年15回）

会場：　ちむぐくる館

健診内容
- 身体測定（体重・身長・胸囲・頭囲）
- 尿検査（尿蛋白・尿糖）
- 視能訓練士による眼科検査
- 小児科医による診察
- 歯科医による診察
- 歯科衛生士の指導及び相談
- 保健指導及び相談
- 栄養指導及び相談
- 心理相談（必要時）



スタッフ
- 小児科医師　1名
- 歯科医師　1名
- 歯科衛生士　1名
- 検査技師　1名
- 視能訓練士　3名
- 看護師　1名
- 心理相談士　1名
- 栄養士　2名
- 保健師　3名
- 母子保健推進員　3名
- 事務職員　2名

主な経費

3歳児健診委託料	1，657千円
健診スタッフ等謝礼金	518千円
消耗品費・通知費等	201千円
合　　計	2，376千円

令和元年度　3歳児健診受診状況

対象者数	受診者数	受診率
516	485	94.0%

健診結果内訳（延べ件数）

問題なし	既医療	要観察・相談	要医療	要精密検査
338	12	67	4	64

事業の成果

幼児期においての視覚、聴覚も含めた発育・発達の確認をし、心身の障がいを未然に防止するとともに、生活習慣の自立、社会性の発達の確保ができるよう支援ができました。

予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳				
			国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
	2,470	2,376					2,376

令和元年度主要施策の成果に関する報告書

単位：千円

事業名	妊婦一般健康診査事業			予算科目	会計	一般会計	01
部課	民生部　国保年金課	課長名	髙良　星一郎		款	衛生費	04
連絡先	889－7381				項	保健衛生費	01
目標	ちむぐくるでともにつくる福祉と健康のまち				目	保健衛生総務費	01

事業の目的	対象（誰を・何を）	意図（どういう状態にしたいのか）
	親子（母子）健康手帳の交付を受けた妊婦のうち、本町に住所を有する者	保険適用外である妊婦の健康診査を公費負担とすることで、経済的負担を軽減し、妊婦の健康の保持増進を図ります。

事業の実施内容

妊婦健康診査内容及び公費負担額等

公費補助（全14回）	望ましい健診時期（有効期限）	健診内容	公費負担額
1回目	妊娠初期	1. 基本的な健康診査　2. 血液検査（血液型検査、不規則抗体検査、梅毒血清反応検査、B型肝炎抗原検査、C型肝炎抗体検査、血糖検査、貧血検査） 3. 子宮頸がん検査　4. 超音波検査	9,000円
2回目	（20～23週）	1. 基本的な健康診査　2. 超音波検査	5,000円
3回目	（24～28週）	1. 基本的な健康診査　2. 血液検査（貧血検査、血糖検査）　3. 超音波検査	6,000円
4回目	（29～33週）	1. 基本的な健康診査　2. 血液検査（貧血検査）　3. 超音波検査	6,000円
5回目	（34～出産）	1. 基本的な健康診査　2. 血液検査（貧血検査、GOP、GPT）　3. 帯下培養　4. 超音波検査	6,000円
9－1回目	9－1回目～9－9回目は順番が前後することも可能	1. 基本的な健康診査	5,040円
9－2回目		1. 基本的な健康診査　2. 超音波検査	9,820円
9－3回目		1. 基本的な健康診査	5,040円
9－4回目		1. 基本的な健康診査　2. 超音波検査	9,290円
9－5回目		1. 基本的な健康診査	5,040円
9－6回目		1. 基本的な健康診査　2. 超音波検査	9,820円
9－7回目		1. 基本的な健康診査	5,040円
9－8回目		1. 基本的な健康診査	5,040円
9－9回目		1. 基本的な健康診査	5,040円
風疹・HIV・ｸﾗﾐｼﾞｱ検査	1回目・できるだけ早い時期	風疹ウイルス抗体価検査、HIV抗体価検査、ｸﾗﾐｼﾞｱ抗原検査	5,640円
HTLV-1抗体検査	3～5回目 30週頃までに	HTLV－1抗体価検査	2,290円

※「1. 基本的な健康診査」では、問診等による健康状態の把握、体重測定、血圧測定、尿検査等の定期検査、保健指導が行われます。

※上記それぞれの検査については、公費負担により無料で受診することができますが、項目以外の検査料は自己負担となります。

・・・例えば、超音波検査がない回に超音波検査を受けた場合の検査料金は自己負担になります。

※親子（母子）健康手帳交付時の週数に応じて必要な回数の受診票が発行されます。

（2・3・4・5回目の受診票には有効期限が設けられています。妊娠がわかったら早めに親子健康手帳の交付を受けましょう。）

主な経費		
	委託料	52，816千円
	需用費	350千円
	扶助費	146千円
	合　計	53，312千円

＊国保連合会
妊婦健康診査受診状況
（年報）より

妊婦健康診査受診状況（令和元年度）

・妊娠高血圧症候群

妊娠週数（２０週以前）					妊娠週数（２０週以降）		
受診者数	高血圧あり		高血圧なし		受診者数	高血圧あり	
	計	尿蛋白＋以上	計	尿蛋白＋以上		妊娠高血圧 尿蛋白－±	妊娠高血圧腎症 尿蛋白＋以上
579	13	1	566	33	2212	36	3

・妊娠糖尿病

妊婦健診１回目（妊娠初期）			妊婦健診３回目（妊娠24～28週）		
受診者数	糖尿病	OGTT実施数	受診者数	糖尿病	OGTT実施数
586	1	0	562	31	13

・妊娠時の貧血

受診者数	正常	貧血
2264	2083	181

事業の成果

健診を定期的に受けることで母体の疾病又は異常の早期発見及び防止になっています。
また健診結果をもとに、リスクの高い妊婦に対して保健師・助産師による訪問や電話での相談等を行い、妊産婦の生活習慣に対する助言や出産に対する不安の解消を図りました。

予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳				
			国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
	53,826	53,312					53,312

令和元年度主要施策の成果に関する報告書

単位：千円

事業名	乳児一般健康診査事業			予算科目	会計	一般会計	01
部課	民生部　国保年金課	課長名	髙良　星一郎		款	衛生費	04
連絡先	889－7381				項	保健衛生費	01
目標	ちむぐくるでともにつくる福祉と健康のまち				目	保健衛生総務費	01

事業の目的	対象（誰を・何を）	意図（どういう状態にしたいのか）
	生後4か月を超え、満1歳に達しない乳児（前期：4か月～5か月児、後期：9か月～10か月児）	健康診査、栄養指導、保健指導を行い、母子保健に関する知識の普及に努め、乳児の健康の保持及び増進を図ります。

事業の実施内容

乳児一般健康診査（毎月実施／年10回）
※9月台風接近のため中止、
3月コロナ感染症拡大防止のため翌年度へ延期
（当初予定　年12回）

会場：　ちむぐくる館

健診内容
- 身体測定（体重・身長・胸囲・頭囲）
- 貧血検査（血色素量）（後期児のみ）
- 小児科医による診察
- 栄養指導
- 保健指導

スタッフ
- 小児科医師　3名
- 検査技師　2名
- 看護師　3名
- 栄養士　6名
- 保健師　5名
- 母子保健推進員　4名
- 事務職員　6名

（対象人数によって調整）

主な経費

乳児健診委託料	5，646千円
健診案内通知等	262千円
消耗品費、印刷製本費	268千円
合　計	6，176千円

令和元年度　乳児健診受診状況

対象者数	受診者数	受診率
1,062	972	91.5%

健診結果内訳（延べ件数）

問題なし	既医療	要観察・相談	要医療	要精密検査
760	35	111	2	64

事業の成果

乳児期の発育発達の確認や、心身の異常の早期発見はもとより、心身ともにすこやかに成長できるための育児環境づくり、各月齢ごとの発達の様子をまとめた「子どもノート」を活用し育児不安の解消を図りました。

予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳				
			国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
	6,200	6,176					6,176

令和元年度主要施策の成果に関する報告書

単位：千円

事業名	長寿県復活 食の応援事業			予算科目	会計	一般会計	01
部　課	民生部　国保年金課	課長名	高良　星一郎		款	衛生費	04
連絡先	889－7381				項	保健衛生費	01
目　標	ちむぐくるでともにつくる福祉と健康のまち				目	保健対策推進費	06

事業の目的	対象（誰を・何を）	意図（どういう状態にしたいのか）
	町内に住所を有する小学5年生及び中学2年生	将来の生活習慣病の予防に向け、町内の小学校5年生及び中学校2年生を対象に生活習慣病予防健診及び健診結果説明会を実施する。

事業の実施内容

1．学童期における生活習慣病予防健診及び保健指導
　小学5年生、中学2年生への生活習慣病予防健診（採血等）の実施と結果に基づいた保健指導の実施

《　生活習慣病予防健診　》

《　健診結果説明会　》

○主な経費
・学童期生活習慣病予防健診　・・・・・・　3，070千円
・通信運搬費　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　97千円

		H28	H29	H30	R1
対象者		908	976	932	990
	小5	464	509	476	516
	中2	444	467	456	474
受診者		241	321	310	463
	小5	154	206	187	280
	中2	87	115	123	183
受診率		26.5	32.9	33.3	46.8
	小5	33.2	40.5	39.3	54.3
	中2	19.6	24.6	27.0	38.6
保健指導数（結果説明会参加含む）		209	197	220	301
	小5	－	143	127	172
	中2	－	54	93	129
保健指導率		86.7	61.4	71.0	65.0
	小5	－	69.4	67.9	61.4
	中2	－	47.0	75.6	70.5

事業の成果

　学童期の生活習慣病予防健診および結果説明会を通して、生活習慣病予防に向けた生活習慣の振り返りが親子で行えました。また、健診の結果に関して町内の養護教諭とも情報共有を行いました。

予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳				
			国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
	3,216	3,167		2,533			634

令和元年度主要施策の成果に関する報告書

単位：千円

事業名	予防接種事業			予算科目	会計	一般会計	01
部　課	民生部　国保年金課	課長名	高良　星一郎		款	衛生費	04
連絡先	889-7381				項	保健衛生費	01
目　標	ちむぐくるでともにつくる福祉と健康のまち				目	予防費	02

事業の目的	対象（誰を・何を）	意図（どういう状態にしたいのか）
	乳幼児や児童・生徒及び65歳以上の高齢者等。	伝染のおそれがある疾病の発生及びまん延を予防し、町民の健康の保持に努めます。

事業の実施内容

令和元年度決算内訳　　単位：千円

予防接種医師委託料	171,467
その他	4,586
合　　計	176,053

令和元年度定期予防接種状況

接種項目	接種	対象人数	接種者数	接種率	対象年齢
ヒブ	1回	587	597	101.7%	2か月 ～ 5歳未満
	2回	587	580	98.8%	
	3回	587	573	97.6%	
	追加	545	527	96.7%	
小児用肺炎	1回	587	596	101.5%	2か月 ～ 5歳未満
	2回	587	592	100.9%	
	3回	587	593	101.0%	
	追加	545	548	100.6%	
4種混合	1回	586	590	100.7%	3か月 ～ 7歳半未満
	2回	586	591	100.9%	
	3回	586	598	102.0%	
	追加	569	569	100.0%	
BCG	1回	562	579	103.0%	5か月 ～ 1歳未満
M R	1期	573	558	97.4%	1歳 ～ 2歳未満
	2期	572	508	88.8%	5歳～7歳未満で小学就学前の1年間
水痘	1回	545	556	102.0%	1歳 ～ 3歳未満
	2回	569	480	84.4%	
B型肝炎	1回	587	589	100.3%	2か月 ～ 1歳未満
	2回	587	580	98.8%	
	3回	587	546	93.0%	
日本脳炎1期	1回	616	691	112.2%	6か月 ～ 7歳半未満
	2回	616	630	102.3%	
	追加	593	688	116.0%	
日本脳炎	2期	542	514	94.8%	9歳 ～ 13歳未満
D T	2期	520	332	63.8%	11歳 ～ 13歳未満
子宮頸がん	1回	520	1	0.2%	13歳 ～ 16歳になる女性
	2回	520	0	0.0%	
	3回	520	0	0.0%	
インフルエンザ	1回	7,301	4,161	57.0%	65歳以上
高齢者肺炎	1回	985	248	25.2%	令和元年度中に65歳、70歳、75歳、80歳、85歳、90歳、95歳、100歳になる者、100歳以上になる者
風しん	抗体検査	2,084	339	16.3%	昭和47年4月2日～昭和54年4月1日生まれの男性（予防接種は、抗体検査の結果「抗体なし」と判断された者）
	予防接種		75		

事業の成果

予防接種を実施することにより、伝染の恐れがある疾病及びまん延を予防する事ができました。

予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳				
			国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
	176,104	176,053	1,758				174,295

令和元年度主要施策の成果に関する報告書

単位：千円

事業名	介護予防事業			予算科目	会計	一般会計	01
部　課	民生部　保健福祉課	課長名	大城　美恵子		款	民生費	03
連絡先	889-4416				項	社会福祉費	01
目　標	ちむぐくるでともにつくる福祉と健康のまち				目	老人福祉費	02

事業の目的	対象（誰を・何を）	意図（どういう状態にしたいのか）
	町内在住の高齢者	地域における65歳以上の高齢者ができる限り要介護状態に陥る事なく、健康でいきいきとした生活が送れるよう、介護予防事業の充実を図ります。

事業の実施内容

1．一般高齢介護予防通所事業（地域型）

地域の公民館を拠点に、地域ボランティアの協力のもと、健康チェックやレクリェーション等を通して生きがいと健康づくり、介護予防、交流の場の提供、社会参加の促進と社会的孤立感の解消等の支援をしました。

主な経費：一般高齢介護予防通所事業委託料　9，851千円
実施自治会等：19カ所
延べ利用者数：3，716人

2．食の自立支援サービス事業（配食サービス）

毎日の食事の確保が困難な高齢者の栄養バランスを整えるとともに、定期的な訪問による安否の確認を行うことで、食の確保と健康維持、安全を確認する等の生活の支援をしました。

栄養改善事業（配食サービス）
主な経費：栄養改善事業委託料　2，165千円
実利用者数　：22人　　配食数　：4，629食

3．高齢者水中運動教室

膝・腰などの関節に疾患がある方等を対象に、水中で浮力を使って効果的に運動することにより、身体機能を高めバランス能力を向上させ転倒予防を図りました。

主な経費：一般介護予防事業　水中運動教室委託料（一般・フォローアップクラス）2，058千円
介護予防・生活支援サービス事業　水中運動教室委託料（通年）　1，728千円
参加者数：（一般クラス）基本チェックリスト非該当者　65人
（サービス事業）基本チェックリスト該当者・要支援1・2　21人

4．運動機能向上事業（《元気アップ事業》訪問型サービス事業）

保健師・看護師・運動指導士・リハビリテーション職の専門職が、要介護状態及び要支援状態になるおそれのある高齢者の居宅を訪問し、必要な相談・指導を実施することにより、要介護状態等になることを予防し自立した生活を送れるよう支援しましました。

主な経費：講師謝礼金　80千円
利用者数：2人（実施回数：10回）

5．運動機能向上事業（通年型介護予防事業）

自主活動に繋げることを条件として希望する1地区へ、字公民館にて、毎週1回運動指導士や介護予防看護師を派遣することにより運動習慣を身につけ、筋力柔軟性の向上を図ることで要介護状態となることを予防するための支援をしました。

主な経費：講師謝礼金　336千円
実施場所：山川集落センター・与那覇公民館
参加人数：山川集落センター（10人）・与那覇公民館（11人）（実施回数：42回）

6．介護予防リーダー養成講座

介護予防の重要性についての講話や体操等の実技指導を行うことで、介護予防の担い手として活動する地域の介護予防リーダーを養成し、自主的な介護予防活動を図るための講座を開催しました。

主な経費：講師謝礼金　24千円
参加者数：13人（実施回数：4回）

次ページへつづく →

事業の実施内容	
	7．リハビリテーション専門職派遣事業 地域における介護予防の取り組みを機能強化し、要介護状態になっても生きがい・役割を持って生活できる地域の実現を目指し、高齢者の自立支援に対する取り組みを図りました。 主な経費： 講師謝礼金　416千円 実施場所:ちむぐくる館、各字公民館・集会所（一般高齢介護予防通所事業(地域型)） 実施回数:　52回 8．その他各種介護予防事業等 ①一般介護予防事業　高齢者筋力トレーニング教室（通年） 専門事業者による個々に合わせたプログラムで、自重負荷運動やマシントレーニング等活用した運動指導と介護予防に関する講話を行いました。 主な経費： 委託料　2，160千円 参加者数：90人（延べ人数　927人） ②介護予防・生活支援サービス事業　高齢者筋力トレーニング教室（通年） 専門事業者による個々に合わせたプログラムで、自重負荷運動やマシントレーニング等活用した運動指導と介護予防に関する講話を行いました。 主な経費： 委託料　1，728千円 参加者数：27人（延べ人数535人） ③サーキットマシントレーニング教室 個々の力に合わせて負荷調整が出来る油圧式マシン利用等により、運動機能の維持・向上と運動習慣の定着化を図りました。 主な経費： 委託料　408千円 参加者数：16人（延べ132人） ④操体事業 介護予防を目的とした健康体操の一つとして、操体法の講師を月2回派遣し、高齢者の運動機能の低下防止を図りました。 主な経費： 講師謝礼金　210千円 実施場所：ちむぐくる館、津嘉山公民館 参加者数：　51人（延べ544人） ⑤総合事業プラン作成委託料 要支援1．2及び基本チェックリストにより生活機能の低下がみられた方に対し、総合事業によるサービス等が適切に提供できるようケアマネジメントしました。 主な経費： 総合事業プラン作成委託料 3，484千円 9　その他 介護予防事業をスムーズに行うための経費 イ、介護予防事業保健師・看護師報酬　7，233千円 ロ、介護予防広報用パンフレット印刷・消耗品等　413千円 ハ、介護予防・日常生活圏域ニーズ調査　600千円 ニ、施設使用料　35千円
事業の成果	介護保険事業における地域支援事業を活用し、令和元年度は介護予防・日常生活支援総合事業として、介護予防・生活支援サービス及び一般介護予防事業を実施し、高齢者（65歳以上）が要介護状態にならないための予防又は要介護状態の軽減若しくは悪化の防止を図ることができました。年度末は新型コロナウィルス感染拡大防止のため実施できない事業もありました。

予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳				
			国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
	33,952	32,929				32,929	0

令和元年度主要施策の成果に関する報告書

単位：千円

事業名	認知症施策推進事業			予算科目	会計	一般会計	01
部課	民生部　保健福祉課	課長名	大城　美恵子		款	民生費	03
連絡先	889－3534				項	社会福祉費	01
目標	ちむぐくるでともにつくる福祉と健康のまち				目	老人福祉費	02

事業の目的	対象（誰を・何を）	意図（どういう状態にしたいのか）
	町内在住の高齢者と家族	認知症に関する相談や、必要な医療・サービスに繋がるよう支援を行います。認知症理解や地域での見守りを広げるための活動を行っていきます。

事業の実施内容

認知症地域支援推進員を配置し、個別訪問を中心に活動し、本人や家族に対して認知症に関する相談や、必要な医療・サービスに繋がるよう支援を行っています。
認知症の理解や地域での見守りを広げるため、認知症サポーター養成講座を開催しています。
認知症初期集中支援チームにて、早期に医療・サービスにつなぐ支援を実施しました。

・認知症地域支援推進員の主な仕事
(1)認知症の人やその家族を支援する相談業務
(2)医療機関や介護サービス地域の支援機関をつなぐコーディネーター
(3)認知症に関する理解・知識・制度等の住民への周知
(4)認知症サポーター養成講座の実施
(5)認知症に関する社会資源等の情報収集及び提供

・活動実績
対応件数（延べ）：908件　　認知症サポーター養成講座
開催回数：4回

認知症初期集中支援チーム
チーム員会議10回

主な経費　看護師嘱託員報酬 2，302千円
初期集中支援チーム委託料106千円
その他：50千円

事業の成果

認知症本人・家族への個別相談を中心に活動しました。
認知症サポーター養成講座を町内3小学校で実施し、認知症に関する理解を拡めることができました。

予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳				
			国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
	2,545	2,458				2,458	0

令和元年度主要施策の成果に関する報告書

単位：千円

事業名	介護保険運営事業			予算科目	会計	一般会計	01
部　課	民生部　保健福祉課	課長名	大城　美恵子		款	民生費	03
連絡先	889-4416				項	社会福祉費	01
目　標	ちむぐくるでともにつくる福祉と健康のまち				目	介護保険事業費	09

事業の目的	対象（誰を・何を）	意図（どういう状態にしたいのか）
	沖縄県介護保険広域連合	介護保険事業の安定的な運営を図ります。

事業の実施内容

1. 令和元年度沖縄県介護保険広域連合への負担金明細

単位：円

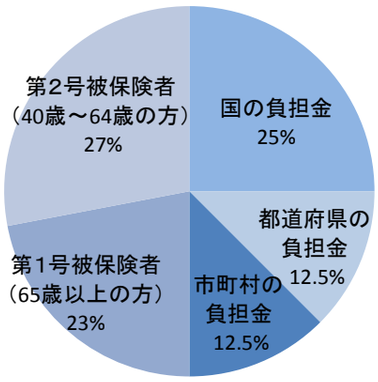
会計区分	事業項目	負担金額
一般会計	共通経費	40,495,818
	介護認定に関する経費	16,411,224
	国・県補助事業に関する経費	5,177,003
	平成30年度決算に伴う負担金	472,321
一般会計に要する経費小計		62,556,366
特別会計	介護給付に要する経費	251,007,675
	地域支援事業に係る負担金	20,610,560
特別会計に要する経費小計		271,618,235
介護保険広域連合負担金合計		334,174,601

2. その他の経費

イ、介護保険窓口業務臨時職員賃金　　2，466千円
ロ、消耗品費、通信運搬費、委託料等　　67千円

【 介護保険の負担割合率 】

全体（100%）
- 公費（50%）
  - 国の負担金 ・・・・・・・・（25%）
  - 都道府県の負担金 ・・（12.5%）
  - 市町村の負担金 ・・・・（12.5%）
- 保険料（50%）
  - 第1号被保険者 ・・・・・（23%）（65歳以上の方）
  - 第2号被保険者 ・・・・・（27%）（40歳～64歳の方）



事業の成果

介護給付・予防給付費に要する費用の一部を負担することにより、保険料やサービスの適正化等が図られています。

予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳				
			国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
	336,891	336,708					336,708

令和元年度主要施策の成果に関する報告書

単位：千円

事業名	宮平保育所運営事業			予算科目	会計	一般会計	01
部課	民生部　こども課	課長名	儀間　博嗣		款	民生費	03
連絡先	889－7028				項	児童福祉費	02
目標	ちむぐくるでともにつくる福祉と健康のまち				目	保育所運営事業	02

事業の目的	対象（誰を・何を）	意図（どういう状態にしたいのか）
	就労家庭等保育を必要とする世帯の子どもたち。	家庭に代わりこども達が安全で楽しく過ごせるよう保育に努めます。支援を必要とする子への適切な対応、早期発見が望まれるようなケースについても、先駆けとなって丁寧な保育に取り組んでいきます。

事業の実施内容

宮平保育所運営事業

主な経費

○ 嘱託報酬・臨時職員賃金　25，163千円
日常の保育業務を行う臨時職員（保育士）や、非常勤の調理員を雇用しており その賃金として使われています。

○ 給食材料費　5，140千円
栄養のバランスがとれた園児の給食・おやつ・ミルクの材料費として使われています。

○ 光熱水費　2，514千円
保育所を運営するために必要なエネルギーである、電気・水道・ガスの使用料金として使われています。

○ 消耗品　1，069千円
保育用教材・薬品・洗剤や、施設内の消耗品・事務用品等の購入に使われています。

○ その他の費用　3，725千円
保育所を運営するために必要不可欠な行事費、健康診断料、施設の修繕費、電話料金、保険料、衛生管理費等として使われています。

農業青年クラブのお兄さんとゴーヤー植え。
大きくなぁれ♪

運動会で海賊団に変身、お宝ｹﾞｯﾄしたぞー！

事業の成果

保護者と連携を図りながら、乳幼児期のこども達の健やかな成長・発達を促し、保育の充実と子育ての支援に取り組みました。

予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳				
			国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
	39,046	37,611					37,611

令和元年度主要施策の成果に関する報告書

単位：千円

事業名	認可保育園事業・補助（保育所運営費）			予算科目	会計	一般会計	01
部　課	民生部　こども課	課長名	儀間　博嗣		款	民生費	03
連絡先	889－7028				項	児童福祉費	02
目　標	ちむぐくるでともにつくる福祉と健康のまち				目	保育所運営事業	02

事業の目的	対象（誰を・何を）	意図（どういう状態にしたいのか）
	認可保育園に在籍する児童とその保護者	就労等で保育が必要な保護者に代わって保育を行い、入所児童の心身の健全な発達を確保します。

事業の実施内容

1．入所児童数
（令和2年3月1日現在）　　単位：人、％

施設名	定員	0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	合計	弾力化
宮平保育所	60	6	8	12	15	16	0	57	95.0%
公立計	60	6	8	12	15	16	0	57	95.0%
津嘉山保育園	150	24	30	33	34	35	0	156	104.0%
かねぐすく保育園	100	12	18	18	22	18	15	103	103.0%
南風原はなぞの保育園	141	15	24	30	30	27	20	146	103.5%
若夏保育園	120	23	28	28	28	26	0	133	110.8%
みつわ保育園	136	18	27	28	28	25	18	144	105.9%
さんご保育園	180	24	30	36	38	33	31	192	106.7%
はえばる保育園	150	21	36	36	38	35	0	166	110.7%
マイフレンズ保育園	120	12	20	20	20	19	12	103	85.8%
ていだ保育園	120	18	23	30	30	26	0	127	105.8%
なのはな保育園	120	15	24	29	28	24	7	127	105.8%
よなは保育園	97	12	18	21	18	21	11	101	104.1%
ももの木保育園	60	9	12	17	22	11	0	71	118.3%
やまがわ保育園	77	6	17	18	24	18	0	83	107.8%
南風原やまびこ保育園	60	9	10	12	15	10	0	56	93.3%
私立計	1,631	218	317	356	375	328	114	1,708	104.7%
合計	1,691	224	325	368	390	344	114	1,765	104.4%

2．運営費・3歳以上児主食費支弁額
（令和元年度実績）　　単位：千円

施設名	運営費	3歳以上児主食費
津嘉山保育園	176,587	207
かねぐすく保育園	114,078	165
南風原はなぞの保育園	160,761	232
若夏保育園	165,157	165
みつわ保育園	153,987	212
さんご保育園	208,474	310
はえばる保育園	185,779	222
マイフレンズ保育園	107,140	155
ていだ保育園	151,880	172
なのはな保育園	146,896	183
よなは保育園	117,068	152
ももの木保育園	105,796	99
やまがわ保育園	102,265	129
南風原やまびこ保育園	76,734	75
町外広域利用	8,302	0
合計	1,980,904	2,478

事業の成果

保育所において家庭や地域社会と連携を図り、こどもが安全で情緒の安定した生活ができるよう環境を整備し、健全な心身の発達を図り、豊かな人間性を育むことができました。

予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳				
			国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
	1,984,865	1,983,382	870,354	372,749		299,470	440,809

令和元年度主要施策の成果に関する報告書

単位：千円

事業名	延長保育促進事業			予算科目	会計	一般会計	01
部課	民生部　こども課	課長名	儀間　博嗣		款	民生費	03
連絡先	889－7028				項	児童福祉費	02
目標	ちむぐくるでともにつくる福祉と健康のまち				目	保育所運営事業	02

事業の目的	対象（誰を・何を）	意図（どういう状態にしたいのか）
	法人保育園に入所した児童	法人保育園における保育士配置の充実を図ることにより11時間の開所時間の始期及び終期前後の保育需要への対応の推進を図ります。

事業の実施内容

延長保育促進事業

認可保育園延長保育促進事業補助金（15園）　12，302千円
利用者延人数(15園)　1日平均8人

○ 対象児童は実際に延長保育を利用した保育所入所児童です。

○ 対象児童に対し、適宜、間食等を提供します。

○ 保護者が仕事をする上で終業が遅くなったときなど、いざというときに頼れるサービスがあることで安心してこどもを預ける事ができます。

延長保育促進事業利用状況（各月1日当たり平均人数）　単位：人

保育園名	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	日平均計
津嘉山保育園	7	9	8	8	6	7	7	7	8	8	7	6	7
かねぐすく保育園	10	11	11	11	12	14	13	13	13	11	12	11	12
南風原はなぞの保育園	5	6	8	7	9	8	9	10	14	10	9	8	9
若夏保育園	8	9	9	10	10	12	11	11	9	9	9	8	10
みつわ保育園	13	16	15	15	13	15	16	17	16	17	16	14	15
さんご保育園	6	9	8	12	11	12	9	10	12	11	12	11	10
はえばる保育園	4	5	4	4	4	4	5	4	6	5	4	4	4
マイフレンズ保育園	3	4	5	6	7	6	6	6	6	6	7	7	6
てぃだ保育園	11	10	10	12	11	12	11	11	12	12	9	9	11
なのはな保育園	5	9	7	7	5	7	4	8	14	6	7	6	7
よなは保育園	6	11	10	11	10	10	13	12	14	15	12	12	11
ももの木保育園保育園	7	6	5	6	5	6	7	7	7	7	7	6	6
やまがわ保育園	4	4	5	6	6	5	5	6	6	5	6	4	5
南風原やまびこ保育園	2	5	4	5	3	5	5	5	5	4	4	4	4
開邦幼稚園	6	8	6	8	7	7	6	2	2	2	1	2	5
合計	97	122	115	128	119	128	128	128	144	128	123	110	8

事業の成果

就労形態の多様化等に伴いやむを得ない理由で、通常保育時間内（7時～18時）に保育園へ児童の送り迎えができない保護者に対して、延長保育を実施し安心して子育てができる環境を整備することにより、保育の充実を図ることができました。

予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳				
			国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
	16,487	12,302	7,512	4,100			690

令和元年度主要施策の成果に関する報告書

単位：千円

事業名	障がい児保育事業			予算科目	会計	一般会計	01
部課	民生部　こども課	課長名	儀間　博嗣		款	民生費	03
連絡先	889－7028				項	児童福祉費	02
目標	ちむぐくるでともにつくる福祉と健康のまち				目	保育所運営事業	02

事業の目的	対象（誰を・何を）	意図（どういう状態にしたいのか）
	町内の認可保育園に通う障がい児を受け入れている園を対象とします。	保育を必要とし、かつ軽度の心身障がいを有する児童に対して、集団保育の中で適切な指導を実施することによって、健常児とともに健全な成長、発達を促すことを目的とします。

事業の実施内容

1．南風原町障がい児保育事業実施要綱等により行う事業に対して補助を行いました。

＊基本額（160,000円）＝時給（800円）×200時間（8h×月25日）
児童3名に対して保育士等1人配置を基本とする。　　決算額　：　20，688千円

※保育士資格所持の場合

	児童数	月額	差額
基本額－20％	1	128,000	－32,000
基本額－10％	2	144,000	－16,000
基本額＋－0	3	160,000	0
基本額＋10％	4	176,000	＋16,000
基本額＋20％	5	192,000	＋32,000

令和元年度　障がい児等保育事業補助金実施実績

保育園名	児童数	月額	年額	
宮平保育所	－			
津嘉山保育園	1	128,000	1,536,000	
南風原はなぞの保育園	1	128,000	1,536,000	
みつわ保育園	5	192,000	2,304,000	
さんご保育園	3	160,000	1,920,000	
はえばる保育園	3	160,000	1,920,000	
マイフレンズ保育園	1	103,000	1,236,000	
ていだ保育園	1	103,000	1,236,000	※特別支援児
なのはな保育園	2	256,000	3,072,000	※特別支援児含む
よなは保育園	2	144,000	1,728,000	
ももの木保育園	2	119,000	1,428,000	
やまがわ保育園	1	103,000	1,236,000	
南風原やまびこ保育園	1	128,000	1,536,000	
合　計	23	－	20,688,000	

※特別支援児
アナフィラキシー症状など、特別に支援が必要な児童で診断書提出が必須

事業の成果

障がい児保育事業は、障がい児の発達と障がい児保育の総合的な推進を図るため、集団保育が可能な障がい児保育を支援・実施する事業です。有識者による巡回指導、障がい児交流会、障がい児研究発表会なども行っております。巡回指導により、保育士が障がい児との関わり方を学び、さらに、成長・発達課題をしっかりおさえ、児童にあった働きかけを大切にすることで、社会性を育てるなど、障がい児保育事業の充実を図ることができました。

予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳				
			国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
	21,616	20,688					20,688

令和元年度主要施策の成果に関する報告書

単位：千円

事業名	認可保育園事業・町単独事業			予算科目	会計	一般会計	01
部課	民生部　こども課	課長名	儀間　博嗣		款	民生費	03
連絡先	889－7028				項	児童福祉費	02
目標	ちむぐくるでともにつくる福祉と健康のまち				目	児童福祉総務費	01

事業の目的	対象（誰を・何を）	意図（どういう状態にしたいのか）
	町内の法人保育園等	法人保育園の保育士確保と定着を図るため保育園職員給与の補助を行い、園運営の基盤を整えます。

事業の実施内容

主な経費

① 法人保育園職員給与補助金　　6，954千円
法人保育園・職員（勤務8h）1人当たり月1，500円の補助をしています。

法人保育園等の状況　　単位：人

保育園名	児童定員	職員数	児童数
津嘉山保育園	150	39	156
かねぐすく保育園	100	29	103
南風原はなぞの保育園	141	31	146
若夏保育園	120	26	133
みつわ保育園	136	32	144
さんご保育園	180	33	192
はえばる保育園	150	34	166
マイフレンズ保育園	120	23	103
てぃだ保育園	120	25	127
なのはな保育園	120	26	127
よなは保育園	97	24	101
ももの木保育園	60	15	71
やまがわ保育園	77	19	83
南風原やまびこ保育園	60	15	56
めだか保育園	18	10	20
くわの実保育園	19	10	22
たいようのおか保育園	19	8	22
合計　（17保育園）	1,687	399	1,772

資料：令和2年3月1日現在

事業の成果

保育士確保と定着を図ることで、認可保育園の運営基盤を支え、円滑な保育運営と保育環境を整えることができました。

予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳				
			国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
	7,167	6,954					6,954

令和元年度主要施策の成果に関する報告書

単位：千円

事業名	地域型保育事業・補助			予算科目	会計	一般会計	01
部課	民生部　こども課	課長名	儀間　博嗣		款	民生費	03
連絡先	889－7028				項	児童福祉費	02
目標	ちむぐくるでつくる福祉と健康のまち				目	保育所運営事業	02

事業の目的	対象（誰を・何を）	意図（どういう状態にしたいのか）
	地域型保育施設（小規模・事業所内保育施設）	事業所の施設等で従業員の児童を保育すると共に、地域枠を設け0～2歳児の保育を実施することで、待機児童の解消を行う。

事業の実施内容

1．入所児童数（令和2年3月1日現在）

○小規模保育施設

施設名	定員	0歳児	1歳児	2歳児	合計
めだか保育園	18	2	6	12	20
くわの実保育園	19	3	11	8	22
たいようのおか保育園	19	3	11	8	22
合計	56	8	28	28	64

○事業所内保育施設

施設名	地域枠	従業員枠	合計
よいサマリヤ人保育園（南風原町）	14	11	25
町認可　計	14	11	25
キティーハウス（西原町）	－	2	2
きらら保育園（八重瀬町）	－	3	3
ふたば保育園（豊見城市）	－	2	2
もこもこ保育園（浦添市）	－	1	1
ゆたかベビーガーデン（豊見城市）	－	2	2
さくらの子2号館（豊見城市）	－	1	1
町外認可　計	－	11	11
合計	14	22	36

○地域型保育事業は、平成27年度より施行された子ども・子育て支援制度に伴い市町村が設置認可・確認を行い、待機児童の多い0歳児から2歳児を受け入れる施設です。その中のひとつである事業所内保育事業は、事業所の所在地の各市町村が設置認可・確認した事業所内保育所にて、従業員の児童以外に地域の待機児童の受け入れを行い、待機児童の解消を図っています。令和元年度現在、町認可施設として小規模保育施設3園、事業所内保育施設1園が運営を行っています。

2．運営費支弁額
（令和元年度実績）　　単位：円

施設名	運営費	備考
めだか保育園	40,328,840	
くわの実保育園	40,443,590	
たいようのおか保育園	43,094,010	
小規模保育運営費（小計）	123,866,440	
よいサマリヤ人保育園（南風原町）	35,162,930	
キティーハウス（西原町）	2,299,920	
きらら保育園（八重瀬町）	3,040,720	
ふたば保育園（豊見城市）	4,723,030	
もこもこ保育園（浦添市）	1,092,920	
ゆたかベビーガーデン（豊見城市）	4,023,230	
さくらの子2号館（豊見城市）	1,400,700	9月～3月
事業所内保育運営費（小計）	51,743,450	
合計	175,609,890	

事業の成果

地域型保育施設にて、0歳～2歳の子どもを受け入れる事で、健全な心身の発達を図り、豊かな人間性を育むことができました。

予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳				
			国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
	175,610	175,610	90,578	37,168			47,864

令和元年度主要施策の成果に関する報告書

単位：千円

事業名	保育対策総合支援事業			予算科目	会計	一般会計	01
部課	民生部　こども課	課長名	儀間　博嗣		款	民生費	03
連絡先	889－7028				項	児童福祉費	02
目標	ちむぐくるでともにつくる福祉と健康のまち				目	保育所運営事業	02

事業の目的	対象（誰を・何を）	意図（どういう状態にしたいのか）
	町内の法人保育園及び地域型保育施設並び認可外保育施設	保育士が働きやすい職場の環境整備を行い、就業継続及び離職防止を図ります。

事業の実施内容

1. 保育体制強化事業
保育体制強化事業補助金　　9，447千円
実施園9園（津嘉山保育園、かねぐすく保育園、南風原はなぞの保育園、みつわ保育園、さんご保育園、よなは保育園、ももの木保育園、やまがわ保育園）
※ 保育士資格を有しない保育補助者を採用した認可保育園に対して補助（人件費分）を行いました。

2. 保育補助者雇上強化事業
保育補助者雇上強化事業補助金　4，604千円
実施園3園（さんご保育園、よなは保育園、ももの木保育園）
※ 保育士資格を有しない保育補助者を採用した認可保育園に対して補助（人件費分）を行いました。

3. 保育士宿舎借上支援事業
保育士宿舎借上支援事業補助金　510千円
実施園1園（ももの木保育園）
※ 保育士の宿舎を借り上げした認可保育園に対して補助（家賃等）を行いました。

4. 認可外保育施設衛生・安全対策事業
認可外保育施設衛生・安全対策事業補助金　180千円
実施園3園（たんぽぽ保育園、さくらんぼ保育園、なでしこ保育園）
※ 保育士等の感染症罹患の有無を発見するため、健康診断を受診した認可外保育施設に対して補助（健康診断代）を行いました。

5. 保育環境改善等事業
保育環境改善等事業補助金　　3，004千円
実施園19園（津嘉山保育園、かねぐすく保育園、南風原はなぞの保育園、若夏保育園、さんご保育園、マイフレンズ保育園、ていだ保育園、なのはな保育園、よなは保育園、ももの木保育園、やまがわ保育園、めだか保育園、くわの実保育園、たいようのおか保育園、なないろ保育園、なでしこ保育園、キラキラすまいる保育園、いろいろ保育園、みらい保育園）

※ 新型コロナウイルスの感染拡大を防止する観点から、消耗品（マスク・アルコール消毒液等）や備品等（体温計・空気清浄機等）を購入した認可保育園等に対して補助を行いました。

事業の成果

保育対策総合支援事業は、保育士の業務や健康面での支援を行い、就業継続・離職防止を図る事業や保育士資格を有しない保育補助者に保育士資格の取得を促し、保育人材の確保を図る事業、新型コロナウイルスの感染拡大を防止する事業などを実施することにより、日々、園児を対応している保育士等の業務環境の改善・充実を推進及び感染症拡大を防止する対策を図ることが出来ました。

予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳				
			国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
	28,221	17,745	3,785	11,281			2,679

令和元年度主要施策の成果に関する報告書

単位：千円

事業名	保育所等整備交付金事業			予算科目	会計	一般会計	01
部課	民生部　こども課	課長名	儀間　博嗣		款	民生費	03
連絡先	889－7028				項	児童福祉費	02
目標	ちむぐくるでともにつくる福祉と健康のまち				目	保育所運営事業	02

事業の目的	対象（誰を・何を）	意図（どういう状態にしたいのか）
	保育施設の整備を行う町内の認可保育園（現年度分）	南風原町子ども・子育て支援事業計画に沿って、待機児童の解消に向けて施設整備を行い定員の拡充を図ります。

事業の実施内容

負担割合：対象経費　6／8国、1／8町、1／8園

（現年度分）

1．保育所等整備交付金事業（2園）

※2カ年事業(H30～R1年度)から3カ年事業(H30～R2年度)に変更

		支出額
（新設）よなは第2保育園 ※令和2年8月開園	定員72人	118，917千円
（新設）明星保育園 ※令和2年8月開園	定員90人	96，275千円
	小計	215，192千円 ①

（明許繰越分）

		支出額
（新設）よなは第2保育園 ※令和2年8月開園	定員72人	16，781千円
（新設）明星保育園 ※令和2年8月開園	定員90人	23，021千円
	小計	39，802千円 ②

※1年目分予算（2園分）全額は39,802千円については平成30年度からの繰越しです。

小計①（現年度分）＋小計②（明許繰越分）合計　254，994千円③

よなは第2保育園

明星保育園

事業の成果

待機児童解消を目的に令和2年8月開園に向けて2園（よなは第2保育園、明星保育園）の施設整備を進めており、平成30年度事業（1年目分）は令和元年度までの繰越越事業になり、2園ともに令和元年12月に完了しました。元々の令和元年度事業（2年目分を2年目と3年目（令和2年度）に計画変更）は令和2年3月に完了しました。

予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳				
			国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
	254,994	254,994	218,568	28,011			8,415

令和元年度主要施策の成果に関する報告書

単位：千円

事業名	利用者支援事業			予算科目	会計	一般会計	01
部課	民生部　こども課	課長名	儀間　博嗣		款	民生費	03
連絡先	889－7028				項	児童福祉費	02
目標	ちむぐくるでともにつくる福祉と健康のまち				目	保育所運営事業	02

事業の目的	対象（誰を・何を）	意図（どういう状態にしたいのか）
	地域の子育て家庭	保育に関する施設や事業等を円滑に利用できるよう、子育て家庭に必要な支援を行います。

事業の実施内容

利用者支援事業

【主な経費】

子ども・子育て支援嘱託員報酬　　1，807千円

【事業の内容】

○利用者の個別ニーズを把握し、それに基づく情報の集約・提供、相談、利用支援等を行うこと。

○教育・保育施設や地域子育て支援事業等を提供している関係機関との連絡・調整、連携、協働の体制づくりを行うこと。

○リーフレットその他広告媒体を活用した利用者への広報・啓発を行うこと。

いっぱい取れたぞ～！

絵本は楽しいなぁ！

事業の成果

利用者支援事業を活用し、窓口・電話等で、地域の子育て家庭からの相談に寄り添い、個別ニーズを把握し、最適な子育て支援に係る施設・サービスの情報提供をすることが出来ました。

予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳				
			国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
	1,808	1,807	602	602			603

令和元年度主要施策の成果に関する報告書

単位：千円

事業名	認可外保育園事業・町単独事業			予算科目	会計	一般会計	01
部課	民生部　こども課	課長名	儀間　博嗣		款	民生費	03
連絡先	889－7028				項	児童福祉費	02
目標	ちむぐくるでともにつくる福祉と健康のまち				目	児童福祉総務費	01

事業の目的	対象（誰を・何を）	意図（どういう状態にしたいのか）
	町内の認可外保育園及び町外の認可外保育園を利用する町内児童	認可外保育園の保育の充実と児童の福祉向上を図ります。

事業の実施内容

1. 認可外保育園運営補助金（一般援護費）　　3，416千円

認可外保育施設に入所する児童の福祉の向上を図るため、町内児童の処遇に要する経費として1人月1,500円を補助します。

※ 令和元年度は町内5ヶ所の認可外保育園（たんぽぽ保育園、なでしこ学園、さくら保育園、さくらんぼ保育園、なないろ乳幼児園）へ補助金を交付しました。

2. 保育園及び園児の傷害保険補助（特別援護費）　　68千円

保育中の園児に事故があった場合に対応するため、保育園でかけている傷害保険の保険料分を町が1人800円補助します。

※ 令和元年度は町内2ヶ所の認可外保育園（さくら保育園、さくらんぼ保育園）へ補助金を交付しました。

3. 保育園児の歯科検診料補助（特別援護費）　　52千円

町内に住所を有する児童の歯科検診料を町が1人750円補助します。

※ 令和元年度は町内2ヶ所の認可外保育園（さくら保育園、なないろ乳幼児園）へ補助金を交付しました。

4. 町外認可外保育園に通う町内児童へ補助をしています。　　703千円

園児1人当たり月1,500円の補助をします。

※令和元年度は年2回の申請受付にて延べ87名の児童へ補助金を交付しました。

事業の成果

入所する児童の処遇に要する経費及び保険料等を補助することで、認可外保育園の運営を助長し福祉の向上を図ることができました。

予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳				
			国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
	4,417	4,239					4,239

令和元年度主要施策の成果に関する報告書

単位：千円

事業名	認可外保育園事業・補助事業			予算科目	会計	一般会計	01
部課	民生部　こども課	課長名	儀間　博嗣		款	民生費	03
連絡先	889－7028				項	児童福祉費	02
目標	ちむぐくるでともにつくる福祉と健康のまち				目	児童福祉総務費	01

事業の目的	対象（誰を・何を）	意図（どういう状態にしたいのか）
	町内の認可外保育園	認可外保育園に通う園児の給食費等の補助及び保育園への研修費等や施設の改修等の補助を行い、園児の成長と保育園の充実を図ります。

事業の実施内容

1．南風原町認可外保育事業補助金　　5，192千円

認可外保育施設に入所する児童及び勤務する職員の、健康管理に要する経費や給食費等を補助します。

種目	基準額	対象	補助金額
児童の健康診断費	内科検診　1，000円×児童数×2回以内	入所児童	519千円
	歯科検診　750円×児童数×1回		198千円
給食費	給食費（1） 0歳児　31円×児童数×24日×12月 1～5歳児　99円×児童数×24日×12月	入所児童	4，348千円
	給食費（2） 0歳児　56円×児童数×24日×12月 1～5歳児　156円×児童数×24日×12月		
	給食費（3） 0歳児　87円×児童数×24日×12月 1～5歳児　231円×児童数×24日×12月		
賠償責任保険料	300円（児童1人あたり）×1回	入所児童	73千円
調理員検便費	1，500円（調理員1人あたり）×実施月数	調理員	54千円

※この事業には県からの補助金（9/10補助）が含まれています。

2．認可外保育園研修事業補助金　　614千円

県が実施する研修を受講した認可外保育園に対して、保育材料等を購入する経費の一部を補助します。
令和元年度は、5園の認可外保育園（たんぽぽ保育園、なでしこ学園、さくら保育園、さくらんぼ保育園、なないろ乳幼児園）に補助金を交付しました。

事業の成果

入所する児童の健康診断を行い、給食費等を支給することで、児童の健康管理につなげることができました。
また、園の職員の研修参加や保育材料購入及び修繕の補助を行うことで、保育園運営の助長および職員の資質向上につなげることができました。

予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳				
			国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
	9,522	5,806		5,250			556

令和元年度主要施策の成果に関する報告書

単位：千円

事業名	ひとり親家庭等認可外利用料補助事業			予算科目	会計	一般会計	01
部課	民生部　こども課	課長名	儀間　博嗣		款	民生費	03
連絡先	889－7028				項	児童福祉費	02
目標	ちむぐくるでともにつくる福祉と健康のまち				目	児童福祉総務費	01

事業の目的	対象（誰を・何を）	意図（どういう状態にしたいのか）
	認可外保育施設を利用するひとり親家庭等の施設利用料を減免した認可外保育施設	認可外保育施設を利用するひとり親家庭等の施設利用料の負担を軽減することにより当該家庭の生活の安定と自立の促進を図ります。

事業の実施内容

○ひとり親家庭等認可外利用料補助事業　　1，083千円

※ 下記要件に該当する、『支援（減免）対象者』の施設使用料を減免した認可外保育施設へ補助を行いました。

1．補助対象認可外施設（5施設）

① 南風原町（2施設）
なでしこ学園、なないろ乳幼児園

② 那覇市（1施設）、豊見城市（1施設）、西原町（1施設）
くれよん保育園、ちゅーりっぷ保育園、マイマイクラブ

【支援（減免）対象者の要件】
※ 町内に居住している方で、下記の要件に該当するひとり親家庭等の母又は父などで、町長より事業を利用する資格を有する認定を受けた保護者です。

① 児童扶養手当法第4条に定める児童扶養手当の支給要件を満たしている保護者、又は沖縄県母子及び父子家庭等医療費助成事業の受給資格を満たしている保護者

② 子ども・子育て支援法第20条第1項の規定に基づき、同法第19条第1項第2号又は第3号に係る保育の必要性の認定を受けた子どもの保護者

③ ①、②に規定する子どものうち、保育所に入所申込みを行ったが、定員に空きが無いなどにより入所していなく、認可外保育施設を利用している子どもの保護者

事業の成果

認可外保育施設利用料を減免した認可外保育施設に対して、0歳～2歳児月額33,000円、3歳～5歳児月額28,000円を上限（事務手数料として1世帯あたり1,500円を別途、認可外保育施設へ補助）に補助を行うことで、ひとり親家庭等の生活の安定と自立の促進を図ることが出来ました。

予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳				
			国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
	1,122	1,083		972			111

令和元年度主要施策の成果に関する報告書

単位:千円

事業名	母子父子家庭医療費助成事業			予算科目	会計	一般会計	01
部　課	民生部　こども課	課長名	儀間　博嗣		款	民生費	03
連絡先	889－7028				項	児童福祉費	02
目　標	ちむぐくるでともにつくる福祉と健康のまち				目	児童福祉総務費	01

事業の目的	対象(誰を・何を)	意図(どういう状態にしたいのか)
	母子家庭の母と児童 父子家庭の父と児童 養育者が養育する、父母のいない児童	母子及び父子家庭等に対し、医療費の一部を助成することにより、生活の安定と自立を支援し、福祉の増進を図ることを目的とします。

事業の実施内容

令和元年度　母子及び父子家庭等受給者数調

区分 / 保険種別	母子家庭		父子家庭		養育者家庭	計	
	母	児童	父	児童	児童	父母	児童
国保分	194	372	24	42	4	218	418
社保分	361	581	33	47	2	394	630
合計	555	953	57	89	6	612	1,048

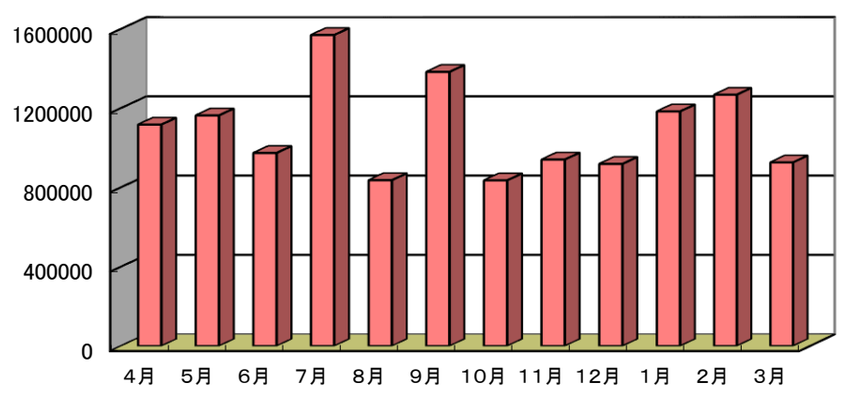
【令和元年度　助成実績】

◆　母子父子家庭医療費助成金　　扶助費決算額:　13，111　千円

(単位:円)

令和元年度　母子父子家庭医療費助成金

	助成額
4月	1,116,585
5月	1,162,964
6月	973,460
7月	1,569,114
8月	836,030
9月	1,382,855
10月	835,155
11月	940,179
12月	918,120
1月	1,183,205
2月	1,267,442
3月	925,760
合計	13,110,869



＊　通院の場合、1月1診療機関につき1，000円(一部負担金)を控除した額が助成となります。
【医科・歯科別総合病院においては、各診療科ごとに1，000円を控除した額を助成致します。】

＊　さらに、上記1，000円(一部負担金)は、平成26年度よりこども医療費にて負担しております。

事業の成果

雇用状況や、経済基盤の不安定な母子父子家庭の親と子、養育者家庭の子に対し、医療保険各法適用後の自己負担額(通院分・入院分・調剤薬局も含む)から一部負担金を控除した額と入院時食事療養費の1／2を助成することにより、経済的な負担軽減を図りました。また、平成30年1月受診分より自動償還方式を導入することにより、手続の簡略化を図りました。

予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳				
			国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
	13,885	13,111		6,527			6,584

令和元年度主要施策の成果に関する報告書

単位：千円

事業名	こども医療費助成事業			予算科目	会計	一般会計	01
部　課	民生部　こども課	課長名	儀間　博嗣		款	衛生費	04
連絡先	889－7028				項	保健衛生費	01
目　標	ちむぐくるでともにつくる福祉と健康のまち				目	保健衛生総務費	01

事業の目的	対象（誰を・何を）	意図（どういう状態にしたいのか）
	南風原町に住所を有する0歳～中学卒業（3月31日）までのこども	こどもの医療費の一部を助成することにより、健康の増進を図り、こどもの健やかな成長に寄与することを目的とします。

事業の実施内容

【 令和元年度　こども医療費助成実績 】

◆　扶助費決算額：220，421千円

単位：円

令和元年度　こども医療費助成					
	助成対象者数（人）	助　成　額　（円）			
		窓口償還分	自動償還分	現物給付分	助成額合計
4月	8,057	574,497	347,490	15,309,695	16,231,682
5月	8,111	301,781	485,430	20,095,173	20,882,384
6月	8,162	323,046	622,220	16,888,492	17,833,758
7月	8,219	417,857	519,270	16,984,177	17,921,304
8月	8,267	374,573	373,940	19,831,600	20,580,113
9月	8,306	314,420	554,440	19,346,903	20,215,763
10月	8,351	520,576	308,340	19,123,010	19,951,926
11月	8,390	805,065	96,130	17,521,577	18,422,772
12月	8,448	612,118	254,130	16,637,602	17,503,850
1月	8,503	146,827	174,020	15,753,862	16,074,709
2月	8,552	169,382	193,540	16,481,318	16,844,240
3月	8,589	834,246	182,840	16,941,337	17,958,423
	合計	5,394,388	4,111,790	210,914,746	220,420,924

＊　平成29年1月診療分より現物給付方式（窓口無料化）を導入しました。

◆　印刷製本費（南風原町こども医療費助成金受給資格者証）　決算額：　16千円

◆　手数料（自動償還及び現物給付の実施に伴う事務手数料）　決算額：　5，595千円

事業の成果

医療保険各法適用後の自己負担額（通院分・入院分・調剤薬局も含む）の全額と入院時食事療養費の半額を助成することにより、こどもの疾病の早期発見と早期治療を促進し、こどもの健全な育成と子育て世代への負担軽減に役立っています。また、平成29年1月に導入した現物給付方式（窓口無料化）により、より一層、安心して子育てができる環境を整えることができました。同時に、医療費を窓口で支払うことが困難な為に受診を控えていたこどもも、他のこどもと同様に医療を受けることができるようになりました。

予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳				
			国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
	233,769	226,032		65,200			160,832

令和元年度主要施策の成果に関する報告書

単位：千円

事業名	子供の貧困緊急対策事業			予算科目	会計	一般会計	01
部　課	民生部　こども課	課長名	儀間　博嗣		款	民生費	03
連絡先	889－7028				項	児童福祉費	02
目　標	ちむぐくるでともにつくる福祉と健康のまち				目	児童福祉総務費	01

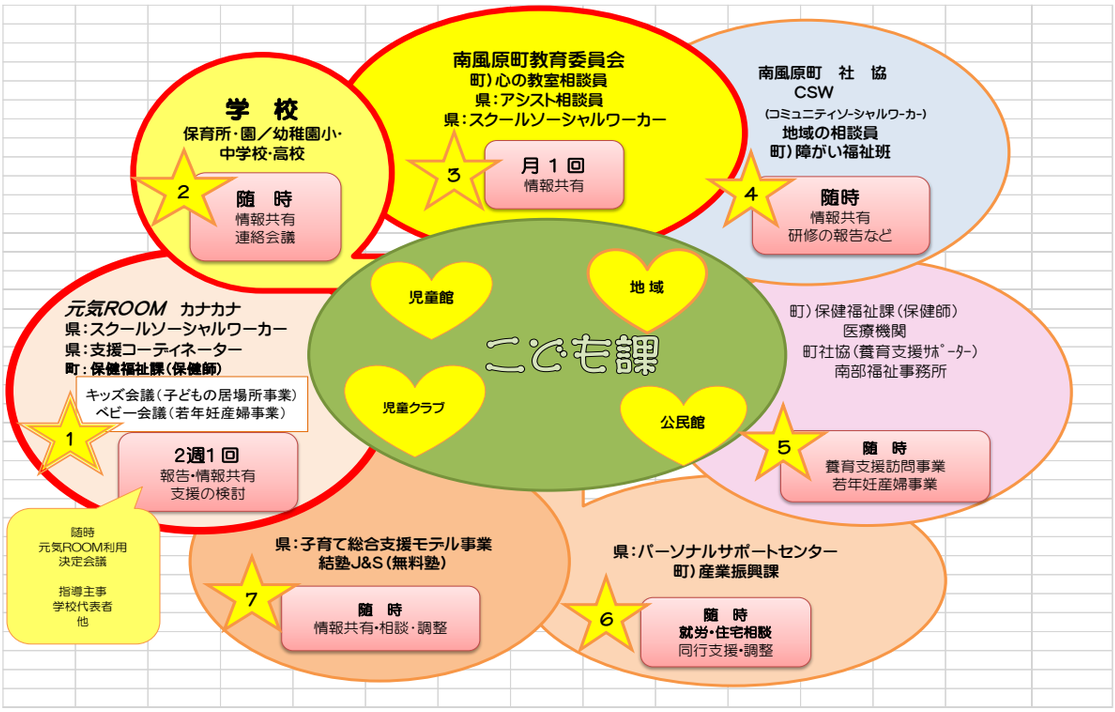
事業の目的	対象（誰を・何を）	意図（どういう状態にしたいのか）
	社会的孤立（貧困）家庭の子どもとその世帯	社会的孤立（貧困）家庭の子どもとその世帯の福祉の向上と、孤立（貧困）連鎖の打破に努めます。

事業の実施内容

・子どもの貧困対策支援員配置事業

子どもの貧困対策支援員（子ども元気支援員）が地域に出向いたり関係機関からの情報を受け子どもの孤立（貧困）の現状を把握し、学校や学習支援施設、子どもの居場所づくりを行う事業所等の関係機関との情報共有・連携を図り支援につなげる事業です。

子ども元気支援補助員（2人）　　3，614千円



・使用料及び賃借料

公用車リース料　　363千円

・子どもの居場所、若年妊産婦の居場所の運営支援事業　　25，715千円

元気ROOM（子どもの居場所）、ママ笑みROOM（若年妊産婦の居場所）において必要な支援を提供

①生活支援　　④食事支援（提供）
②学習支援　　⑤保護者の支援（養育支援）
③文化的活動支援　　⑥若年妊産婦等支援

事業の成果

○支援が必要な子どもを把握し元気ROOM等へ繋げることができました。また、元気ROOMを利用することで衛生の保持、基礎学習、食の確保等を支援し福祉の向上が図られました。
○元気ROOMで生活支援をすることで心を開いてくれた子ども達も多く、その支援により不登校の未然防止につながりました。
○保護者と信頼関係を築き養育支援をすることで、生活環境の改善や行政サービスへつなぐことができました。
○これまでの子ども支援に加え、令和元年度から新たに若年妊産婦等に心の安まる居場所を提供し安心して出産・子育てができるよう専門的知識を持った助産師等と一緒に包括的に支援をすることで不安や孤立を解消し必要な行政サービスへつなぐことができました。

予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳				
			国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
	32,946	29,692	29,292				400

令和元年度主要施策の成果に関する報告書

単位：千円

事業名	病児保育事業			予算科目	会計	一般会計	01
部課	民生部　こども課	課長名	儀間　博嗣		款	民生費	03
連絡先	889－7028				項	児童福祉費	02
目標	ちむぐくるでともにつくる福祉と健康のまち				目	保育所運営事業	02

事業の目的	対象（誰を・何を）	意図（どういう状態にしたいのか）
	町在住のおおむね生後6ヶ月から小学3年生までの児童で、病気治療中又は、回復期にある病児保育を必要とする児童	児童が病気の治療中又は回復期にあり、集団保育および保護者による保育が困難な場合に、適切な処遇が確保される施設で一時的に預かることで、保護者の子育てと就労の両立を支援するとともに、児童の健全な育成を図る。

事業の実施内容

平成27年度より、町内の医療機関へ委託して病児保育事業を実施しています。

○実施施設
医療法人わらべの会　わんぱくクリニック
南風原町字津嘉山1490番地　メディカルプラザつかざん2F

○利用時間

月～土	午前8時45分から午後5時30分まで
休業日	日曜日・祝祭日・第5土曜日（午後1時から）

○利用料金

区分	生活保護世帯	生活保護世帯以外
1日利用料	0円	1,500円
半日利用料		1,000円

1. 病児保育事業委託料　　8，467千円

委託料

(1)基本額	2,469,000	円
(2)利用人数に応じた委託料(500～550人)	5,998,000	円
(3)利用料免除額(生保による被保護者)	0	円
令和元年度委託料	8,467,000	円

2. 病児保育施設年度別利用児童数

年度	実績												合計
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
H27	27	26	32	37	41	34	19	15	20	20	29	32	332
H28	38	23	24	30	39	21	21	11	12	4	6	28	257
H29	9	23	43	36	21	25	15	33	35	36	21	27	324
H30	18	45	28	20	52	35	41	31	43	36	40	32	421
R1	33	33	67	60	45	62	39	40	21	32	46	58	536

事業の成果

保護者が就労している場合等に、子どもが病気の治療中又は回復期にある児童を、安心して預ける事のできる病児保育施設に一時的に預ける事で、保護者の子育てと仕事の両立を支援することができました。

予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳				
			国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
	8,467	8,467	2,822	2,822			2,823

令和元年度主要施策の成果に関する報告書

単位：千円

事業名	児童館運営事業・単独			予算科目	会計	一般会計	01
部課	民生部　こども課	課長名	儀間　博嗣		款	民生費	03
連絡先	889－7028				項	児童福祉費	02
目標	ちむぐくるでともにつくる福祉と健康のまち				目	児童厚生施設費	03

事業の目的	対象（誰を・何を）	意図（どういう状態にしたいのか）
	町内在住の幼児から高校生	児童に健全な遊びの場を与えて、その健康を増進し、情操を豊かにすることを目的とします。

事業の実施内容

【児童館の内容】

・クラブ活動
（一定期間継続して行う児童の活動で、多種多様に各児童館ごとに実施）

・ファミリークラブ
（親子の活動、情報交換、交流の場、児童の事故防止を目的とした活動等）

・子ども教室
（定期的に各館で開かれる手芸や工作、クッキング教室等）

・4児童館合同行事
（芸術鑑賞会、野外活動、児童館まつり等）

（単位：円）

主な経費	決算額
児童厚生員報酬等（12名）	18,367,980
クラブ活動等に伴う報償費	373,500
消耗品費	535,536
光熱水費	743,858
ファミリークラブ補助金	400,000
その他	3,788,949
合 計	24,209,823

年間利用者数	
北丘児童館	11,875 人
兼城児童館	9,920 人
本部児童館	7,943 人
津嘉山児童館	16,601 人
合計	46,339 人

○芸術鑑賞会の写真

○児童館まつりの写真

事業の成果

子どもの居場所確保・活動の拠点として、行事の種類が増え、クラブ活動や子ども教室も盛んに行われたことで、仲間づくりや健康増進が図られました。

予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳				
			国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
	24,722	24,210					24,210

令和元年度主要施策の成果に関する報告書

単位：千円

事業名	学童保育事業・補助			予算科目	会計	一般会計	01
部課	民生部　こども課	課長名	儀間 博嗣		款	民生費	03
連絡先	889－7028				項	児童福祉費	02
目標	ちむぐくるでともにつくる福祉と健康のまち				目	児童厚生施設費	03

事業の目的	対象（誰を・何を）	意図（どういう状態にしたいのか）
	労働等により昼間保護者のいない家庭の小学校児童を預かる学童クラブ	学童クラブに補助金を交付することにより、労働等により昼間保護者のいない家庭における児童の健全育成を図ることを目的とします。

事業の実施内容

●学童クラブ支援員等資質向上研修委託料　794,301円
資質向上研修を行うことで放課後児童支援員等の専門性の向上や児童クラブ間の格差を解消し、平準化を図ることを目的としております。

●学童保育事業・補助　　204,364,000円
本町にある下記の21箇所の学童クラブへそれぞれ補助金を支出しました。

学童クラブ別児童数及び補助金一覧　（単位：千円）

学童クラブ名	学童クラブ補助金（運営費）	障害児受入強化推進事業	支援員等処遇改善事業	送迎支援事業	運営支援事業（家賃補助）	環境改善事業	運営支援事業（移転関連）	新型コロナウイルス特例措置
みやび学童クラブ	6,108	0	1,575	0	0	0	0	310
よなは学童クラブ	8,183	0	1,575	479	0	0	0	551
よなは第2学童クラブ	8,183	0	1,575	479	600	0	0	706
北丘学童クラブ	5,762	0	3,012	0	0	0	0	279
第2北丘学童クラブ	5,512	0	1,575	0	450	0	0	192
学童クラブVI-VA	4,676	0	1,575	0	0	0	0	288
こもれび学童クラブ	8,079	0	1,575	0	600	0	0	640
こがね森学童クラブ	7,585	0	1,575	0	0	0	0	0
第二こがね森学童クラブ	7,843	0	1,575	0	0	0	0	494
キッズクラブ　カナカナ	7,477	0	1,575	0	0	0	0	363
キッズクラブ　リンク	5,780	0	1,575	0	480	1,000	0	354
ドルチェ学童クラブ	7,785	1,847	1,575	0	0	0	0	187
いこい学童クラブ	7,663	1,077	3,012	0	600	0	0	380
翔南学童クラブ	5,836	0	1,575	0	0	0	0	124
みつわ学童クラブ	7,551	0	1,444	0	600	0	0	0
学童クラブわんぱく家	5,317	0	1,575	0	0	0	0	164
学童クラブうーまく家	7,010	0	1,575	0	600	0	0	240
竹の子学童クラブ	5,978	0	3,012	0	0	0	0	238
第二竹の子学童クラブ	5,961	0	3,012	0	399	2,993	102	260
津嘉山学童クラブ	8,271	0	1,575	0	0	0	0	320
津嘉山うむさ学童クラブ	7,809	0	1,575	0	600	1,928	0	379
合計21学童クラブ	144,369	2,924	38,692	958	4,929	5,921	102	6,469
						合計	204,364	

※　障害児受入強化推進事業
3人以上の障害児の受け入れを行う場合に対象になります。

事業の成果

昼間保護者が家にいない児童が、集団で安心して過ごすことができる場を提供することができ、その健全な育成が図られました。

予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳				
			国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
	216,303	205,158	78,851	66,005			60,302

令和元年度主要施策の成果に関する報告書

単位：千円

事業名	放課後児童の居場所づくり支援事業			予算科目	会計	一般会計	01
部課	民生部　こども課	課長名	儀間　博嗣		款	民生費	03
連絡先	889－7028				項	児童福祉費	02
目標	ちむぐくるでともにつくる福祉と健康のまち				目	児童厚生施設費	03

事業の目的	対象（誰を・何を）	意図（どういう状態にしたいのか）
	建物を賃貸している学童クラブ、生活保護世帯及びひとり親世帯の児童の保育料を減免した学童クラブ	家賃補助をすることで保育料を軽減し、また生活保護世帯及びひとり親世帯の児童の利用料を一部補助することにより、子どもの居場所である学童クラブを利用しやすくします。

事業の実施内容

・放課後児童の居場所づくり支援事業　　10,075千円
　内訳　：　家賃補助　　4,728千円
　　保育料減免補助　　5,347千円

家賃補助については、以下の９学童クラブが対象となりました。

学童クラブ名	補助金額（円）
よなは学童クラブ	600,000
北丘学童クラブ	600,000
こがね森学童クラブ	420,000
第2こがね森学童クラブ	468,000
キッズクラブカナカナ	480,000
ドルチェ学童クラブ	600,000
翔南学童クラブ	600,000
学童クラブわんぱく家	600,000
津嘉山学童クラブ	360,000
合計	4,728,000

●みつわ学童クラブの子ども達

保育料減免については、以下の２１学童クラブが対象となりました。

学童クラブ名	対象児童数（人）	補助金額（円）
みやび学童クラブ	2	120,000
よなは学童クラブ	3	180,000
よなは第2学童クラブ	5	220,000
北丘学童クラブ	3	180,000
第2北丘学童クラブ	1	60,000
学童クラブVI-VA	9	430,000
こもれび学童	2	120,000
こがね森学童クラブ	2	101,000
第2こがね森学童クラブ	1	60,000
キッズクラブカナカナ	4	240,000
キッズクラブリンク	3	145,000
ドルチェ学童クラブ	7	348,000
いこい学童クラブ	9	498,000
翔南学童クラブ	5	220,000
みつわ学童クラブ	12	705,000
学童クラブわんぱく家	4	189,000
学童クラブうーまく家	13	621,000
竹の子学童クラブ	7	395,000
第二竹の子学童クラブ	2	115,000
津嘉山学童クラブ	8	340,000
津嘉山うむさ学童クラブ	1	60,000

保育料減免　合計

対象児童数	補助金額
103	5,347,000

事業の成果

学童保育料減免補助については、ひとり親家庭及び生活保護世帯を対象として実施しました。その結果、対象となる学童クラブ利用者の保育料が引き下げられ利用者の負担軽減につながり、これまで経済的な理由で学童クラブの利用が困難だった世帯も、利用しやすくなりました。

予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳				
			国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
	10,190	10,075		8,060			2,015

令和元年度主要施策の成果に関する報告書

単位：千円

事業名	ファミリーサポートセンター事業			予算科目	会計	一般会計	01
部課	民生部　こども課	課長名	儀間　博嗣		款	民生費	03
連絡先	889－7028				項	児童福祉費	02
目標	ちむぐくるでともにつくる福祉と健康のまち				目	児童福祉総務費	01

事業の目的	対象（誰を・何を）	意図（どういう状態にしたいのか）
	地域の子育て家庭	子育てのお手伝いを必要としている人（おねがい会員）と子育てのお手伝いをしたい人（サポート会員）とを結びつける会員制の相互援助活動を行います。

事業

ファミリーサポートセンター事業　　3，952千円

【センターの業務】

①会員の募集、登録に関すること
②相互援助活動の調整
③会員を対象に相互援助活動に必要な知識を習得するための講習会の開催
④会員の交流を深め、情報交換の場を提供するための交流会の開催
⑤子育て支援に関する関係機関との連絡調整に関する業務
⑥広報活動

【アドバイザー・登録会員状況】

単位：人

アドバイザーの人数	援助を行いたい会員（提供会員）	提供を受けたい会員（依頼会員）	両方会員	合計
2	106	457	68	631

【活動実績】

件数

保育所・幼稚園の登園前の預かり及び送り	保育所・幼稚園の迎え及び帰宅後の預かり	学童保育の迎え及び帰宅後の預かり	保護者等の冠婚葬祭による外出、他の子どもの学校行事の場合の援助	子どもの習い事等の場合の援助	保育所・学校等休み時の援助	合計
8	216	22	2	132	31	
保育所等施設入所前の援助	保護者等の短時間・臨時的就労の場合の援助	保護者等の求職活動中の援助	保護者等の外出の場合の援助	保護者等の病気、その他急用の場合の援助	その他	
0	8	1	26	19	267	732

事業の成果

急な用事等により一時的に子どもを預かって欲しいけれど頼れる人がいない世帯の子育て支援のために、育児について助け合う相互援助活動を通して、子育て世帯の負担を緩和することが出来ました。

予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳				
			国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
	4,252	3,952	1,417	1,417			1,118

令和元年度主要施策の成果に関する報告書

単位：千円

事業名	地域子育て支援拠点事業			予算科目	会計	一般会計	01
部課	民生部　こども課	課長名	儀間　博嗣		款	民生費	03
連絡先	889－7028				項	児童福祉費	02
目標	ちむぐくるでともにつくる福祉と健康のまち				目	保育所運営事業	02

事業の目的	対象（誰を・何を）	意図（どういう状態にしたいのか）
	地域の子育て家庭	子育て家庭が相互の交流を行う場所を開設し、子育てについての相談、情報の提供・助言、子育てサークルなどへの支援や地域の保育需要に応じた支援を行います。

事業の実施内容

1 地域子育て支援拠点事業補助金

主な経費

宮平保育所（職員人件費、臨時職員賃金、消耗品費等）
8，710千円

認可保育園子育て支援拠点事業補助金
15，445千円

○絵本の読み聞かせや栄養指導、手作りおもちゃ作り、クッキング等、子育て親子のニーズや要望を取り入れて毎月1回行いました。

○広報活動として「たんぽぽ広場だより」を発刊しました。

○子育て及び子育て支援に関する講習等を実施しました。

○公民館子育てサロン、児童館幼児クラブとの親子交流、認可外保育園とのリトミック交流・支援活動の実施・地域の公園での親子交流を実施しました。

子育て支援センター親子利用者状況　　単位：人

保育園名	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
宮平保育所	294	382	511	514	316	373	504	452	493	498	446	50	4,833
津嘉山保育園	373	414	338	486	438	501	619	634	484	505	404	98	5,294
かねぐすく保育園	168	203	205	255	225	227	272	258	247	278	224	50	2,612
合計	835	999	1,054	1,255	979	1,101	1,395	1,344	1,224	1,281	1,074	198	12,739

事業の成果

実施する保育園に対し、補助金を助成することにより、子育て家庭等に対する育児不安などの相談及び指導、子育てサークル等への支援並びに地域の保育需要に応じ、地域の各保育所間の連携を図りながら子育て家庭への支援を図ることができました。

予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳				
			国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
	24,155	24,155	8,152	8,051			7,952

令和元年度主要施策の成果に関する報告書

単位：千円

事業名	児童手当事業			予算科目	会計	一般会計	01
部　課	民生部　こども課	課長名	儀間　博嗣		款	民生費	03
連絡先	889－7028				項	児童福祉費	02
目標	ちむぐくるでともにつくる福祉と健康のまち				目	児童福祉総務費	01

事業の目的	対象（誰を・何を）	意図（どういう状態にしたいのか）
	15歳到達後最初の3月31日までの間にある児童（中学修了前までの児童）を養育している方に支給されます。	家庭等における生活の安定に寄与するとともに、次代の社会を担う児童の健やかな成長に資することを目的としています。

事業の実施内容

1. 児童手当の種類などについて

児童手当の支給対象は、15歳到達後最初の3月31日までの間にある児童(中学校修了前の児童)を養育している方で、手当を受給するには、一定の所得制限があります。支給額は月額で3歳未満の児童は一律15，000円、3歳以上小学校修了前の児童は10，000円（※第3子以降は15，000円）、中学生は一律10，000円となっています。また、所得制限限度額以上の場合は特例給付として月額一律5，000円を支給しています。なお、「被用者」とはサラリーマンなど厚生年金に加入している方のことで、「非被用者」とは自営業者など国民年金に加入している方のことです。

※「第3子以降」とは、高校卒業まで（18歳到達後最初の3月31日まで）の養育している児童のうち、3番目以降をいいます。

2. 児童手当の支給状況　　決算額　946，055 千円

区分			手当月額(円)	基礎となる延児童数(人)	支給額(円)
児童手当	被用者	0歳～3歳未満	15,000	13,995	745,570,000
		3歳～小学校修了前	10,000	30,425	
			15,000	8,657	
		小学校修了後中学校修了前	10,000	10,154	
			計	63,231	
	非被用者	0歳～3歳未満	15,000	2,874	190,260,000
		3歳～小学校修了前	10,000	7,568	
			15,000	2,590	
		小学校修了後中学校修了前	10,000	3,262	
			計	16,294	
特　例　給　付		被用者	5,000	1,903	10,225,000
		非被用者	5,000	142	
			計	2,045	
				合　計	946,055,000

◆需用費　32千円
◆役務費　844千円

事業の成果

子育てや生活支援のために手当を給付することにより、家庭の経済的な安定につながりました。

予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳				
			国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
	947,342	946,931	663,162	141,112			142,657

令和元年度主要施策の成果に関する報告書

単位：千円

事業名	認定こども園事業・補助			予算科目	会計	一般会計	01
部課	民生部　こども課	課長名	儀間　博嗣		款	民生費	03
連絡先	889－7028				項	児童福祉費	02
目標	ちむぐくるでともにつくる福祉と健康のまち				目	保育所運営事業	02

事業の目的	対象（誰を・何を）	意図（どういう状態にしたいのか）
	認定こども園（施設、在園児、保護者）	小学校就学前の児童を受け入れ、幼児教育・保育を一体的に行っていきます。

事業の実施内容

1．入所児童数
（令和2年3月1日現在）

※町内在住者のみ

施設名		満3歳児	3歳児	4歳児	5歳児	合計
開邦幼稚園	1号認定	0	11	8	6	25
	2号認定	0	13	10	16	39
町認可　計		0	11	8	6	64
へいわだい認定こども園		0	1	0	0	1
しゅりの泉こども園		0	0	1	0	1
光の子幼稚園		0	0	0	1	1
善隣幼稚園		0	2	0	1	3
相愛幼稚園		0	1	1	1	3
米須こども園		0	1	0	1	2
あおぞらこども園		0	1	0	0	1
童夢認定こども園（2号認定）		0	0	2	2	4
町外認可　計		0	6	4	6	16
合計		0	17	12	12	80

2．運営費支弁額
（令和元年度実績）　単位：円

施設名	運営費	備考
開邦幼稚園	42,540,814	
町内認定こども園運営費（小計）	42,540,814	
へいわだい認定こども園	1,255,770	
しゅりの泉こども園	2,691,300	
光の子幼稚園	788,260	
善隣幼稚園	1,604,328	
相愛幼稚園	1,865,328	
米須こども園	3,014,720	
あおぞらこども園	1,449,290	9月～3月
童夢認定こども園	1,062,150	
町外認定こども園運営費（小計）	13,731,146	
合計	56,271,960	

○認定こども園とは教育・保育を一体的に行う施設で、幼稚園と保育所の両方の良さを併せ持っている施設で令和元年度より町認可施設として1園が運営を行っております。

事業の成果

認定こども園においては幼児教育・保育を一体的に取り組むことができ、また、保育の必要理由が欠ける子ども、欠けない子どもも受け入れることにより、集団活動や異年齢交流も確保できました。

予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳				
			国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
	57,395	56,272	22,304	15,082			18,886

令和元年度主要施策の成果に関する報告書

単位：千円

事業名	正規雇用化促進事業			予算科目	会計	一般会計	01
部課	民生部　こども課	課長名	儀間　博嗣		款	民生費	03
連絡先	889－7028				項	児童福祉費	02
目標	ちむぐくるでともにつくる福祉と健康のまち				目	保育所運営事業	02

事業の目的	対象（誰を・何を）	意図（どういう状態にしたいのか）
	町内の法人保育園及び地域型保育施設並び認可外保育施設	保育士が働きやすい職場の環境整備を行い、就業継続及び離職防止を図ります。

事業の実施内容

正規雇用化促進事業

【主な経費】

保育士正規雇用化促進事業補助金　　1，404千円

【事業の内容】

特定教育・保育施設において、非正規雇用から正規雇用に保育士を転換した場合（42千円×正規雇用月）又は新規採用する保育士を正規雇用した場合（25千円×正規雇用月）に特定教育・保育施設に対して、補助を行いました。

実施園：津嘉山保育園（転換1名）、開邦幼稚園（認定こども園）（新規3名）

コトラさんとハイチーズ！

踊り　上手でしょう～！

事業の成果

保育士正規雇用促進事業は、保育士の正規雇用化を図る事業者を支援することにより、保育士の新規確保及び離職防止を図り、待機児童解消に必要な保育士を確保することが出来ました。

予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳				
			国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
	1,404	1,404		1,404			0

令 和 元 年 度 主 要 施 策 の 成 果 に 関 す る 報 告 書

単位：千円

事業名	包括的支援事業			予算科目	会計	一般会計	01
部 課	民生部 保健福祉課	課長名	大城 美恵子		款	民生費	03
連絡先	889-3534				項	社会福祉費	01
目 標	ちむぐくるでともにつくる福祉と健康のまち				目	老人福祉費	02

事業の目的	対象（誰を・何を）	意図（どういう状態にしたいのか）
	町内在住の高齢者と家族	地域包括支援センターに、社会福祉士・主任ｹｱﾏﾈｰｼﾞｬｰ・保健師等の専門職を配置し、高齢者の心身の健康の保持及び生活の安定のために包括的な支援をします。

事業の実施内容

地域包括支援センターは介護・保健・福祉の専門職がチームとなって、高齢者及び家族からの相談や、高齢者の見守り、心身の状態に合わせた支援などを行う高齢者の総合的な相談支援の拠点です。

1） 介護予防支援業務
① 令和元年度予防給付対象者（要支援1・2） →257人
② ①の方への予防給付ケアマネジメント実施者 →218人

2） 総合相談支援業務
相談・支援件数 3,222

	内容	相談・支援件数（電話・来所・訪問）
1	介護、他生活に関すること	1,394
2	介護保険に関すること	266
3	福祉制度・サービスに関すること	279
	計	1,939

3） 包括的・継続的ケマネジメント支援業
① 地域ケア会議→地域の高齢者に関する情報共有、町の認知症に関する課題をカテゴリー別に分けて整理したり、食の自立支援サービス事業についてモニタリングを実施、自立に結びつくサービスの在り方等を検討しました。また、ケアマネジメント支援ケア会議を行い、ケアプランに対して理学療法士等多職種で自立支援に繋がる助言を行いました。（検討したプラン件数：32件）

② 地域のケアマネージャーに対する支援
・南風原町介護支援専門員連絡協議会の開催（定例会4回、役員会4回）
・支援困難な方への助言、関係機関調整

4） 権利擁護業務

内容	相談・支援件数	相談対応件数	新規相談件数
高齢者虐待に関すること	746	13	7

成年後見制度に関すること 町長申立：1件 報酬助成：2件

主な経費 ：人件費（社会福祉士等）14，135千円
委託料 11，471千円
使用料 2，028千円
その他 2，438千円

事業の成果

高齢者の様々な相談に関して、各関係機関と連絡調整し包括的に支援を実施しました。

予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳				
			国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
	30,464	30,072				30,072	0

令和元年度主要施策の成果に関する報告書

単位：千円

事業名	生活支援体制整備事業			予算科目	会計	一般会計	01
部　課	民生部　保健福祉課	課長名	大城　美恵子		款	民生費	03
連絡先	889－3534				項	社会福祉費	01
目　標	ちむぐくるでともにつくる福祉と健康のまち				目	老人福祉費	02

事業の目的	対象（誰を・何を）	意図（どういう状態にしたいのか）
	町内在住の高齢者及び地域住民、民間企業、社会福祉法人等	生活支援・介護予防サービスの充実に向けて、地域住民、ボランティア、民間企業、社会福祉法人等、多様な主体が関わり、地域における支え合いの体制作りを推進します。生活支援の担い手の養成や地域資源の開発、ネットワーク化などを行います。

事業の実施内容

1）生活支援コーディネーター業務　（町社会福祉協議会へ委託、2名配置）
主な経費：生活支援コーディネーター委託料　　6，103千円

○活動実績

活動内容		件数
資源開発	資源開発の情報収集	39
	地域への働きかけ	136
	関係機関への働きかけ	44
	生活支援の担い手・サービス開発	26
	計	245
ネットワーク構築	地域のネットワークづくり	145
	サービス提供主体間の連携体制づくり	15
	計	160
ニーズと取組みのマッチング	個別ニーズとサービスのマッチング	7
	社会資源の情報提供	22
	地域の支援ニーズとサービス提供主体の活動のマッチング	2
	計	31
その他	協議体に関すること	17
	ニーズ把握	169
	その他	58
	計	244
合計		680

○ボランティア入門講座の開催（生活支援サポーター養成講座）
講座回数：5回（R1.7月～R2.1月）
場所：ちむぐくる館
内容：町内ボランティア活動・幼児への関わり方・接し方・障がい者理解・認知症の理解等

○男の料理教室の開催（神里）
神里地区は男性の一人暮らしが多いことから料理教室を通して、つながりを作っていく（男性の居場所づくり）ため開催しました。「また開催してほしい」など今後への前向きな感想が得られ、第2回を独自で開催するなど、健康意識も広がりつつありました。

○支え合いサポーター養成講座
「こんなボランティアもあるんだ。体験できてよかった」との声も多くありボランティア繋げ先を色々紹介ことができました。体験活動をプログラムにいれ、ボランティア活動を通して社会との関わりを実感することで受講者の主体的な参加を促したいと思います。

2）生活支援体制整備事業　協議体
　保健福祉課や社会福祉協議会、民生委員・福祉協力員、社会福祉法人、民間業者等多様な生活支援・介護予防サービスの提供主体と定期的な情報共有及び連携を図り、新たなサービスの創出等を行っていくネットワークの場を設置しました。

事業の成果

　生活支援コーディネーターが地域を訪問し収集した、地域の居場所となる活動や、民間事業所が提供する生活支援サービスの情報をまとめた「社会資源マップ」を作成することができました。また協議体を通じて、多様な事業主体とのネットワークの構築を図り、自治会や民生委員・児童委員を含めた地域の方々と共に、地域における支え合いの重要性について意見交換を行うことができました。

予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳				
			国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
	6,147	6,103				6,103	0

令和元年度主要施策の成果に関する報告書

単位：千円

事業名	家族介護支援事業			予算科目	会計	一般会計	01
部課	民生部　保健福祉課	課長名	大城　美恵子		款	民生費	03
連絡先	889-4416				項	社会福祉費	01
目標	ちむぐくるでともにつくる福祉と健康のまち				目	老人福祉費	02

事業の目的	対象（誰を・何を）	意図（どういう状態にしたいのか）
	高齢者等を自宅で介護している家族	家族が介護技術や保健福祉制度、介護者自身の健康づくりについて学び、精神的・身体的負担の軽減を図ります。また、家族同士の交流や情報交換及びレクリエーション等を通して、介護疲れを癒し、心身のリフレッシュを図ります。

事業の実施内容

1）家族介護者等支援事業　　決算額　：　379千円

	参加者
① ピクニック「今帰仁村・名護市」	14人
② 介護教室１「高齢者の為の料理教室（男性専科）」 ～簡単おいしく！楽しく！健康アップ！～	22人
③ 介護教室２「認知症予防の大切さについて」 ～今日からできる体操・運動・交流への取り組み～	32人
④ 介護者交流会（糸満市あだんの会、南風原町にじの会）	13人
⑤ 介護者宿泊研修	14人
⑥ 介護教室３「ずっと口から食べ続けたい」 ～元気に口から食べ続けるために！～	29人
⑦ にじの会新年会	16人
⑧ 介護教室４「超簡単　男メシ！」 ～第1回の開催からどう変化した？～	17人
⑨ 健康づくり教室	17人

2）老人福祉医療助成金支給事業　　決算額　：　6，048千円　　支給人数　：　248人

在宅や入院中の要介護高齢者に対し、健康保険等の保険外負担となっているオムツ代の助成をしました。

3）介護用品支給事業　　決算額　：　491千円　　支給人数　：　10人

在宅で高齢者を介護している家族に対し、介護用品を支給することで、家族の負担を軽減し、要介護者の在宅生活の継続と向上を図りました。

4）南風原町介護者の会（にじの会）補助金　　決算額　：　90千円

介護者間の連携を密にし、協力と助け合いでよりよい介護に繋げ、在宅で安心して介護ができることを目的に結成された「にじの会」へ補助金を交付することにより、家族介護者の介護負担や介護疲れを軽減し、要介護者の在宅生活の継続と福祉の向上に向けて支援しました。

事業の成果

日頃の介護負担や介護疲れを軽減し、心身のリフレッシュを図りました。また介護用品やオムツ代等の経費を一部負担することで経済的負担を軽減し、在宅介護の福祉向上が図れました。

予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳				
			国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
	7,266	7,008				7,008	0

令 和 元 年 度 主 要 施 策 の 成 果 に 関 す る 報 告 書

単位：千円

事業名	在宅医療・介護連携推進事業			予算科目	会計	一般会計	01
部　課	民生部　保健福祉課	課長名	大城　美恵子		款	民生費	03
連絡先	889－3534				項	社会福祉費	01
目　標	ちむぐくるでともにつくる福祉と健康のまち				目	老人福祉費	02

事業の目的	対象（誰を・何を）	意図（どういう状態にしたいのか）
	町内在住の高齢者と家族	高齢者が住み慣れた地域で自分らしい暮らしを継続するため、医療と介護の連携を推進します。

事業の実施内容

医療と介護の両方を必要とする状態の高齢者が、住み慣れた地域で自分らしい暮らしを人生の最後まで続けることができるよう、在宅医療と介護サービスを一体的に提供するため、在宅医療に関わる機関と介護サービス事業者など、関係者間の連携推進を目的とした事業です。
本町は南部地区市町と合同で、南部地区医師会へ事業委託を行っています。

（ア）地域医療・介護の資源把握
・医療・介護の資源マップを冊子とWebサイトに掲載、情報の更新を行いました。

（イ）在宅医療・介護連携の課題の抽出と対応策の検討
・事業担当者連絡会議を6回、南部地区在宅医療支援ネットワーク協議会を2回開催しました。

（ウ）在宅医療と在宅介護の提携体制の構築推進
・救急病院、消防署、介護関連施設との多職種研修をとおし、連携推進を図りました。

（エ）医療・介護関係者の情報共有の支援
・「救急連絡シート」作成、各消防署管轄にて利用促進のための研修を開催しました。
在宅医療体制推進に係る意見交換会を開催しました。

（オ）在宅医療・介護連携に関する相談支援
・在宅医療介護連携に関する相談窓口を南部地区医師会に設置しました。

（カ）医療・介護関係者の研修
・地域の救急現場を通じて医療と介護の他職種連携を検討する研修会を開催しました。
・在宅支援に係る法的問題を考える他職種研修会を開催しました。

（キ）地域住民への普及啓発
・各市町で住民向けの研修を開催しました。南風原町では認知症に関する研修を開催しました。

（ク）在宅医療・介護連携に関する市町村の連携
・南部地区在宅医療・介護連携推進事業担当者連絡会議を6回開催しました。

主な経費
委託料　1，776千円

事業の成果

上記8事業を南部地区医師会と協働で実施し、医療・介護の連携、入退院連携の推進を図りました。

予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳				
			国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
	1,887	1,776				1,776	0

令和元年度主要施策の成果に関する報告書

単位：千円

事業名	高齢者地域支援体制整備・評価事業			予算科目	会計	一般会計	01
部課	民生部　保健福祉課	課長名	大城　美恵子		款	民生費	03
連絡先	889-4416				項	社会福祉費	01
目標	ちむぐくるでともにつくる福祉と健康のまち				目	老人福祉費	02

事業の目的	対象（誰を・何を）	意図（どういう状態にしたいのか）
	一人暮らし高齢者及び高齢者のみの世帯	介護保険で要介護に該当しない日常生活に支障のある高齢者世帯にホームヘルパーを派遣し、生活援助や定期的に電話をかけることで心のふれあいや健康状態を確認し、高齢者の自立と社会参加を図ります。

事業の実施内容

1）軽度生活援助事業　　委託料　：　591千円

介護保険の認定を受けてない高齢者で、日常生活を営むことに支障がある高齢者に対してホームヘルパーを派遣し、生活援助を行い、健康の保持及び生活の安定に向けて支援を行いました。

実人数　：　10人　　延べ人数　：　298人　　派遣時間　：　384時間

【　軽度生活援助サービス事業実績　】

	利用人数	派遣日数	派遣時間
4月	7	30	39.0
5月	6	25	33.0
6月	8	26	34.0
7月	7	32	41.0
8月	7	28	36.0
9月	5	20	28.0
10月	5	26	35.0
11月	4	23	32.0
12月	5	20	28.0
1月	4	15	21.0
2月	5	24	31.0
3月	5	29	26.0
合計	68	298	384.0

2）ふれあいコールサービス事業　　委託料　：　336千円

一人暮らしの高齢者や高齢者のみの世帯に対し、定期的に電話をかけることで、健康状態や安否の確認及び心のふれあいを図りました。

【　ふれあいコールサービス事業利用者実績（月別）　】

	人数	回数
4月	14	115
5月	14	110
6月	14	119
7月	14	130
8月	14	110
9月	15	116
10月	15	127
11月	14	123
12月	14	123
1月	14	115
2月	13	109
3月	13	120
合計	168	1,417

利用者実人数　：　15人
利用者延べ人数　：　1，417人

次ページへつづく →

事業の実施内容

3)高齢者日常生活用具給付等事業　153千円

高齢者の自立支援や介護予防を促進する事を目的に、日常生活用具の給付を行いました。

用 具 等	利用者数	金　額
歩行支援用具	3人	97千円
入浴補助用具	3人	56千円
腰掛便座	0人	0千円
合　計	6人	153千円

4)外出支援サービス事業　2，649千円

公共交通機関を利用することが困難な高齢者について、リフト付き車輌により医療機関への送迎を行っています。また歩行に不安があるため、高齢者サロンや一般高齢者介護予防通所事業等への参加が困難な高齢者に対しても、送迎を行いました。

【 外出支援サービス事業利用者等実績(月別) 】

	高齢者支援		サロン活動等	
	人数	回数	人数	日数
4月	7	12	102	15
5月	10	16	86	12
6月	6	11	88	13
7月	14	23	91	14
8月	6	9	70	11
9月	8	13	80	14
10月	12	20	103	15
11月	8	14	98	13
12月	14	25	91	13
1月	8	14	87	12
2月	10	17	39	8
3月	9	14	1	1
合計	112	188	936	141

※実績表(月別)の高齢者支援の項目は高齢者の居宅と医療機関等との間の送迎。サロン活動等は高齢者の居宅と介護予防事業等を提供する場所との間の送迎。

5)福祉電話設置費　8千円　　件数:1件

事業の成果

高齢者が安心した生活が送れるように、在宅生活を支えるサービスを提供し、自立した生活の支援および社会参加を図りました。

予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳				
			国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
	4,244	3,737					3,737

令和元年度主要施策の成果に関する報告書

単位：千円

事業名	重度心身障害者医療費助成事業			予算科目	会計	一般会計	01
部　課	民生部　保健福祉課	課長名	大城　美恵子		款	民生費	03
連絡先	889－4416				項	社会福祉費	01
目　標	ちむぐくるでともにつくる福祉と健康のまち				目	心身障害者福祉費	03

事業の目的	対象（誰を・何を）	意図（どういう状態にしたいのか）
	心身に重度の障害のある障がい者（児）に対し、医療費の一部を助成します。（入院時の食事療養費については2分の1助成）	医療費の一部を助成することによって保健の向上に寄与し、もって重度心身障がい者（児）の福祉の増進を図ることを目的とします。

事業の実施内容

1 印刷製本費　20千円
2 委託料　351千円
3 扶助費　61，629千円

重度心身障がい者（児）医療費助成受給資格者に対し、保険適用診療分の医療費（入院時の食事療養費については2分の1）の自己負担額を助成しました。（所得制限があります）

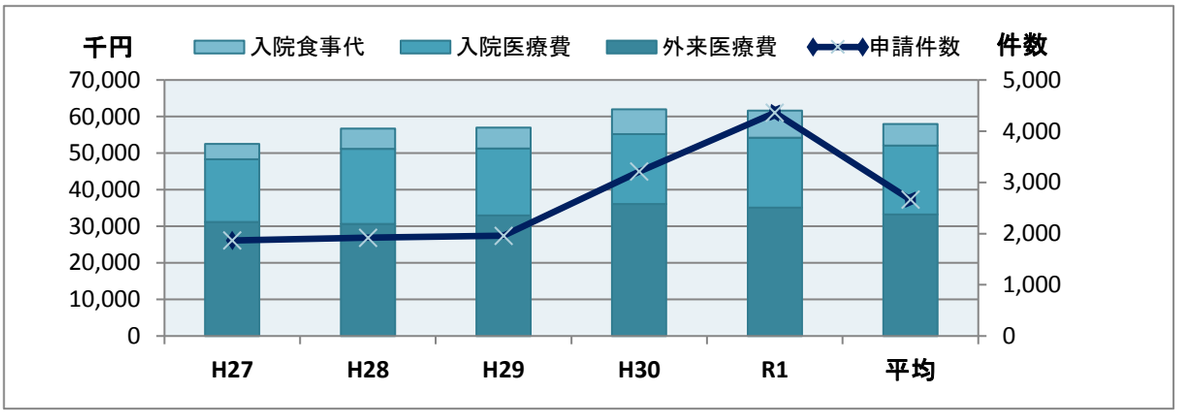
＜受給対象者（障害程度）＞

- 身体障害者手帳1級または2級
- 療育手帳A1またはA2
- 身体障害者手帳3級かつ療育手帳B1
- 療育手帳B1かつ障害基礎年金1級受給
- 療育手帳B1かつ特別児童扶養手当1級受給

◆ 医療費助成の内訳

対象者数・・・691名　申請件数（延べ）・・・ 4，373件（月平均364件）
助成額（総額）・・・ 61，629，631円　うち外来医療費・・・ 35，073，081円
うち入院医療費・・・ 19，110，659円
うち入院時食事代・・・ 7，445，891円

◆ 医療費助成額の推移



（単位：円）

項目	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	平均
申請件数	1,866	1,918	1,957	3,211	4,373	2,665
外来医療費	31,204,987	30,649,184	32,972,900	36,069,642	35,073,081	33,193,959
入院医療費	17,131,358	20,563,759	18,304,773	19,099,925	19,110,659	18,842,095
入院食事代	4,161,568	5,522,976	5,668,482	6,851,973	7,445,891	5,930,178
合計	52,497,913	56,735,919	56,946,155	62,021,540	61,629,631	57,966,232

事業の成果

重度心身障がい者（児）の医療費負担軽減を図り、健康増進及び福祉の向上を図ることができました。

予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳				
			国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
	63,436	62,000		27,057			34,943

令和元年度主要施策の成果に関する報告書

単位：千円

事業名	自立支援医療費（更生・育成医療）事業			予算科目	会計	一般会計	01
部課	民生部　保健福祉課	課長名	大城 美恵子		款	民生費	03
連絡先	889－4416				項	社会福祉費	01
目標	ちむぐくるでともにつくる福祉と健康のまち				目	心身障害者福祉費	03

事業の目的	対象（誰を・何を）	意図（どういう状態にしたいのか）
	【更生医療】18歳以上の身体障害者手帳を有する者 【育成医療】18歳未満の特定の障害を有する児童または、現存する疾患を放置すると将来においてこれらの障害を残すと認められる児童	身体の障害またはその原因となる疾患を除去・軽減する手術等の治療によって確実に効果が期待できる医療に対して、自己負担額を軽減することにより適切な医療受診及び自立支援を図ります。

事業の実施内容

◎更生医療とは

更生医療は疾病、事故、災害等による身体的損傷が、一般医療によってすでに治癒（欠損治癒や変形治癒等の不完全治癒）した身体障がい者に対し、日常生活能力、社会生活能力または職業能力を回復または向上、もしくは獲得（更生）させることを目的として行うものです。

・更生医療給付費　41,495 千円　　・更生医療審査事務委託料 64千円

更生医療費給付実績　　単位：円

	給付件数	医療費総額	保険負担	公費負担	自己負担
心　臓	21	31,737,820	30,759,708	878,961	99,151
じん臓	243	360,201,958	319,310,592	37,539,960	3,351,406
肢体不自由	0	0	0	0	0
その他	20	20,562,630	17,154,137	3,076,022	332,471
合　計	284	412,502,408	367,224,437	41,494,943	3,783,028

・償還金　3,896 千円

◎育成医療とは

育成医療とは身体上の障害を有する児童又は現存する疾患を放置した場合、将来において障害を残すと認められる児童に対し、健全な育成を図ることや生活の能力を得るために必要な医療のことです。

・育成医療給付費　1,721 千円　　・育成医療審査・判定事務委託料　109千円

育成医療費給付実績　　単位：円

	給付件数	医療費総額	保険負担	自己負担	公費負担
心臓	1	0	0	0	0
じん臓	0	0	0	0	0
肢体不自由	9	12,201,290	11,771,802	34,489	394,999
音声・言語等	10	963,870	688,026	77,467	198,377
聴覚・平衡機能	2	0	0	0	0
その他	41	8,975,480	7,732,592	115,409	1,127,479
合　計	63	22,140,640	20,192,420	227,365	1,720,855

※自立支援医療（更生・育成）の対象施術

・心臓手術（冠動脈バイパス術、ペースメーカー埋込術、ｽﾃﾝﾄ留置術など）

・人工透析・腎臓移植手術など　　・唇顎口蓋裂にかかる手術や歯科矯正

◎療養介護とは

医療を必要とするとともに、常時介護を必要とすると認められた障がい者（児）に対して、病院や施設等で機能訓練、療養上の管理、看護を行う医療費のことです。

・療養介護医療費　7,758 千円　　・療養介護医療審査事務委託料　4千円

事業の成果

更生医療・育成医療、それぞれにおいての必要な医療を、各医療機関及び県判定機関との連携を図りながら実施することで自立支援を行うことができました。

予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳				
			国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
	67,171	55,047	31,619	16,236			7,192

令和元年度主要施策の成果に関する報告書

単位：千円

事業名	市町村地域生活支援事業			予算科目	会計	一般会計	01
部課	民生部　保健福祉課	課長名	大城 美恵子		款	民生費	03
連絡先	889－4416				項	社会福祉費	01
目標	ちむぐくるでともにつくる福祉と健康のまち				目	心身障害者福祉費	03

事業の目的	対象（誰を・何を）	意図（どういう状態にしたいのか）
	地域で生活する障がい者及び障がい児を対象としています。	障がい者（児）が自立した日常・社会生活を営むことができるよう、南風原町の特性や障がい者（児）のニーズに応じた事業を実施していきます。

事業の実施内容

1．相談支援事業

・障がい者相談支援　9,308千円

地域の障がい者（児）の福祉に関するいろいろな問題について、障がい者本人や家族（養護者等）からの相談に応じ、必要な情報の提供及び助言等を行う為の支援相談員を配置しました。町社協へ委託して事業を実施しました。（R1延べ相談件数：3,901件）

・基幹相談支援センター　2,409千円

相談支援体制の強化・困難事例や相談支援専門員への助言・相談支援員の人材育成・地域移行及び定着支援事業の促進・関係機関ネットワークの構築・権利擁護及び虐待防止体制の支援・自立支援協議会運営体制の強化を担います。

それらを踏まえ、現在、町社協に委託している障害者相談支援員（CSW）、包括支援センター、児童福祉等相談員（こども課）及び各機関と連携し、核となる総合的な相談支援に取り組みました。

2．コミュニケーション支援事業

・設置手話通訳者報酬　2,125 千円
・手話・要約筆記奉仕員派遣謝礼金　489 千円
・手話奉仕員派遣事業委託料　283 千円
・奉仕員傷害保険料　6 千円
・頸肩腕症検診料　14 千円

意思疎通を図ることに支障のある聴覚障がい者の支援を目的に、手話通訳者を設置し庁舎内での手話通訳や、要望に応じて通院、学校行事（三者面談、家庭訪問など）への派遣、団体主催の講演会や職場会議などでの手話通訳及び要約筆記（斡旋含む）のコーディネートを行っており、令和元年度は160件の通訳派遣をしました。

また、時間外や緊急時への手話通訳派遣対応として沖縄県身体障害者福祉協会に委託しました。

・手話奉仕員養成講座　520千円

令和元年度は厚生労働省のカリキュラムに沿った「入門－基礎」の講座を南城市と合同で実施しました。南風原町からの受講生においては、合計11名の方が修了しました。修了生については講座修了者のレベルに応じて、沖縄県身体障害者福祉協会が主催する手話通訳者養成講座の受講を薦めています。

3．発達障がい児支援事業

・発達支援心理士報酬　526千円
・保育士賃金　2,525千円
・発達支援強化謝礼金　282千円
・需用費　76千円
・通信運搬費　42千円
・発達支援通園事業負担金　3千円

親子通園事業施設の「ゆうな園」では、発達が気になる子や障がいがある子が親子で通園し、個別、小集団での保育・療育を体験することで、徐々に集団活動ができるよう支援しました。

4．自立支援協議会

・協議会委員謝礼金　28千円

相談支援事業をはじめとする地域の障がい福祉に関する体制づくりに関し、中核的な役割を果たす「南風原町障がい者自立支援協議会」を設置しています。

次ページへつづく →

事業の実施内容

5. 点字・声の広報等発行事業　436千円

ボランティアの方が、毎月町広報と社協だよりをCD等に録音し、視覚障がい者を対象に配布する事業で、町社協に委託しています。令和元年度の利用者は16人でした。

6. 福祉機器リサイクル事業　121千円

福祉機器の有効利用を図るため、不用になった福祉機器を回収し必要とされる方へ斡旋する事業です。町では社会福祉協議会へ業務を委託しています。令和元年度は、車イス、介護用ベッド、ポータブルトイレ、シャワーチェア、歩行器等において120件の利用がありました。

7. 地域活動支援センター事業　4,500千円

障がい者の居場所づくりや地域活動の支援のために、創作活動や生産活動を行う基礎的事業を「てるしのワークセンター」に委託しています。

8. 社会参加促進事業　200千円

障がい者・障がい児が個々の能力や適性に応じて自立した日常生活を営む事ができるようにスポーツ教室を開催しさまざまな運動を行っています。

9. 日常生活用具給付事業　6,801千円

障がい者(児)の日常生活の便宜をはかるため、日常生活用具の給付をおこなっています。令和元年度は530件の用具給付実績がありました。

主な用具	上下肢・体幹障害	歩行補助杖、入浴補助用具、特殊寝台など
	視覚障害	点字ディスプレイ、盲人用時計、音声体温計、電磁調理器など
	聴覚障害	聴覚障害者用屋内信号装置など
	内部障害	ストマ用装具、電気式たん吸引器、ネブライザーなど
	知的障害	頭部保護帽など

10. 移動支援事業　3,759千円

屋外での移動が困難な障がい者(児)への余暇活動などの社会参加促進のため、外出時の移動の支援を行います。

11. 日中一時支援事業　1,835千円

障がい者(児)が充実した生活をおくれるよう、また日常的に障がい者(児)を介護している家族の一時的な休息(レスパイト)を図るため、障がい者(児)の日中における活動の場を提供する事業です。

12. 地域活動支援事業支払委託料　21千円

13. 障害程度区分認定調査等事業

障がい者の介護の必要度を認定する為の調査及び認定審査会での審査を行いました。□

・区分認定調査員報酬(介護福祉士)　4,320千円
・主治医意見書作成手数料　333千円

14. 成年後見制度利用支援事業費　90千円

15. 償還金　279千円

事業の成果

地域生活支援事業で行う各種事業を通じて、障がい者(児)が自立した日常生活・社会生活が営むことができるよう事業推進に取り組みました。

予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳				
			国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
	43,967	41,331	7,231	3,476			30,624

令和元年度主要施策の成果に関する報告書

単位：千円

事業名	介護給付・訓練等給付事業			予算科目	会計	一般会計	01
部課	民生部　保健福祉課	課長名	大城　美恵子		款	民生費	03
連絡先	889－4416				項	社会福祉費	01
目標	ちむぐくるでともにつくる福祉と健康のまち				目	心身障害者福祉費	03

事業の目的	対象（誰を・何を）	意図（どういう状態にしたいのか）
	○身体に障がいのある方 ○知的障がいのある方 ○精神障がい（発達障害を含む）のある方 ○難病等の方（対象疾患に該当する方） ※すべて児童を含む	障がい児（者）が特性に応じた日常生活等を営むことができるように、個々に即したサービスの支給を行い、福祉の増進を図ります。また、障がいの有無にかかわらず、国民が尊重し合い、安心して暮らせる地域社会の実現に寄与します。

事業の実施内容

1. 自立支援給付費　765,984 千円

内訳

サービスの種類	決算額（円）	延べ件数
居宅介護	35,831,712	914
行動援護	997,880	16
同行援護	23,396,945	257
療養介護	26,465,700	101
生活介護	250,509,383	1,596
短期入所	9,277,886	232
施設入所支援	94,135,501	696
重度訪問介護	2,784,190	42
就労定着支援	2,299,040	92
合計	445,698,237	3,946

サービスの種類	決算額（円）	延べ件数
共同生活援助（GH）	42,518,550	404
自立訓練（機能訓練）	2,477,323	28
自立訓練（生活訓練）	854,680	14
就労移行支援	19,039,620	123
就労継続支援（A型）	38,462,437	304
就労継続支援（B型）	202,912,308	1,857
計画相談支援給付費	12,288,520	928
宿泊型自立訓練	1,591,680	17
地域移行支援	81,180	2
高額障害福祉サービス費	59,907	29
合計	320,286,205	3,706

2. 障害児通所給付費　365,578 千円

内訳

サービスの種類	決算額（円）	延べ件数
児童発達支援	88,584,535	985
放課後等デイサービス	246,855,371	2,526
障害児相談支援給付費	11,717,920	724
高額障害児通所給付費	69,558	34
医療型児童発達支援	1,302,066	23
保育所等訪問支援	15,466,549	373

サービスの種類	決算額（円）	延べ件数
肢体不自由児通所医療費	126,999	22
やむを得ない事由による措置費	1,455,335	26
合計	365,578,333	4,713

3. その他事務委託料　内訳　1,838 千円

自立支援給付費事務委託料	1,083,060	6,014
障害児通所給付費事務委託料	754,897	4,193
合計	1,837,957	10,207

4. 補装具給付費（購入・修理）　7,773 千円

内訳

補装具の種類	購入		修理	
	決算額（円）	延べ件数	決算額（円）	延べ件数
義肢	0	0	381,139	2
装具	934,391	14	18,811	2
座位保持装置	1,018,218	5	273,593	3
盲人安全杖	17,785	3	0	0
眼鏡	0	0	0	0
補聴器	833,762	10	271,046	12
車椅子	2,466,721	7	467,176	11
電動車椅子	630,623	1	270,412	2
歩行器				
歩行補助杖				
重度障害者用意思伝達装置			188,640	1
合計	5,901,500	40	1,870,817	33

5. 償還金（前年度補助差額分）　19,098 千円

事業の成果

町社会福祉協議会、障がい者支援相談員、その他関係機関及び地域等と連携し、障がい者（児）の状況に応じた福祉サービスの支給や補装具給付による支援を行うことで、自立生活の促進を図ることができました。

予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳				
			国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
	1,161,925	1,160,271	589,124	294,562			276,585

令和元年度主要施策の成果に関する報告書

単位：千円

事業名	敬老会事業			予算科目	会計	一般会計	01
部　課	民生部　保健福祉課	課長名	大城　美恵子		款	民生費	03
連絡先	889-4416				項	社会福祉費	01
目　標	ちむぐくるでともにつくる福祉と健康のまち				目	老人福祉費	02

事業の目的	対象（誰を・何を）	意図（どういう状態にしたいのか）
	町内在住の70歳以上の高齢者	敬老会を開催し長寿を祝います。

事業の実施内容

多年にわたり郷土の発展に貢献した町内の70歳以上高齢者を招待して、舞踊・民謡等の余興で長寿を祝いました。

1. 敬老会飲食代等　　902千円

2. 敬老会余興代　　150千円

※令和元年度は573名の参加がありました。

【　敬老会の様子　】

事業の成果

町内の高齢者等の交流の場として、町内全域の高齢者が集うことにより地域間の交流が図られ、共に長寿を祝うことができました。

予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳				
			国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
	1,119	1,052				1,052	0

令和元年度主要施策の成果に関する報告書

単位：千円

事業名	高齢者祝金支給事業			予算科目	会計	一般会計	01
部　課	民生部　保健福祉課	課長名	大城　美恵子		款	民生費	03
連絡先	889-4416				項	社会福祉費	01
目　標	ちむぐくるでともにつくる福祉と健康のまち				目	老人福祉費	02

事業の目的	対象（誰を・何を）	意図（どういう状態にしたいのか）
	トーカチ、カジマヤー、新百歳、百歳以上の高齢者に祝い金等を支給します。	敬老の日の前後に各対象者宅を訪問し長寿を祝います。

事業の実施内容

高齢者の長寿を祝い、多年にわたり社会に貢献した功績に感謝し、祝い金や記念品を支給しました。

○ 高齢者祝い金　　1，680千円（123人）

1，トーカチ（88歳）
87人　　870千円

2，カジマヤー（97歳）
27人　　540千円

3，新百歳
9人　　270千円

○ トーカチ記念品等　　1，117千円

トーカチ祝いの慶祝訪問（町長）

事業の成果

長年にわたり社会に貢献してきた功績に感謝し、祝金や記念品等を支給し、長寿を祝しました。

予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳				
			国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
	2,797	2,797					2,797

４　工夫と連携で
産業が躍動するまち

令和元年度主要施策の成果に関する報告書

単位：千円

事業名	農業委員会運営事業			予算科目	会計	一般会計	01
部課	経済建設部　農業委員会	局長名	金城　克彦		款	農林水産業費	06
連絡先	889－4163				項	農業費	01
目標	工夫と連携で産業が躍動するまち				目	農業委員会費	01

事業の目的	対象（誰を・何を）	意図（どういう状態にしたいのか）
	農業委員、農業者	農地法に基づく許可申請、届出書等の審査及び、農地利用状況の調査等を行い、農地利用の適正化を図ります。又農業者年金事業を通じて農業の担い手を確保し老後の生活の安定及び福祉の向上を資します。

事業の実施内容

	予算額	決算額
・ 農業委員報酬	4,917千円	4,850千円
・ 農地利用最適化推進委員報酬	2,208千円	2,178千円
・ 嘱託職員報酬（臨時職員賃金含む）	2,072千円	1,928千円
・ 旅費	829千円	591千円
・ その他（消耗品費等）	188千円	176千円
・ 委託料	626千円	625千円
・ 負担金、補助及び交付金	81千円	81千円
合　計	10,921千円	10,429千円

○農地法に基づく「許可申請」及び「届出」の状況
・3条申請（11件）　・4条申請（4件）　・5条申請（31件）
・3条届出（10件）　・4条届出（22件）　・5条届出（22件）

▲　農業委員会総会

▲　現場確認・農地パトロール

事業の成果

・農地の耕作放棄地解消取組において研修等を実施し遊休地取組の促進強化と解消の推進を図りました。
・農業者の老後の生活の安定・福祉向上のために農業者年金の加入促進に対する研修や戸別訪問や広報活動を実施しました。

予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳				
			国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
	10,921	10,429		2,746		223	7,460

令和元年度主要施策の成果に関する報告書

単位：千円

事業名	新規就農一貫支援事業			予算科目	会計	一般会計	01
部課	経済建設部　産業振興課	課長名	金城　克彦		款	農林水産費	06
連絡先	889－4163				項	農業費	01
目標	工夫と連携で産業が躍動するまち				目	農業振興費	03

事業の目的	対象（誰を・何を）	意図（どういう状態にしたいのか）
	就農5年以内の認定新規就農者	新規就農者の就農定着を目的に、経営安定に必要な農業機械・施設等の導入費用に対する費用の一部を助成します。

事業の実施内容

○対象条件として年齢が65歳未満、就農5年以内であり、年間の農業従事日数が150日以上の者で、農地を取得又は賃借する見込みがあり、認定新規就農者である者としております。

・新規就農一貫支援事業補助金

予算額　　8,000千円　　決算額　　8,000千円

【令和元年度の補助実績】
　施設1件（マンゴーハウス）　8,000千円

事業の成果

沖縄県新規就農一貫支援事業により、1戸の新規就農者に対し、マンゴー栽培のための角鋼パイプハウス1戸（1,080㎡）の施設導入を行いました。

予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳				
			国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
	8,000	8,000		8,000			0

令和元年度主要施策の成果に関する報告書

単位：千円

事業名	地力増強対策事業			予算科目	会計	一般会計	01
部課	経済建設部　産業振興課	課長名	金城　克彦		款	農林水産業費	06
連絡先	889－4163				項	農業費	01
目標	工夫と連携で産業が躍動するまち				目	農業振興費	03

事業の目的	対象（誰を・何を）	意図（どういう状態にしたいのか）
	農家	土づくり用堆肥の購入費補助をすることで農家の負担を軽減するとともに、土地に栄養を与え、作物を育てる力を強くします。

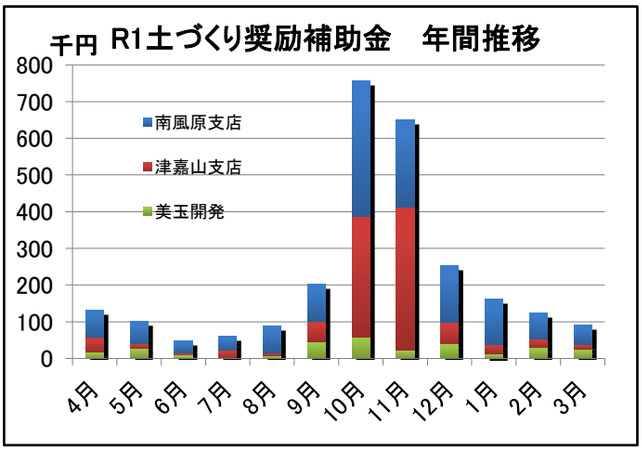
事業の実施内容

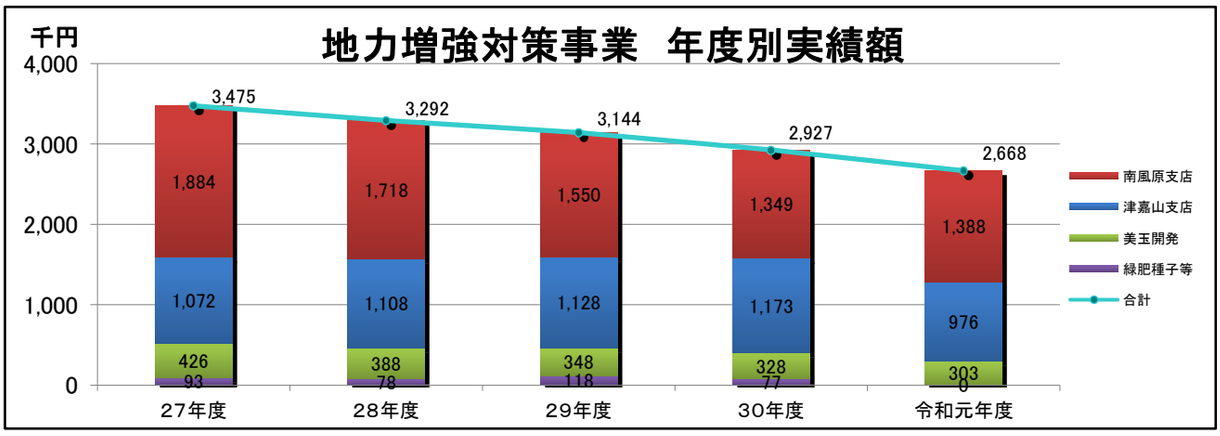
○地力増強対策事業　　予算額　2，962千円　　決算額　2，668千円

補助基準
・堆肥購入一袋（15kg）に対し50円の補助

☆土づくり奨励補助金
　　決算額　　2，668千円

（内訳）
　　53，363袋×50円＝2，668，150円





事業の成果

農作物を作る上で土づくりは大変重要なものであり、堆肥の購入補助は農家の負担を軽減し、圃場の地力増強も図られ、秀品率の向上につなげることができました。

予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳				
			国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
	2,962	2,668					2,668

令和元年度主要施策の成果に関する報告書

単位:千円

事業名	多面的支払交付金			予算科目	会計	一般会計	01
部課	経済建設部　まちづくり振興課	課長名	仲里　明		款	農林水産業費	06
連絡先	889－4412				項	農業費	01
目標	工夫と連携で産業が躍動するまち				目	農地費	05

事業の目的	対象(誰を・何を)	意図(どういう状態にしたいのか)
	宮城地域資源保全の会 山川地域資源保全の会 神里地域資源保全の会	地域共同で行う農地等の維持管理に補助を行い地域活性化を図る。(多面的機能を支える農業者や地域住民、団体等で活動する組織への補助金)

事業の実施内容

・多面的支払交付金(事業期間:平成29年度～令和3年度)補助事業
総事業費：6,847千円

◆令和元年度　予算額:1,269千円　決算額:1,268千円)

需用費	100千円	100千円	宮城:386千円
使用料及び賃借料	85千円	85千円	山川:376千円
負担金、補助金及び交付金	1,084千円	1,083千円	神里:321千円

草刈り作業(山川地区)

水路清掃(神里地区)

事業の成果

水路や農道の補修及び草刈り、清掃等を行い、農地等の維持管理が出来ました。

予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳				
			国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
	1,269	1,268		912			356

令和元年度主要施策の成果に関する報告書

単位：千円

事業名	住宅リフォーム支援事業			予算科目	会計	一般会計	01
部課	経済建設部　まちづくり振興課	課長名	仲里　明		款	商工費	07
連絡先	889－4412				項	商工費	01
目標	工夫と連携で産業が躍動するまち				目	商工振興費	01

事業の目的	対象（誰を・何を）	意図（どういう状態にしたいのか）
	住宅リフォームを行う町民（自己所有住宅を町内の施工業者を利用してリフォームした場合）	町民の住宅の質の向上を図るため、住宅リフォーム（対象：省エネ、耐久性向上、バリアフリー改修工事）を行う町民の負担軽減を図ります。

事業の実施内容

住宅リフォーム支援事業補助金　【 予算額　1，173千円　　決算額　1，169千円 】

・工事費補助金予算額　　1，169千円　　決算額　　1，169千円

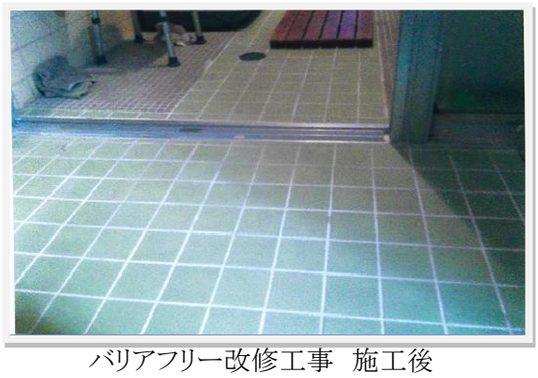
（主な内訳）

工　種	件数	金額（千円）
省エネ改修工事　（屋根・天井・壁等断熱工事）	5	731
住宅の耐久性改修工事　（柱・はり等主要構造部の剥離したコンクリートの除去及び改修等）	0	0
バリアフリー改修工事　（通路側の拡幅・段差の解消等）	3	438
合　計	8	1,169

・通信運搬費　予算額　　4千円　　決算額　　0千円

【リフォーム例】

バリアフリー改修工事　施工前



バリアフリー改修工事　施工後

省エネ改修工事　施工前

省エネ工事　施工後

事業の成果

住宅リフォームを行う町民に補助金を交付することにより、工事費の経済的負担を軽減し、町民の住宅の質の向上に繋がりました。

予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳				
			国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
	1,173	1,169	526	321			322

令和元年度主要施策の成果に関する報告書

単位：千円

事業名	商工会の育成強化			予算科目	会計	一般会計	01
部　課	経済建設部　産業振興課	課長名	金城　克彦		款	商工費	07
連絡先	889－4430				項	商工費	01
目　標	工夫と連携で産業が躍動するまち				目	商工振興費	01

事業の目的	対象（誰を・何を）	意図（どういう状態にしたいのか）
	南風原町商工会	地域商工業、中小企業・小規模企業の経済活動を促進し、商工業の健全な発展を図り、それにより地域産業振興と安定、地域経済の発展に資することを目的とします。

事業の実施内容

○地域人づくり事業
　失業者の雇用の場を確保し、生活の安定を図るとともに、委託先企業の成長等により、地域の安定的な雇用の受け皿を創出します。

・南風原町商工会補助金　予算額　6,804　千円　　決算額　6,804　千円

事業実績
◆経営改善普及事業
①指導員による経営指導件数
　巡回指導　618 件　　窓口指導　891 件　　創業指導　11 件

②講習会等の開催
　集団　：経営　5 回　　情報化　0 回　　金融　0 回　　税務　2 回
　個別　：経営　0 回　　情報化　4 回　　金融　0 回　　税務　22 回

③金融融資斡旋

融資種類	斡旋件数	貸付件数	斡旋総額（千円）	貸付総額（千円）
沖縄振興開発金融公庫	22	22	22,680	22,680
県融資制度	3	3	19,500	16,500

④事務の代行

社会保障等	委託事業所数	従業員数
	64	230

⑤記帳継続指導

配分人数	員数	雇用延日数	指導延日数	対象事業者数	うち機械化数
	1	227	183	187	14

※うち機械化数はネットde記帳利用者数

⑥各種共済加入者数

各種共済加入者数	小規模企業共済	中小企業セーフティ共催	中小企業退職金共済	商工貯蓄共済	商工会福祉共済
	100	47	139	145	37

⑦講習会・講演会・相談会の実施
　開催回数　11 回　　参加人数　227 人（延べ）

⑧その他
　◆地域総合振興事業　　要請活動、交流会等

事業の成果

南風原町商工会に対し補助金の交付を行い、指導・協力体制の強化を図ると共に、町内企業の育成、経営安定と振興、起業支援、労働者管理改善等を図った結果、地域経済の発展に貢献することができました。

予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳				
			国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
	6,804	6,804					6,804

令和元年度主要施策の成果に関する報告書

単位：千円

事業名	商品開発・技術力強化事業			予算科目	会計	一般会計	01
部　課	経済建設部　産業振興課	課長名	金城　克彦		款	商工費	07
連絡先	889－4430				項	商工費	01
目　標	工夫と連携で産業が躍動するまち				目	商工振興費	01

事業の目的	対象（誰を・何を）	意図（どういう状態にしたいのか）
	南風原町商工会	地域資源の活用や異業種連携による商品開発、ブランド化を図り、販路開拓を行います。

事業の実施内容

■事業概要
「南風原町の地域ブランド」及び「特産品の認証制度」について話し合い協議を行う組織を形成し、それを元に推薦される特産品やご当地グルメをPRすることで、地域の魅力を広く認知させます。また、地域資源の活用や異業種間連携等による商品開発および企業との連携によって消費者のニーズを踏まえたデザイン性・機能性に優れた南風原らしい特産品や、多くの人々に愛されるご当地グルメの開発を行い、産業展開することを目的としています。

■町独自の商品開発・技術力強化事業の実施状況
本年度は食品部門、モノづくり部門それぞれで町内事業者を対象に講習会を開催し、商品開発を行う際の考え方や、流通の仕組み、マーケティング等に関する知識習得を図りました。その結果、地域ブランド認定商品選定委員会において優れた特産品の証である「はえばる良品」として、4品の認定が行われました。

・南風原町地域連携強化事業として、異業種交流を主題として商品開発事業を行いました。
・南風原町地域ブランド認証事業にて「はえばる良品」4品を認定。
・販路拡大、マーケティング事業として県内外4回の出展を実施。
・はえばる良品ホームページの運用。

○南風原町地域ブランド推進委員会
委員6名
第1回会議　　これまでの取り組みについて、南風原町ブランド「はえばる良品」の推進、運営について　等
第2回会議　　良品認定要項について、販路開拓に向けての各認定商品の評価　等
第3回会議　　「はえばる良品」認定商品の表彰について　等
第4回会議　　事業報告について　等

○商品開発ワークショップ
今年度より食品分野、非食品分野という分類分けを行わず、個別相談を多く行い、認定商品を中心に課題やその対策を検討しました。内容の一部については販路開拓セミナーで招聘した県外のバイヤー（又はその経験者）より助言を得ました。全6回開催。

○販路開拓セミナー
県外の百貨店やスーパーのバイヤー等、専門家を招聘し、バイヤーからの目線で百貨店向け、スーパー向けに取り扱ってもらう（販路が開拓できる）商品づくりへの講義を行いました。

○出展実績　　県内外のイベント等に出展。しかし名古屋のイベントは新型コロナウイルスの影響で中止となりました。

5/23	商工会総会時	参加商品：5
10/25	県商工会特産品フェア「ありんくりん市」	参加商品：3
11/4	パシフィック祭り	参加商品：8
2/8	ルンルンはえばるフェスタ	参加商品：3
2/28	ハッピーママフェスタ（名古屋）	参加商品：－（新型コロナウイルスの影響で中止）

次ページへつづく →

事業の実施内容	令和元年度「はえばる良品」新規認定商品 EMたまごチーズケーキ （美ら卵養鶏場） 30%　5年古酒 「南風原」 30%　　「南風原」 （瑞泉酒造） ラベンダーバームミニ ティーツリーバームミニ （沖縄子育て良品） モリンガ茶 （モリンガファームさんご園芸）
事業の成果	本年度は町内事業者を対象に講習会（商品開発ワークショップ）を開催し、商品開発を行う際の考え方や、流通の仕組み、品質管理等に関する知識習得を図りました。また地域ブランド認定商品選定委員会において、4品を優れた特産品の証である「はえばる良品」として認定を行いました。 また、販路開拓においては、美ら卵養鶏場、沖縄子育て良品の両者が商品のブラッシュアップによりイオン琉球の店舗にて常設販売ができるようになりました。 地域資源の活用や異業種連携を図ったことで、参画事業所の商品開発への意識啓発にも繋がり、今後の特産品を通した本町の発展に寄与しました。

予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳				
			国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
	15,000	14,531		11,624			2,907

令和元年度主要施策の成果に関する報告書

単位：千円

事業名	観光事業			予算科目	会計	一般	01
部課	経済建設部　産業振興課	課長名	金城　克彦		款	商工費	07
連絡先	889－4430				項	商工費	01
目標	工夫と連携で産業が躍動するまち				目	観光費	02

事業の目的	対象（誰を・何を）	意図（どういう状態にしたいのか）
	町民・観光客	観光振興を効率的に進めるために、観光協会を機能を強化していきます。さらには市町村の枠組みを越えた広域観光を志向していきます。

事業の実施内容

○観光振興に必要な通信費や消耗品　　予算額　8　千円　　決算額　8　千円

・主な用途

はえるん着ぐるみの管理用品、イベント等の消耗品等

○シマじまガイド事業　　予算額 10,521 千円　　決算額 8,096 千円

着地型観光メニューとして「シマじまガイド（町内名所巡り）」を実施、本町の観光まちづくりを推進しする観光協会に委託しています。

「シマじまガイド」では、訪問客に地元の魅力をあますところなく伝えようと、まち歩きコースを策定し、参加しやすさ、定時出発をキーワードに南風原町内に広く展開していきます。

○陸軍病院壕公開活用事業　　予算額 4,997 千円　　決算額 4,542 千円

県内外から訪れる多くの人々に平和、命について考えてもらう施設として公開活用の取り組みを行い、観光協会に壕のガイドの委託を行っています。

○南風原町観光協会補助金　　予算額 12,392 千円　　決算額 12,392 千円

本町の観光まちづくりや観光振興を推進するため、一般社団法人南風原町観光協会が実施する事業に要する経費を補助金として交付、観光施設の運営や観光宣伝、カンナの花をはじめとする花いっぱい運動、夏まつりキッズパーク、綱曳ツアーなど多彩な活動を行っています。

町観光協会は、自然や歴史、文化遺産を資源とし、それらを活用したさまざまな事業を通じて、自らが住むまちへの関心や認識を深めて郷土愛を育み、地域の活性化に寄与することを目的に観光情報の発信などの事業を展開しています。

○観光関連負担金・補助金

・沖縄観光コンベンションビューロー等負担金　予算額　216　千円　　決算額　150　千円

■シマじまガイド事業（藍染め体験）

■綱曳きツアー（津嘉山地域振興資料館）

事業の成果

地域の観光資源の開発や活用を町民参加で行うことにより、本町に対する誇りや愛着を増すことができます。まつりやイベントを通して、地域住民におもてなしの心を育み、コミュニティの結びつきが強まります。観光誘客により、本町の知名度が向上するとともに、地域の活性化に繋がりました。

予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳				
			国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
	28,134	25,188		9,970			15,218

令和元年度主要施策の成果に関する報告書

単位：千円

事業名	南風原町観光PR促進事業			予算科目	会計	一般	01
部　課	経済建設部　産業振興課	課長名	金城　克彦		款	商工費	07
連絡先	889－4430				項	商工費	01
目　標	工夫と連携で産業が躍動するまち				目	観光費	02

事業の目的	対象（誰を・何を）	意図（どういう状態にしたいのか）
	町民・観光客	南風原町のイメージキャラクターを観光PRツールとして有効活用し、各種イベントや、マスメディアへの出演のほか町内外においてPR活動をしていきます。

事業の実施内容

【観光PR促進事業】
○南風原町イメージキャラクター「はえるん」の活用
予算額　3,360　千円　　決算額　3,360　千円

南風原町のキャラクター「はえるん」を各種イベントやメディアへのPRをはじめ、観光施設や町民交流スポットなど、町内各所におけるPR活動により観光誘客を促進すると共に、「はえるん」関連グッズの活用促進と、PRキャラクターによる地域活性化を図ります。

（1）イベント等への活用
・キャラクターをデザインした着ぐるみを町内外のイベントに参加させ、南風原町のPRを行います。
・キャラクター（着ぐるみ）に入る人件費

■児童館まつり

■はえばるフェスタ（イオン南風原）

■かぼちゃフェア（くがに市場）

■納涼夏まつり（兼本ハイツ）

事業の成果

各種イベントやマスメディアへの出演など、町内外におけるPR活動により観光誘客を促進しました。地域活性化を図るためには、町民と行政が一体となって観光まちづくりに取り組んでいく必要があります。親しみやすいイメージキャラクターを活用することでPR効果があがり、より多くの町民の参加や観光誘客ができました。

予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳				
			国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
	3,360	3,360		2,688			672

令和元年度主要施策の成果に関する報告書

単位：千円

事業名	黄金森公園スポーツ施設活性化事業			予算科目	会計	一般会計	01
部　課	教育部　教育総務課	課長名	比嘉　純子		款	教育費	10
連絡先	889－2620				項	保健体育費	06
目　標	工夫と連携で産業が躍動するまち				目	保健体育総務費	01

事業の目的	対象（誰を・何を）	意図（どういう状態にしたいのか）
	町民・町外・社会体育団体	良好なスポーツ・トレーニング環境の提供により、環境と結びつけたスポーツコンベンションの誘致、開催を図るため芝生整備を実施しました。

事業の実施内容

○黄金森公園陸上競技場の芝生整備を実施することにより、「名古屋グランパス」、「V・ファーレン長崎」の春季サッカーキャンプ、全国高等学校総合体育大会のサッカー競技及び県外大学等の陸上合宿を誘致しました。

・令和元年度予算及び決算額

委託費（黄金森公園芝生管理）　（予算額 10，008千円　決算額 10，008千円）

【名古屋グランパス春季キャンプの様子】

【名古屋グランパスサッカー教室の様子】

←【インターハイサッカー大会の様子】
西京高校（山口）対 四国学院大香川西高校（香川）

事業の成果

黄金森公園陸上競技場の年間を通した芝生整備を実施することで、名古屋グランパスやV・ファーレン長崎の春季サッカーキャンプをはじめとする、プロスポーツ合宿や大学陸上部の合宿など1，705人の利用者を誘致することができました。そのことにより、多くの町民がプロスポーツ選手の一流の技術を直接見る機会をつくることができました。

予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳				
			国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
	10,008	10,008		8,006			2,002

令和元年度主要施策の成果に関する報告書

単位：千円

事業名	琉球絣等伝統工芸事業			予算科目	会計	一般会計	01
部　課	経済建設部　産業振興課	課長名	金城　克彦		款	商工費	07
連絡先	889－4430				項	商工費	01
目　標	工夫と連携で産業が躍動するまち				目	商工振興費	01

事業の目的	対象（誰を・何を）	意図（どういう状態にしたいのか）
	琉球絣事業協同組合など	南風原町の特産品である琉球絣の振興を図り、地域経済の発展に寄与することを目的とします。

事業の実施内容

○琉球絣事業協同組合が開催する後継者育成事業に対し補助金を交付しました。
※この事業には国、県からも補助があり、琉球絣事業協同組合も負担しました。
・琉球絣後継者育成事業補助金　　予算額　380千円　　決算額　380千円

▲研修風景

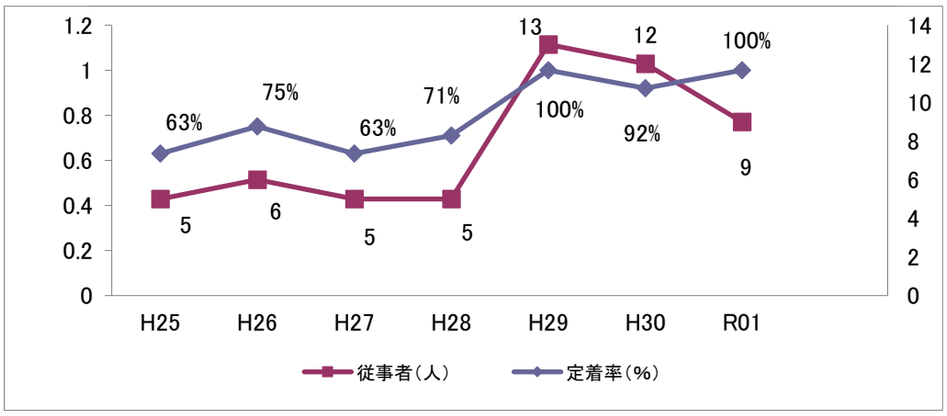
▲閉校式

研修内容　：　機織りを中心に、染色、括りを行いました。研修終了後は各工房の元で琉球絣を織ることになります。

南風原花織が国の伝統的工芸品に指定され、振興計画に基づく後継者育成事業を琉球絣と合わせて行っています。

受講者数及び修了後従事者数の推移

	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R01	合計
修了者	7	8	8	7	13	12	9	64
従事者	5	6	5	5	13	11	9	54
定着率	71%	75%	63%	71%	100%	92%	100%	84%



○琉球絣事業協同組合が行う、研修派遣、販路開拓、宣伝活動、展示即売等の経費に対して補助金を交付しました。
・琉球絣事業協同組合への補助金　　予算額　3，081千円　　決算額　3，081千円

次ページへつづく →

事業の実施内容

○琉球絣事業協同組合は、国、県、町の補助金と組合員の会費でその運営を行っていますが、その補助金等が入ってくるまでの運用資金（生産者への製品である反物代金等）として資金の貸付を行いました。

・琉球絣事業協同組合貸付金　　予算額　20，000千円　　決算額　20，000千円

○その他

・伝統工芸ふれあい広場事業負担金　　予算額　205千円　　決算額　205千円

・(財)伝統的工芸品産業振興協会費　　予算額　50千円　　決算額　50千円

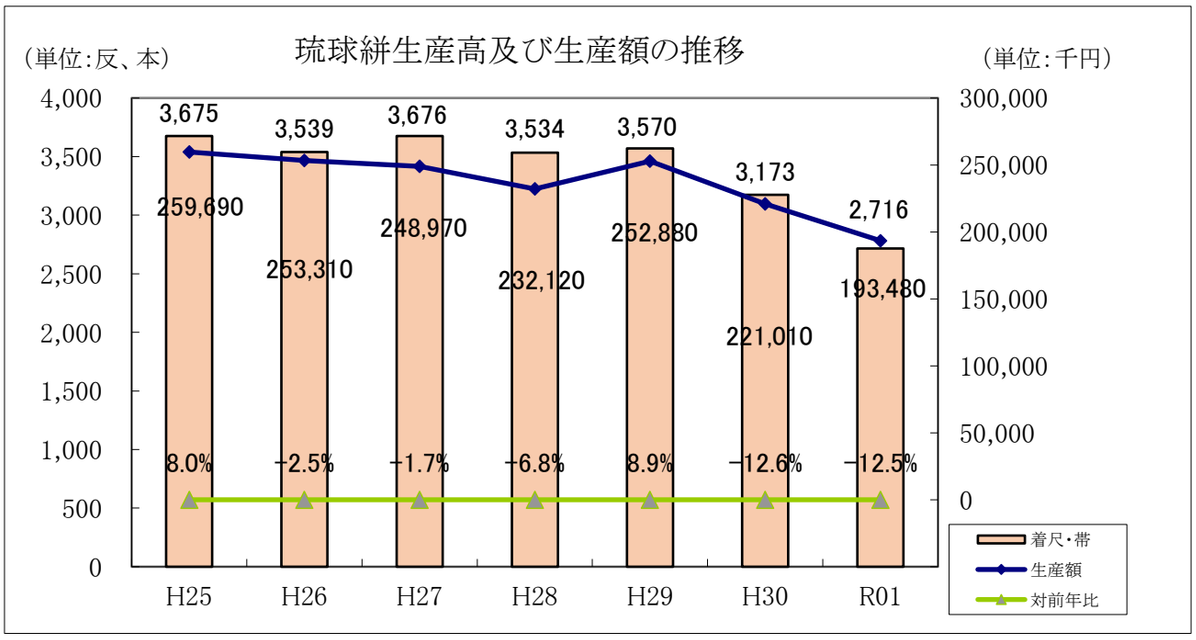
・琉球かすりの女王報酬等　　予算額　545千円　　決算額　462千円

↑　沖縄工芸ふれあい広場　↑

↑　イベントでのPR活動　↑

単位：反・本・千円

	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R01
着尺・帯	3,675	3,539	3,676	3,534	3,570	3,173	2,716
生産額	259,690	253,310	248,970	232,120	252,880	221,010	193,480
対前年比	8.0%	−2.5%	−1.71%	−6.8%	8.9%	−12.6%	−12.5%



事業の成果

後継者育成事業の修了者は引き続き各事業所の織りの担い手となり、かすり生産高安定に寄与することができました。また、かすりの生産においては受注生産が減少し、以前として生産環境は厳しい面がありますが、補助や貸付を行うことによって、琉球絣の振興を図り、地域経済の発展に寄与することができました。

第32代絣の女王においては、各種イベントにて琉球絣のPR活動を行いました。今後も琉球絣、南風原花織の産地として地域の発展と地場産業の育成をおこなって参ります。

予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳				
			国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
	24,261	24,178				20,000	4,178

５　みどりとまちが調和した
安全・安心のまち

令和元年度主要施策の成果に関する報告書

単位：千円

事業名	防災体制強化事業			予算科目	会計	一般会計	01
部課	総務部　総務課	課長名	新垣　圭一		款	消防費	09
連絡先	889－4415				項	消防費	01
目標	みどりとまちが調和した安全・安心のまち				目	災害対策費	02

事業の目的	対象（誰を・何を）	意図（どういう状態にしたいのか）
	南風原町全域にかかる全ての方への災害対策	災害が発生した場合において、町民の生命・財産を守るため、災害時の食糧等備蓄品の拡充や防災無線の運営等を行い、災害に強いまちづくりを目指す。

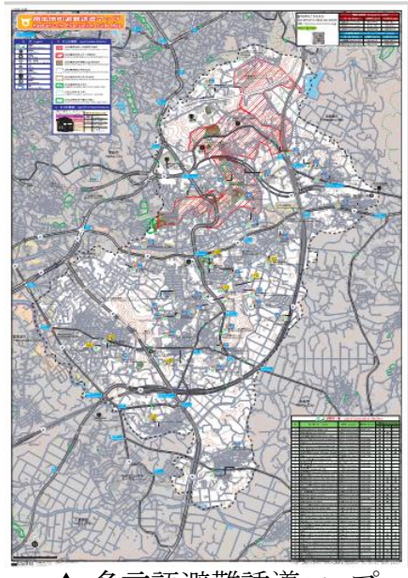
事業の実施内容

○需用費　952千円
- ・消耗品費　614千円
  災害用備蓄品購入費
- ・光熱水費　338千円
  防災行政無線の電気料

○役務費　1，076千円
- 防災行政無線の回線使用料　173千円
- 災害対策費用保険料　903千円

▲ 災害用備蓄品（保存水）

○委託料　4，598千円
- デジタルMCA無線保守委託料　66千円
- 防災行政無線保守委託料　990千円
- 避難所Wi-Fi整備委託料　1，576千円
- 多言語避難誘導マップ作成業務委託料　1，760千円
- 多言語避難誘導マップ配布業務委託料　206千円



▲ 多言語避難誘導マップ

○使用料　110千円
- 災害時に活用するデジタルMCA無線機の使用料

○工事請負費　2，064千円
- 防災行政無線屋外子局移設工事

○備品購入費　863千円
- 翻訳用タブレット購入費

○負担金　572千円
- ・沖縄県総合行政情報通信ネットワーク市町村負担金　256千円
- ・沖縄県防災情報システム市町村負担金　99千円
- ・沖縄県総合行政情報通信ネットワーク協議会負担金　196千円
- ・無線電波使用負担金　17千円
- ・沖縄県総合行政情報通信ネットワーク再整備負担金　4千円

事業の成果

災害時用備蓄整備及び避難所Wi-Fi整備や多言語避難誘導マップ作成等の事業により本町の防災体制力を強化することができました。日頃から備えをすることにより、いつ発生するかわからない災害に対応することが可能となり、住民の方の生命・財産を守ることができます。今後は、整備したものを防災訓練や防災啓発活動等で活用し、更なる防災体制の強化、防災意識の向上を図っていきたいと考えています。

予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳				
			国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
	14,198	10,235	4,508				5,727

令和元年度主要施策の成果に関する報告書

単位：千円

事業名	不発弾処理促進事業			予算科目	会計	一般会計	01
部課	総務部　総務課	課長名	新垣　圭一		款	総務費	02
連絡先	889－4415				項	総務管理費	01
目標	みどりとまちが調和した安全・安心のまち				目	不発弾処理促進費	10

事業の目的	対象（誰を・何を）	意図（どういう状態にしたいのか）
	町内で見つかった不発弾	自衛隊が改修出来ない不発弾を、信管を破壊し安全化処理を実施します。

事業の実施内容

○消耗品費　　8千円
　不発弾看板作成用ビニールシート購入費

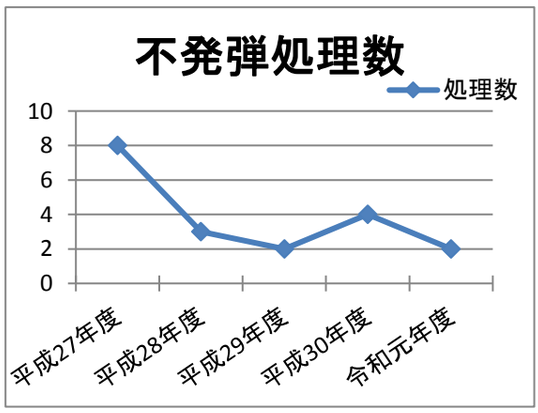
○委託料　　1，980千円
　防護壁構築業務委託料　　1，881千円
　防護壁の内部では、自衛隊により不発弾の安全化処理が行われています。
　また、防護壁を構築することによって、避難半径が狭くなります。

　ライナープレート運搬委託料　　99千円
　防護壁構築で使用するライナープレートの借用及び返還に係る運搬委託料

▲ 与那覇地内で発見された不発弾

▲ 強固な防護壁

▲ 処理壕内部



▲ 不発弾処理数の推移

事業の成果

戦後70年経った現在でも多くの不発弾が発見されています。その不発弾を安全に処理するために、素ぼりや防護壁を設置し、安全化を行いました。

予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳				
			国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
	6,001	1,988		1,854			134

令和元年度主要施策の成果に関する報告書

単位：千円

事業名	災害時等避難施設改修事業			予算科目	会計	一般会計	01
部課	総務部　総務課	課長名	新垣　圭一		款	消防費	09
連絡先	889－4415				項	消防費	01
目標	みどりとまちが調和した安全・安心のまち				目	災害対策費	02

事業の目的	対象（誰を・何を）	意図（どういう状態にしたいのか）
	各字・自治会	台風などの災害や不発弾処理等非常時の避難施設である地域公民館や集会施設の整備を行います。

事業の実施内容

◆ 災害時等避難施設改修事業

○ 補助金（喜屋武）　1，176千円

※喜屋武公民館　玄関・トイレバリアフリー化改修工事

（男子・女子トイレバリアフリー化）
1. 既存タイル　取り外し・処分
2. コンクリート打設
3. 新規タイル貼り付け
4. スライドドアへ交換

（玄関バリアフリー化）
1. コンクリート打設
2. ステンレス製てすり設置

事業の成果

一次避難所（地域公民館や集会施設）を改修・機能強化することにより、災害に強いまちづくりの推進を図りました。

予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳				
			国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
	1,250	1,176		941			235

令和元年度主要施策の成果に関する報告書

単位：千円

事業名	津嘉山公園整備事業			予算科目	会計	一般会計	01
部　課	経済建設部　都市整備課	課長名	宮城　良武		款	土木費	08
連絡先	889－1632				項	都市計画費	04
目標	みどりとまちが調和した安全・安心のまち				目	公園費	02

事業の目的	対象（誰を・何を）	意図（どういう状態にしたいのか）
	町民など	住民の憩い及びレクレーションの場を確保し良好な都市環境機能を確保します。

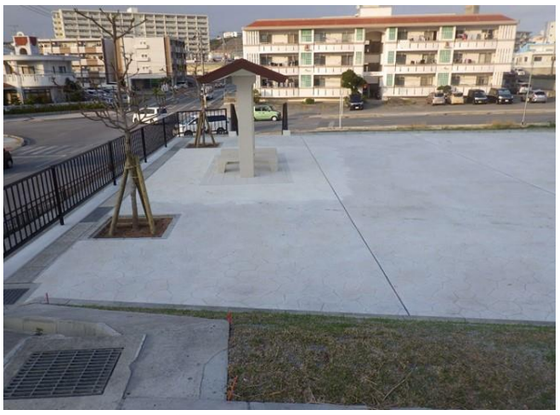
事業の実施内容

・ 津嘉山公園整備事業　　（事業期間：平成20年度～令和　3年度）補助事業
　総事業費 ：　　1,860,000　千円

◆ 令和元年度　　（予算額：　74,020　千円　　決算額：　74,005　千円 ）

委　託　料	3,824　千円	3,814　千円
工　事　費	70,196　千円	70,191　千円

着手前



完了後

事業の成果

公園の東屋、広場工事を行いました。

予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳				
			国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
	74,020	74,005		37,000	33,300		3,705

令和元年度主要施策の成果に関する報告書

単位：千円

事業名	都市公園管理事業			予算科目	会計	一般会計	01
部　課	経済建設部　まちづくり振興課	課長名	仲里　明		款	土木費	08
連絡先	889－4412				項	都市計画費	04
目　標	みどりとまちが調和した安全・安心のまち				目	公園費	02

事業の目的	対象（誰を・何を）	意図（どういう状態にしたいのか）
	公園利用者など	町内の都市公園、農村公園等を適正に維持管理を行うことにより、利用者が快適な公園として活用できるよう整備していきます。

事業の実施内容

令和元年度も「まちづくり振興課すぐやる班」を中心に公園の維持管理を行いました。

○需用費
予算額：4，215千円　　決算額：4，110千円
・消耗品費等　638千円
・光熱水費　3，076千円
・修 繕 費　396千円

○委託料
予算額：1，789千円　決算額：1，789千円
・ゴミ収集委託料　337千円
・各公園夜間警備委託料　1，452千円

○賃金（人夫賃）
予算額：380千円　決算額：374千円

○役務費
予算額：604千円　決算額：599千円
・公園ごみ処理手数料　599千円

○賃借料（重機・運搬車・清掃車賃借料）
予算額：420円　決算額：414千円

○原材料費
予算額：150千円　決算額：105千円
・原材料費　105千円

○公園樹木伐採除去状況

作業前

作業車設置

作業状況

作業後

事業の成果

都市公園、農村公園等の維持管理を適正に行うことにより、利用者に安全な憩いの場を提供することが出来ました。

予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳				
			国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
	7,558	7,391					7,391

令和元年度主要施策の成果に関する報告書

単位：千円

事業名	下水道事業			予算科目	会計	下水道事業特別会計	03
部　課	経済建設部　区画下水道課	課長名	桃原　正善		款	土木費	01
連絡先	889－2508				項	都市計画費	01
目　標	みどりとまちが調和した安全・安心のまち				目	下水道事業費	01

事業の目的	対象（誰を・何を）	意図（どういう状態にしたいのか）
	町民、事業所など	下水道施設を整備することにより、健康で快適な生活環境の確保及び公共用水域の水質保全、また浸水の防除を図ります。

事業の実施内容

◎ 下水道事業特別会計

R1年度	727,804千円	R1年度	578,989千円
H30繰越額	111,260千円	H30繰越額	111,260千円
予算額　計	839,064千円	決算額　計	690,249千円

※決算額等については、令和2年4月、5月分（出納整理期間内）の収支は含まず。

○主な事業内容

工事請負費	225,037千円	(19件)	(内4件は繰越・現年度合算)
調査設計費	62,522千円	(13件)	(内1件は繰越・現年度合算)
流域下水道関係負担金	151,804千円		
公債費	187,047千円		
計	626,410千円		

事業別内訳　（単位：千円）

R1年度	予算額	執行額	R2繰越額	執行率(%)
未普及解消下水道事業	74,269	74,211	0	99.9
浸水対策下水道事業	200,358	97,162	103,124	48.5
下水道普及運営事業	1,377	1,021	0	74.1
流域関連事業	162,747	151,804	0	93.3
下水道維持管理事業	8,501	6,462	0	76.0
その他	280,552	248,329	0	88.5
小　計	727,804	578,989	103,124	79.6
H30繰越額	**予算額**	**執行額**	**繰越額**	**執行率(%)**
未普及解消下水道事業	35,262	35,262	0	100.0
浸水対策下水道事業	75,086	75,086	0	100.0
下水道維持管理事業	912	912		100.0
小　計	111,260	111,260	0	100.0
合　計	839,064	690,249	103,124	82.3

○南風原町公共下水道事業の概要

下水道整備状況(令和2年3月末現在)(汚水)

全体計画面積(ha)	認可面積(ha)	R元年度供用開始面積(ha)	供用開始済面積(ha)	全体計画整備率(%)	認可面積整備率(%)
721.1	617.9	3.2	352.0	48.8	57.0

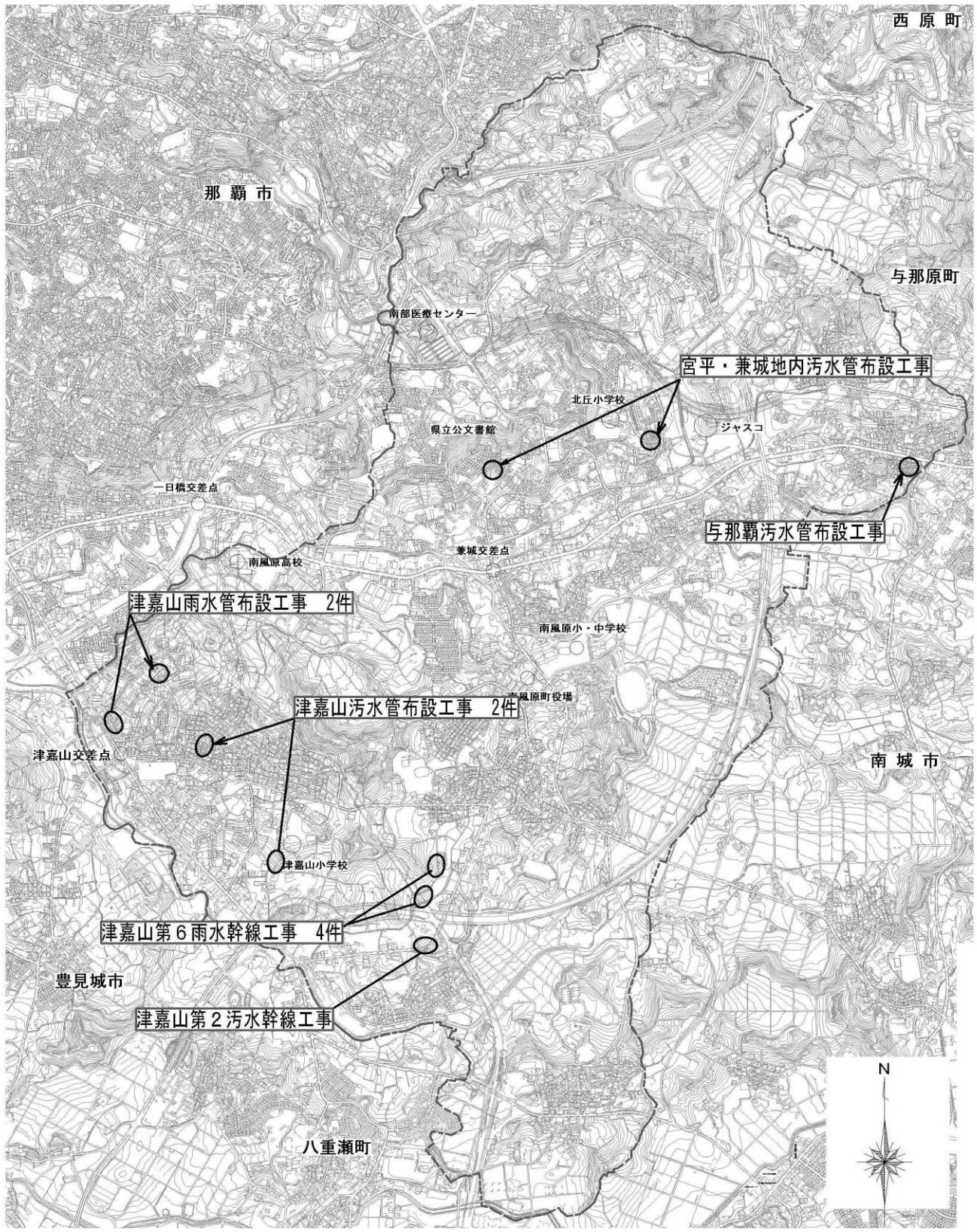
水洗化率（接続率）状況(令和2年3月末現在)(汚水)

行政人口（人）	全体計画区域内人口（人）	利用可能人口（人）	人口普及率（%）	接続人口（人）	水洗化率（接続率）（%）
39,911	37,982	27,944	70.0	23,779	85.1

次ページへつづく →

令 和 元 年 度 公 共 下 水 道 工 事 箇 所 図

事業の実施内容



事業の成果

令和元年度は、汚水の整備については、津嘉山北土地区画整理事業の促進に向け区域内の整備及び与那覇、宮平、山川地区の整備を行い、令和元年度末の供用開始済面積は352.0ha、整備率48.8%、人口普及率70.0%となっており、南風原町の半数を超える町民のみなさんが下水道を利用出来るようになりました。
雨水の整備については、津嘉山北土地区画整理事業地内及び照屋地内の津嘉山第6雨水幹線の整備を行っています。

予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳				
			国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
	839,064	690,249	103,177	65,309	161,300	169,749	190,714

令和元年度主要施策の成果に関する報告書

単位：千円

事業名	下水道事業（使用料徴収事務委託）			予算科目	会計	下水道事業特別会計	03
部　課	経済建設部　区画下水道課	課長名	桃原　正善		款	土木費	01
連絡先	889－2508				項	都市計画費	01
目　標	みどりとまちが調和した安全・安心のまち				目	下水道事業費	01

事業の目的	対象（誰を・何を）	意図（どういう状態にしたいのか）
	下水道使用料徴収事務委託料及び使用料	下水道使用料の納付を上水道使用料の納付と一元化することにより、利便性が増すとともに収納率の向上と徴収事務の効率化を図ります。

事業の実施内容

南部水道企業団への下水道使用料の徴収事務委託の実施

※令和元年度決算額等については、令和2年4月、5月分（出納整理期間内）の収支は含まず。

〇徴収事務

1，令和元年度徴収事務委託料
予算額　14,066 千円
決算額　12,935 千円

2，年度別徴収事務委託料　単位：千円、件

年度	H27	H28	H29	H30	R1
金額	11,031	11,725	12,714	13,488	12,935
件数	55,155	58,625	63,570	67,439	64,088

〇下水道使用料

1，令和元年度下水道使用料（現年度分）
調定額　206,348 千円
収納額　169,749 千円　※還付未済30千円含む。
未納額　36,629 千円
収納率　82.2 %

2，年度別収納額・収納率　単位：千円、%

年度	H27	H28	H29	H30	R1
収納額	180,370	186,133	190,325	197,798	169,749
収納率	99.0	99.7	99.5	99.6	82.2

事業の成果

平成13年4月より、下水道使用料の徴収を南部水道に事務委託し、徴収事務が効果的に推進されています。なお、令和2年4月1日より公営企業会計へ移行したことにより出納整理期間(令和2年4月、5月)の収納分が集計に入っておりません。下水道使用料の収納率につきましては、特別会計の時と同じ出納整理期間(令和2年4月、5月)の収納分35,868千円まで含めると205,617千円となり昨年度と同率の99.6%の収納率になっています。

予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳				
			国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
	14,066	12,935				12,935	0

令和元年度主要施策の成果に関する報告書

単位：千円

事業名	下水道事業（流域関連分）			予算科目	会計	下水道事業特別会計	03
部　課	経済建設部　区画下水道課	課長名	桃原　正善		款	土木費	01
連絡先	889－2508				項	都市計画費	01
目　標	みどりとまちが調和した安全・安心のまち				目	下水道事業費	01

事業の目的	対象（誰を・何を）	意図（どういう状態にしたいのか）
	流域関連事業（維持管理負担金及び建設負担金）	流域下水道の適正な維持管理で経営健全化を図るとともに、流域下水道の整備の効率化を図ります。

事業の実施内容

流域関連事業

予算額　162,747　千円　　決算額　151,804　千円

※令和元年度決算額等については、令和2年4月、5月分（出納整理期間内）の収支は含まず。

〇流域下水道維持管理負担金

沖縄県の流域下水道事業のうち、中部流域下水道・那覇処理区は4市町（那覇市・浦添市・豊見城市・南風原町）で構成されおり、県が管理運営する処理場（那覇浄化センター）で汚水を処理し、きれいな水にしていますが、その処理費や運営費は各市町の汚水量に応じて負担します。

平成20年10月より排除汚水1立米当たり47円（消費税抜き）で算出した額をそれぞれ4市町で支出し、維持、修繕等の費用に充てています。

1，令和元年度維持管理負担金

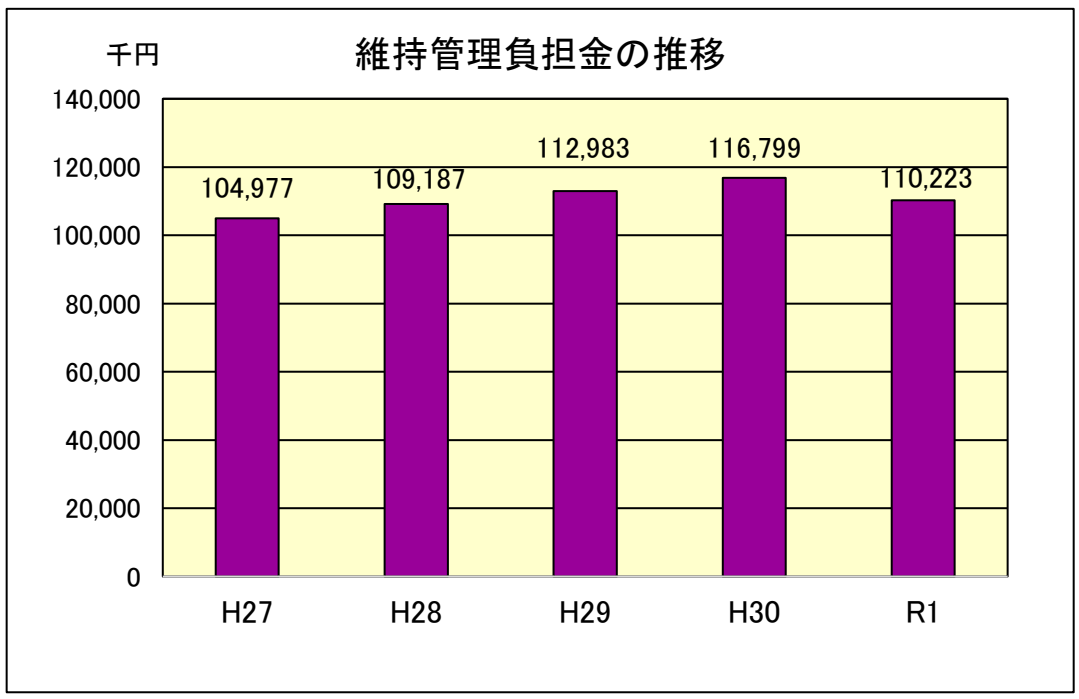
予算額　121,166　千円

決算額　110,223　千円

2，年度別維持管理負担金

単位：千円

年度	H27	H28	H29	H30	R1
金額	104,977	109,187	112,983	116,799	110,223



次ページへつづく →

事業の実施内容

○流域下水道建設負担金

流域下水道の処理場を維持管理する為の費用や町内から処理場までの下水道管を建設するための費用を、構成する4市町の汚水量の割合で負担しています。

1，負担割合

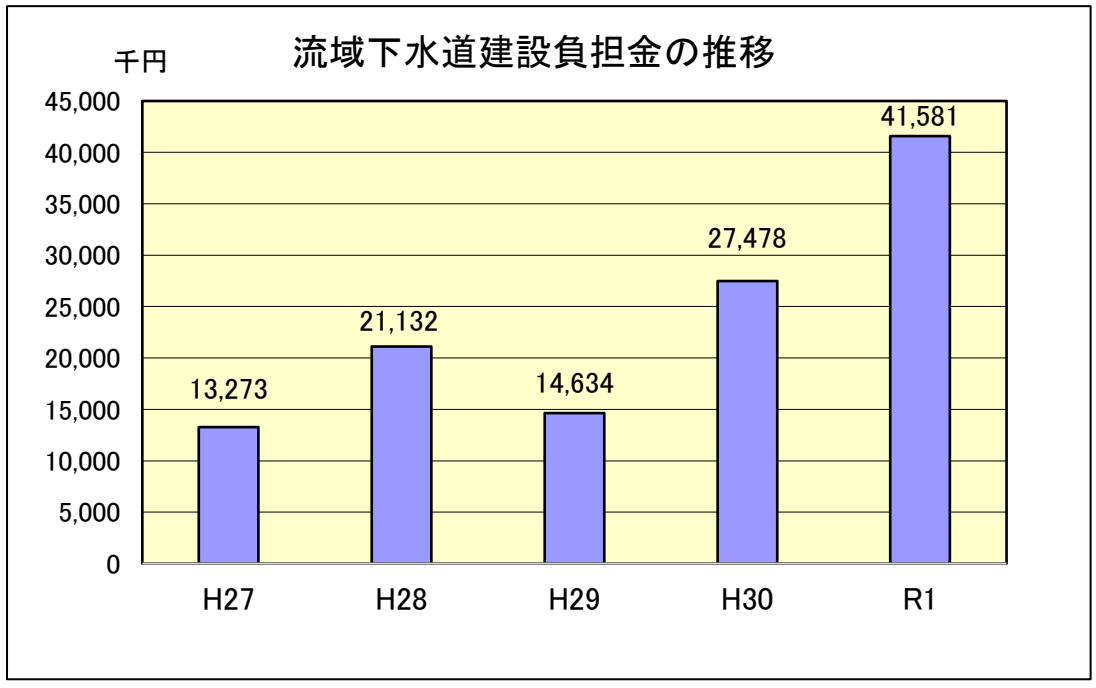
那覇市	浦添市	豊見城市	南風原町
69.30%	10.64%	12.61%	7.45%

2，令和元年度建設負担金額

予算額　41,581　千円
決算額　41,581　千円

3，年度別建設負担金　　単位:千円

年度	H27	H28	H29	H30	R1
金額	13,273	21,132	14,634	27,478	41,581



事業の成果

流域下水道維持管理負担金は、接続世帯が増え、汚水量が増加していることにより、年々負担額が増えています。令和元年度は、公営企業会計移行のため出納整理期間の令和2年4月支払分(10,942千円)が決算に集計されていないため減になっています。 なお、令和2年4月支払分は、次年度決算に反映されます。

予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳				
			国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
	162,747	151,804			41,300	110,504	0

令和元年度主要施策の成果に関する報告書

単位：千円

事業名	下水道事業特別会計事業（繰出金）			予算科目	会計	一般会計	01
部　課	経済建設部　区画下水道課	課長名	桃原　正善		款	土木費	08
連絡先	889－2508				項	都市計画費	04
目　標	みどりとまちが調和した安全・安心のまち				目	都市計画費	01

事業の目的	対象（誰を・何を）	意図（どういう状態にしたいのか）
	町民など	下水道特別会計の経営の安定を図ります。

事業の実施内容

下水道事業特別会計は、下水道を利用している方の納める下水道使用料で運営することとなっています。しかし、整備の途中であり、利用人口が全人口の6割程度となっているため、その方々だけで負担をすると高額な使用料になってしまいます。そこで、適正な使用料にするために一般会計から下水道事業特別会計へ繰出金として支出しています。

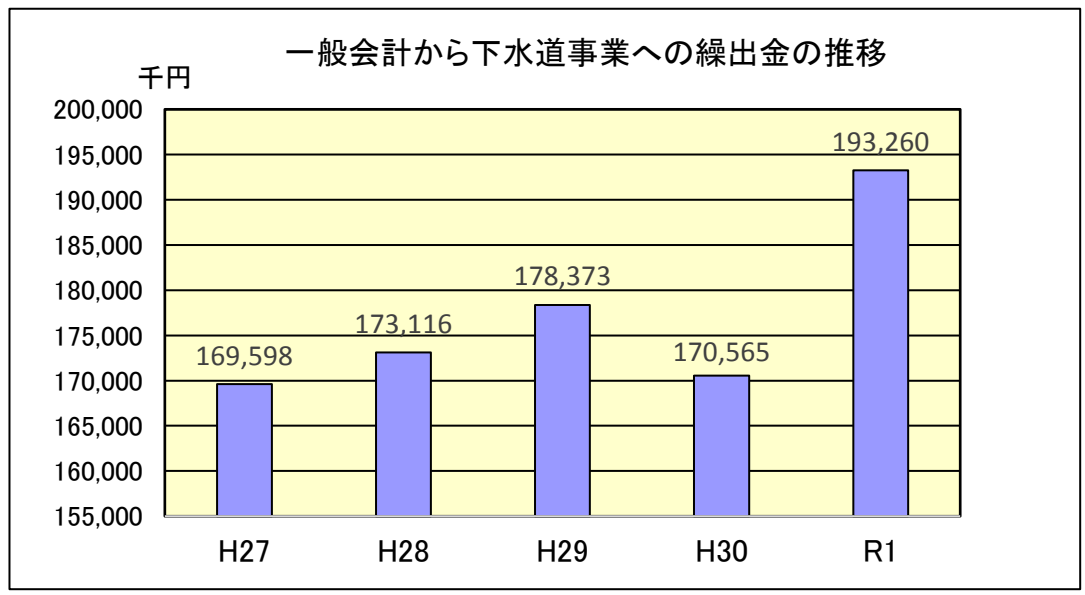
1，下水道事業特別会計繰出金（一般会計から）

予算額　193,260 千円　　決算額　193,260 千円

2，年度別下水道事業特別会計繰出金の推移

単位：千円

年度	H27	H28	H29	H30	R1
金額	169,598	173,116	178,373	170,565	193,260



※一般会計からの繰出金(193,260千円)は、主に、職員の人件費、補助対象外の町負担分の事業費、補助事業等に要した公債費の償還金等に充当しました。

事業の成果

下水道事業の経営の安定を図ることができました。

予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳				
			国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
	193,260	193,260					193,260

令和元年度主要施策の成果に関する報告書

単位：千円

事業名	農業集落排水事業			予算科目	会計	農業集落排水事業特別会計	07
部　課	経済建設部　区画下水道課	課長名	桃原　正善		款	農業集落排水事業費	01
連絡先	889－2508				項	農業集落排水事業費	01
目　標	みどりとまちが調和した安全・安心のまち				目	事業費	01

事業の目的	対象（誰を・何を）	意図（どういう状態にしたいのか）
	神里地区（農業振興地域）	農業集落排水事業は、農業生産と生活が密接に結びついているといった都市と異なる農村の特性を踏まえ、農業生産条件の安定化、農地流動化の促進、定住条件の整備などの構造政策を支援することを目的としています。

事業の実施内容

★農業集落排水事業特別会計（神里地区）

R1 年　度	23,698 千円	R1 年　度	19,429 千円
H30繰越額	2,420 千円	H30繰越額	2,420 千円
予算額　計	26,118 千円	決算額　計	21,849 千円

※決算額等については、令和2年4月・5月分（出納整理期間内）の収支は含まず。

1. 下水道料金徴収委託料

予 算 額 ：　518 千円　　決 算 額 ：　473 千円

南部水道企業団へ1件当たり9月まで200円、10月より消費税値上げにより204円で徴収事務を委託しました。

◆令和元年度下水道使用料（現年度分）

調 定 額 ：　4,075 千円
収 納 額 ：　3,376 千円
未 納 額 ：　699 千円
徴 収 率 ：　82.8 ％

2. 電気保安点検委託料

予 算 額 ：　105 千円　　決 算 額 ：　96 千円

神里地区汚水処理施設の電気保安点検業務を委託しました。

3. 汚泥処理委託料

予 算 額 ：　210 千円　　決 算 額 ：　148 千円

脱水した汚泥を処理するための運搬処理を委託しました。
R1年度は、約　34　tの汚泥を処理しました。

4. 処理場等維持管理等委託料

予 算 額 ：　3,908 千円　　決 算 額 ：　3,570 千円

神里地区汚水処理施設とマンホールポンプ（2機）の運転管理委託費です。

5.　最適整備構想策定・機能診断調査委託料

予 算 額 ：　5,005 千円　　決 算 額 ：　5,005 千円

神里地区汚水処理施設の最適整備構想策定・機能診断調査委託料です。

6. 需用費

予 算 額 ：　3,330 千円　　決 算 額 ：　3,309 千円

おもに神里地区汚水処理施設の電気代です。

7. 工事請負費

予 算 額 ：　6,636 千円　　決 算 額 ：　3,195 千円

神里地区汚水処理施設の修繕工事と桝設置等工事費です。

次のページへつづく→

事業の実施内容	

8. 繰出金

予 算 額 ： 327 千円　　決 算 額 ： 327 千円

一般会計繰出金（前年度純繰越金）です。

9. 役務費・負担金等

予 算 額 ： 171 千円　　決 算 額 ： 119 千円

汚水処理施設の通信費、手数料と上部団体への負担金です。

10. 農業集落排水事業の公債費（元利償還金等）

予 算 額 ： 5,608 千円　　決 算 額 ： 5,607 千円

11. 予備費

予 算 額 ： 300 千円　　決 算 額 ： 0 千円

◆雑入　予 算 額 ： 129 千円　　決 算 額 ： 110 千円

平成25年度に設置した太陽光発電システムによる余剰電力売電料です。

事業の成果	

維持管理を適切に行うことにより、汚水処理施設等の適切な運営を行うことができました。なお、令和2年4月1日より公営企業会計へ移行したことにより、出納整理期間（令和2年4月、5月分）の収納分が集計に入っておりません。下水道使用料の徴収率につきましては、決算書に反映できない令和2年4月・5月収入分679,435円を加算すると令和元年度の徴収率は99.5%になります。

予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳				
			国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
	26,118	21,849				3,376	13,473

令和元年度主要施策の成果に関する報告書

単位：千円

事業名	農業集落排水事業特別会計繰出金			予算科目	会計	一般会計	01
部　課	経済建設部　区画下水道課	課長名	桃原　正善		款	農林水産業費	06
連絡先	889－2508				項	農業費	01
目　標	みどりとまちが調和した安全・安心のまち				目	農地費	05

事業の目的	対象（誰を・何を）	意図（どういう状態にしたいのか）
	神里地区	一般会計から農業集落排水事業特別会計への繰出金拠出を行い、農業集落排水事業を促進し農業振興地域の振興を図ります。

事業の実施内容

◆令和元年度は、下記のとおり一般会計から繰出金を拠出しました。

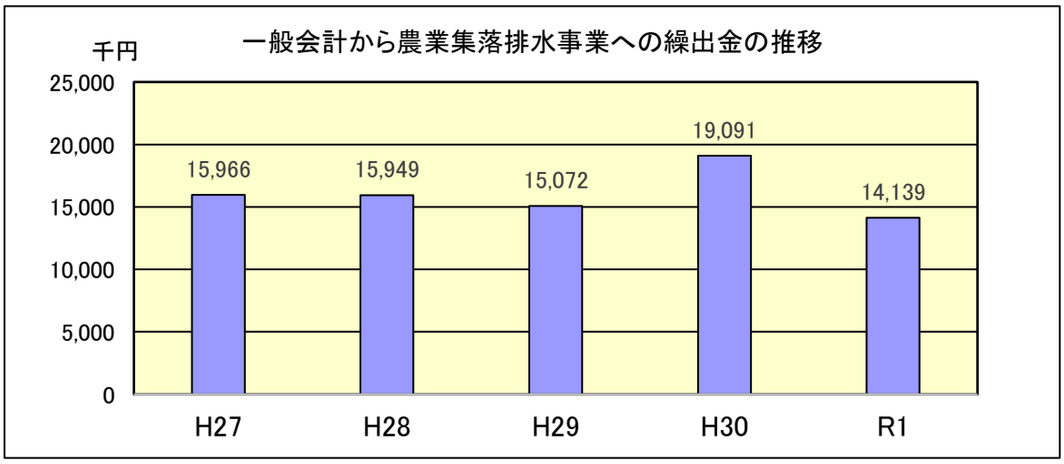
○農業集落排水事業特別会計繰出金

予 算 額 ：　14,139 千円　　決 算 額 ：　14,139 千円

○年度別農業集落排水事業特別会計繰出金の推移

単位：千円

年度	H27	H28	H29	H30	R1
金額	15,966	15,949	15,072	19,091	14,139



※一般会計からの繰出金14,139千円は、主に事業の運営に必要な需用費、委託費、工事費及び補助事業等に要した公債費の償還金等に充当しました。

事業の成果

一般会計から農業集落排水事業特別会計への繰出金を行い、農業集落排水事業を促進し農業振興地域の振興が図れました。

予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳				
			国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
	14,139	14,139					14,139

令和元年度主要施策の成果に関する報告書

単位：千円

事業名	道路維持事業			予算科目	会計	一般会計	01
部　課	経済建設部　まちづくり振興課	課長名	仲里　明		款	土木費	08
連絡先	889－4412				項	道路橋梁費	02
目　標	みどりとまちが調和した安全・安心のまち				目	道路維持費	01

事業の目的	対象（誰を・何を）	意図（どういう状態にしたいのか）
	町民など	町道や排水路の破損した個所の維持補修、土砂の除去、除草及び街路樹の剪定を行い、町民の交通安全の確保及び生活環境の向上を促進します。

事業の実施内容

令和元年度は下記の整備（道路維持整備）を行いました。
また、平成19年度より「すぐやる班」を設置し、道路・公園の維持補修に努めています。

○賃金（人夫賃）
予算額　3，870千円
決算額　3，867千円

○需用費
予算額　513千円
決算額　505千円

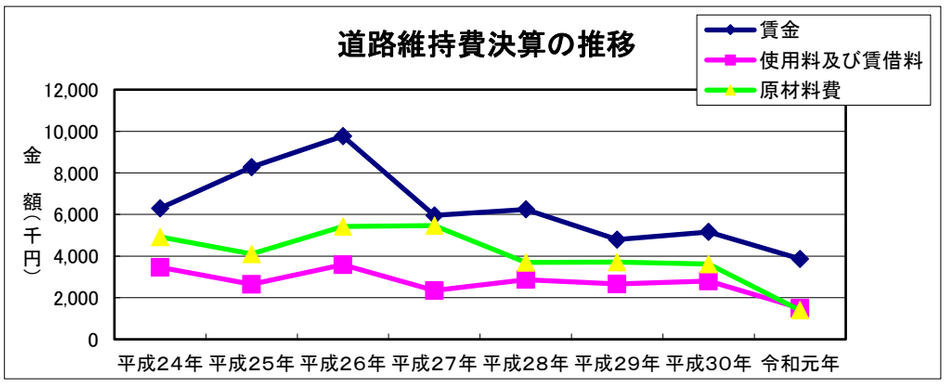
○役務費等（草木等処理費、保険料）
予算額　230千円
決算額　181千円

○使用料及び賃借料
予算額　1，500千円
決算額　1，500千円

○道路整備工事費
予算額　2，500千円
決算額　2，473千円

○原材料費
予算額　1，400千円
決算額　1，396千円

（主な対応事業内容）
○道路面の清掃及び舗装の修繕
○道路側溝、排水路の清掃及び修繕
○街路樹の伐採、剪定
○台風や大雨後の道路及び排水路等の清掃
○簡易な道路維持補修工事



・道路排水溝の修繕作業状況

事業の成果

町道の路面破損及び排水路の維持補修、草木等の伐採を行い、町民が安全に快適な通行できる道路が確保出来ました。

予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳				
			国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
	10,013	9,922					9,922

令和元年度主要施策の成果に関する報告書

単位：千円

事業名	都市計画振興事業			予算科目	会計	一般会計	01
部課	経済建設部　まちづくり振興課	課長名	仲里　明		款	土木費	08
連絡先	889－4412				項	都市計画費	04
目標	みどりとまちが調和した安全・安心のまち				目	都市計画費	01

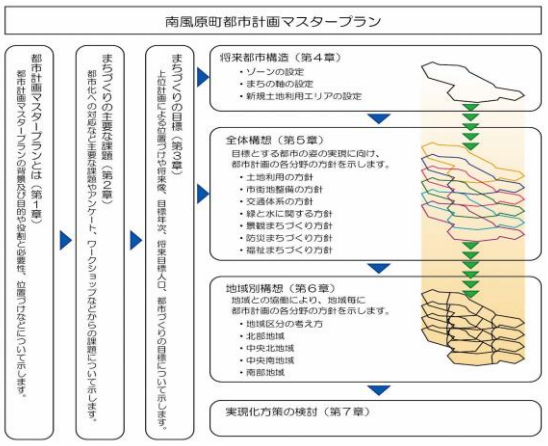
事業の目的	対象（誰を・何を）	意図（どういう状態にしたいのか）
	①南風原町都市計画マスタープラン（素案）を策定します。 ②南風原南インターチェンジ周辺地区を市街化区域編入に向けて調査検討を行います。	①昨年実施した基礎調査を踏まえ、各地域でワークショップ等を開催し都市計画マスタープラン（素案）を策定する。 ②第五次総合計画土地利用構想の実現へ市街化区域編入へ向けて調査検討を実施します。

事業の実施内容

委託料　　予算額11，022千円　決算額10，645千円

都市計画振興事業

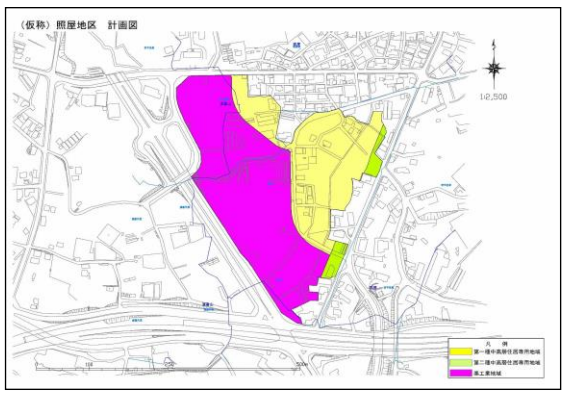
【①南風原町都市計画マスタープラン策定業務】　　決算額5,497千円



各地域でワークショップを開催し、地域の課題等を確認しました。

【②南風原南インターチェンジ周辺土地利用計画策定業務】　　決算額5,148千円

【現時点での基本構想図】



区域	土地利用の考え方（再掲）	用途地域案
新規産業集積ゾーン	・新たな産業の誘致や町内の産業の移転用地として活用する。 ・広域幹線道路沿道においては都市型工業の立地、集積を誘導しつつ、機動性に富む基盤整備を促し、新たな工業用地を確保する。	**準工業地域** ・環境悪化をもたらす恐れのない都市型新産業等の立地を図る。 ・広域幹線道路の国道 507 号に面する街区が対象。
沿道ゾーン	・集落環境に配慮しつつ交通の利便性を活かした土地利用を図る。	**第二種中高層住居専用地域** ・幹線道路沿道は環境良好な中高層住宅地として形成 ・主として住居の環境を保護しつつ一定の店舗等の立地を許容する ・原則、道路端より幅員 25m で指定。
住宅ゾーン	・生活道路のネットワークを構築するなど基盤の改善によるアクセス向上を図り、安全で快適な住環境の形成を図る。	**第一種中高層住居専用地域** ・低層住宅地との環境に調和した良好な中高層住宅地を形成

関係地権者説明会及び、代表発起人会による勉強会を重ね事業の進め方について意見交換を重ねております。

事業の成果

①南風原町都市計画マスタープランの策定にあたり、基礎調査を踏まえ地域でのワークショップを開催し課題・要望等を把握し都市計画マスタープラン（素案）を作成する事が出来ました。
②南風原町南インターチェンジ周辺地区の土地利用について市街化区域編入に係る調査を実施する事が出来ました。

予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳				
			国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
	11,022	10,645		3,080			7,565

令和元年度主要施策の成果に関する報告書

単位：千円

事業名	町道10号線道路改良事業			予算科目	会計	一般会計	01
部　課	経済建設部　都市整備課	課長名	宮城　良武		款	土木費	08
連絡先	889－1632				項	道路橋梁費	02
目標	みどりとまちが調和した安全・安心のまち				目	道路新設改良費	02

事業の目的	対象（誰を・何を）	意図（どういう状態にしたいのか）
	町民など	歩行者の安全と通勤通学、各施設等への交通の利便性を確保し、地域の生活環境の改善を図ります。

事業の実施内容

・ 町道10号線道路改良事業　　（事業期間：平成24年度～令和　7年度）補助事業
　総事業費 ：　　1,773,000　千円

◆ 令和元年度　　（予算額：　131,455　千円　　決算額：　84,663　千円 ）

主な事業費

需　用　費	35　千円	35　千円
役　務　費	158　千円	157　千円
委　託　費	1,203　千円	967　千円
使　用　料	30　千円	29　千円
工　事　費	10　千円	0　千円
原 材 料 費	100　千円	97　千円
用　地　費	13,622　千円	3,916　千円
備品購入費	5　千円	5　千円
補　償　費	116,292　千円	79,457　千円

着手前

完了後

◆ 令和2年度への繰越　（予算額：　46,521　千円　）

用　地　費	9,696　千円
補　償　費	36,825　千円

事業の成果

立竹木の補償を行いました。

予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳				
			国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
	131,455	84,663		66,698	15,700		2,265

令和元年度主要施策の成果に関する報告書

単位：千円

事業名	町道73号線道路改良事業			予算科目	会計	一般会計	01
部　課	経済建設部　都市整備課	課長名	宮城　良武		款	土木費	08
連絡先	889－1632				項	道路橋梁費	02
目標	みどりとまちが調和した安全・安心のまち				目	道路新設改良費	02

事業の目的	対象（誰を・何を）	意図（どういう状態にしたいのか）
	町民など	既存集落内への交通の利便性を確保し、地域の生活環境の改善を図ります。

事業の実施内容

・ 町道73号線道路改良事業　　（事業期間：平成27年度～令和　3年度）補助事業
　総事業費 ：　　150,000　千円

◆ 令和元年度　　（予算額：　29,926　千円　　決算額：　29,893　千円 ）

委　託　料	1,334　千円	1,315　千円
工　事　費	28,592　千円	28,578　千円

着手前

完了後

事業の成果

一部道路改良工事を行いました。

予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳				
			国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
	29,926	29,893		23,685	5,300		908

令和元年度主要施策の成果に関する報告書

単位：千円

事業名	津嘉山中央線街路事業			予算科目	会計	一般会計	01
部課	経済建設部　都市整備課	課長名	宮城　良武		款	土木費	08
連絡先	889－1632				項	都市計画費	04
目標	みどりとまちが調和した安全・安心のまち				目	街路整備事業費	03

事業の目的	対象（誰を・何を）	意図（どういう状態にしたいのか）
	町民など	当路線には歩道がなく、通勤通学の歩行者や車輌の通行が大変危険な状態です。道路整備を行い、通学時の歩行者の安全と車輌の安全確保を図ります。

事業の実施内容

・ 津嘉山中央線街路整備事業　（事業期間：平成25年度～令和　3年度）補助事業
総事業費 ：　1,054,000　千円　（幅員12m　道路延長250m）

◆ 平成30年度　繰越　（予算額：　30,797　千円　決算額：　30,787 千円 ）

工事費	4,011 千円	4,001 千円
用地費	13,332 千円	13,332 千円
補償費	13,454 千円	13,454 千円

◆ 令和元年度　（予算額：　97,014　千円　決算額：　61,555 千円 ）

需用費	40 千円	40 千円
役務費	159 千円	69 千円
委託料	476 千円	369 千円
工事費	24,919 千円	19,461 千円
原材料費	100 千円	44 千円
用地費	20,348 千円	5,102 千円
補償費	50,972 千円	36,470 千円

着手前

完了後

◆ 令和2年度への繰越　（予算額：　35,186　千円　）

工事費	5,457 千円
用地費	15,237 千円
補償費	14,492 千円

事業の成果

用地取得及び物件補償、一部道路改良工事を行いました。

予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳				
			国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
	127,811	92,342		73,456	16,800		2,086

令和元年度主要施策の成果に関する報告書

単位：千円

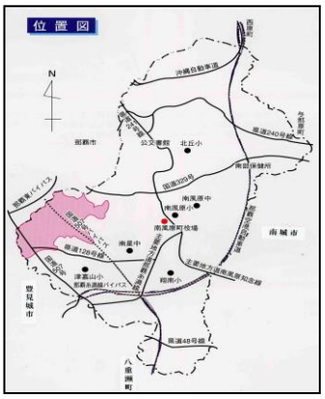
事業名	津嘉山北土地区画整理事業（土地区画整理事業特別会計）			予算科目	会計	土地区画整理事業特別会計	05
部　課	経済建設部　区画下水道課	課長名	桃原　正善		款	土地区画整理事業費	02
連絡先	889－2508				項	津嘉山北土地区画整理事業費	01
目　標	みどりとまちが調和した安全・安心のまち				目	事業費	01

事業の目的	対象（誰を・何を）	意図（どういう状態にしたいのか）
	那覇市に隣接する津嘉山北地区（面積71.4ha）の住民及び地権者並びに建物等所有者等	道路や公園をはじめとする公共施設の整備改善と宅地とを一体的な造成を行うことにより、住宅地需要に対応した住宅市街地の形成を図ります。

事業の実施内容

◎ 土地区画整理事業特別会計

R1　年　度	552,116千円	R1　年　度	534,183千円
H30繰越額	16,714千円	H30繰越額	16,714千円
予算額　計	568,830千円	決算額　計	550,897千円



○主な事業内容

工　事　請　負　費	192,710千円	(10件)
調　査　設　計　費	30,149千円	(11件)
建物等移転補償費	79,845千円	(23件)
計	302,704千円	

財源別内訳　（金額の単位：千円）

R1年度	予算額	執行額	繰越額	執行率(%)
国庫補助事業（通常費）	24,508	24,508	0	100.0
国庫補助事業（地活金）	155,492	155,492	0	100.0
国庫補助事業（関連社会資本）	0	0	0	0.0
公共施設管理者負担金	0	0	0	0.0
基金整備事業	117,222	102,062	15,159	87.1
磁気探査支援事業	3,000	3,000	0	100.0
その他（単独事業等）	251,894	249,121	0	98.9
小　計	552,116	534,183	15,159	96.8
H30繰越額	**予算額**	**執行額**	**繰越額**	**執行率(%)**
国庫補助事業（通常費）	0	0	0	0.0
国庫補助事業（地活金）	3,548	3,548	0	100.0
国庫補助事業（関連社会資本）	0	0	0	0.0
公共施設管理者負担金	0	0	0	0.0
基金整備事業	13,146	13,146	0	100.0
その他（単独事業等）	20	20	0	100.0
小　計	16,714	16,714	0	100.0
合　計	568,830	550,897	15,159	96.8

○津嘉山北地区土地区画整理事業の概要

- 施行地区の面積　71．4ha
- 施行期間　平成5年度～令和5年度
- 総事業費　29,600,000千円
- 仮換地指定　平成11年5月20日（100%）

令和元年度末までの整備状況

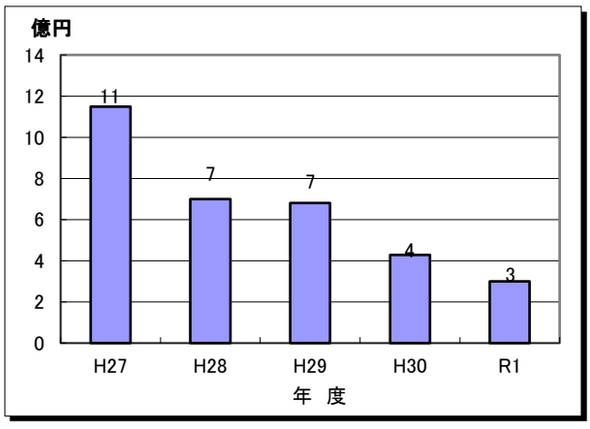
項　目		全体計画	R1年度実績	R1年度末迄の実績	整備率(%)
事業費（千円）※		29,600,000	299,658	23,789,984	80.4
整備面積（ha）		71.4	0.6	41.5	58.1
補償物件	建物（戸）	343	1	329	95.9
	墳墓（基）	4	0	4	100.0
道路築造	都市計画道路(m)	5,427	72	2,679	49.4
	区画道路(m)	11,828	207	6,594	55.7
	特殊道路(m)	530	0	0	0.0
	小　計	17,785	279	9,273	52.1

※事業費は、磁気探査等を除く事業計画の費用とする。

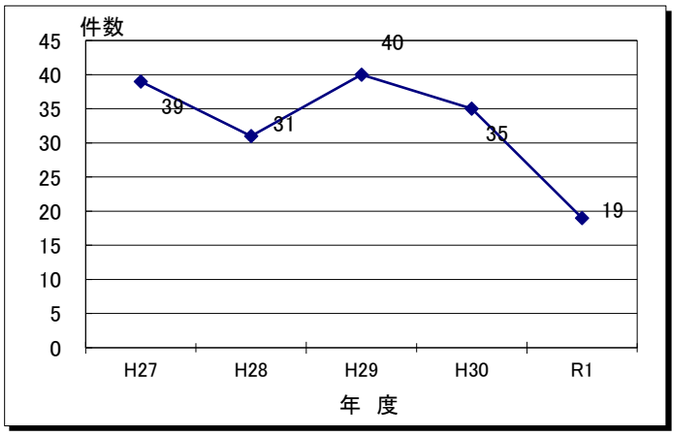
次ページへ続く

事業の実施内容

事業費の推移
（※単独事業費分を含み磁気探査事業を除く）



土地区画整理法76条許可申請（年度別推移）
（※区域内で建築申請する場合に必要な許可申請）



★津嘉山北土地区画整理事業（工事施行後の写真）

●本部公園線　工事完了

●旧津嘉山ハイツ周辺　造成工事中

●津嘉山585番地周辺　工事完了

●津嘉山421番地周辺　工事完了

事業の成果

土地区画整理事業の基本的な整備計画として、幹線都市計画道路（国道507号津嘉山バイパス）を最優先とすると共に、その他の都市計画道路（現道国道507号、津嘉山西線、本部公園線等）に係る建物移転補償や造成工事等を重点的に実施してきました。その結果、令和元年度末現在の全体面積における整備率約58％、建物補償整備率約96％となり、事業費の執行率は、80％となりました。それにより、地区内では関係地権者による造成後の土地利用等も年々増えており、今後とも早期に宅地造成や道路築造が完了できるよう事業執行に努めてまいります。

予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳				
			国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
	568,830	550,897	0	185,718	19,400	107,953	237,826

令和元年度主要施策の成果に関する報告書

単位：千円

事業名	土地区画整理事業特別会計繰出金			予算科目	会計	一般会計	01
部　課	経済建設部　区画下水道課	課長名	桃原　正善		款	土木費	08
連絡先	889－2508				項	都市計画費	04
目　標	みどりとまちが調和した安全・安心のまち				目	都市計画費	01

事業の目的	対象（誰を・何を）	意図（どういう状態にしたいのか）
	町民など	津嘉山北土地区画整理事業執行のため「土地区画整理事業特別会計」の安定を図ります。

事業の実施内容

○土地区画整理事業特別会計は、国・県の補助金をはじめ保留地処分金等で事業が行われます。しかし、整備の途中であり、保留地の処分がまだ少ないこと、補助事業等で道路・宅地造成を行ってますが、補助が十分でないことから事業遂行のため一般会計から土地区画整理事業特別会計へ繰出金として支出しています。

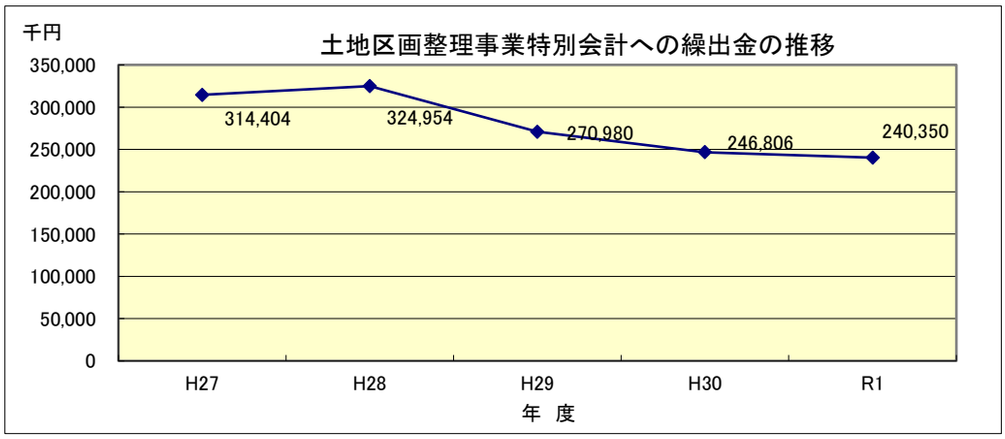
○土地区画整理事業特別会計繰出金(一般会計から)

予算額　240,350 千円　　決算額　240,350 千円

○年度別土地区画整理事業特別会計繰出金の推移

単位：千円

年度	H27	H28	H29	H30	R1
金額	314,404	324,954	270,980	246,806	240,350



※令和元年度の一般会計からの繰出金240，350千円は、主に下記に充当しました。

・補助事業における補助金以外の町負担金
・補助事業等に要した公債費の償還金
・土地区画整理事業を担当する職員の人件費

事業の成果

土地区画整理事業特別会計へ繰出金を行い、津嘉山北土地区画整理事業を促進し、同事業における予算の安定を図ることができます。

予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳				
			国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
	240,350	240,350					240,350

６　環境と共生する
美しく住みよいまち

令和元年度主要施策の成果に関する報告書

単位：千円

事業名	環境保全対策事業			予算科目	会計	一般会計	01
部課	経済建設部　区画下水道課	課長名	桃原　正善		款	衛生費	04
連絡先	889－2508				項	保健衛生費	01
目標	環境と共生する美しく住みよいまち				目	環境衛生費	04

事業の目的	対象（誰を・何を）	意図（どういう状態にしたいのか）
	住民	くみ取り便所及び既設の単独浄化槽から合併浄化槽に転換する方に対し、浄化槽の設置に係る費用の一部を助成し、もって、生活雑排水による公共用水域の水質汚濁を防止します。

事業の実施内容

○環境保全対策事業費

予算額:　891 千円　　決 算 額 :　891 千円

決算内訳

1. 南風原町浄化槽設置補助金　880 千円

単独浄化槽から合併浄化槽へ転換する方に対して助成を行いました。

2. 沖縄県合併浄化槽普及促進市町村協議会補助金　11 千円

事業の成果

単独浄化槽から、5人槽、10人槽の合併浄化槽へそれぞれ1基づつ転換する方に対して助成を行いました。

予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳				
			国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
	891	891	440				451

令和元年度主要施策の成果に関する報告書

単位：千円

事業名	環境保全対策事業			予算科目	会計	一般会計	01
部課	総務部　住民環境課	課長名	宮城　広子		款	衛生費	04
連絡先	889－1797				項	保健衛生費	01
目標	環境と共生する美しく住みよいまち				目	環境衛生費	04

事業の目的	対象（誰を・何を）	意図（どういう状態にしたいのか）
	町内全域（野犬等、その他害虫、不法投棄）	野犬対策やそ族害虫等の駆除、不法投棄の防止やその他苦情処理を行い、住み良い環境を維持します。

事業の実施内容

★　環境保全の啓発・対策　　204千円

定期的に町内を巡回し、地域の環境状況の把握や環境関係の苦情処理、ごみの収集状況や不法投棄などに対処しました。また、不法投棄防止看板の設置等により違法行為の未然防止に努めました。

↑不法投棄されたマットレス

↑不法投棄された自転車

★　蚊・そ族昆虫等の駆除

①ヤスデ対策

ヤスデは、異状発生すると人間へ恐怖感や不快感を与えるため、不快害虫と呼ばれます。
町ではヤスデ駆除剤購入経費の半額補助（1，200円を600円）を行いました。

過去5年の販売実績　　（袋）

年　　度	27年度	28年度	29年度	30年度	元年度
販売実績	22	26	29	25	8

②ハチ対策

町内で相談の多いハチの種類はミツバチ・アシナガバチがほとんどで、発生場所は自宅や歩道等がほとんどです。問い合わせがあった場合は、担当職員で現場を確認しアドバイスを行っています。

過去5年の苦情件数　　（件）

年　　度	27年度	28年度	29年度	30年度	元年度
苦情件数	5	5	9	6	4

★狂犬病予防注射、犬登録関係経費　　256千円

狂犬病予防法に基づき、生後91日以上の犬の飼い主には、その犬の所在する市町村への犬登録と年1回の狂犬病予防注射を受けさせることが義務づけられています。狂犬病は人と動物の共通感染症であり、発病するとほぼ100％死に至る恐ろしい病気です。そこで町では毎年5月下旬～6月上旬頃、町内15カ所で狂犬病予防集合注射を実施し、接種率の向上に努めています。また、犬の登録事務等を動物病院へ委託することで、役場に行かなくても登録申請等ができるようになりました。

（件）

年　度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	元年度
犬登録数	1,793	1,708	1,829	1,769	1,331	1,262	1,208
狂犬病予防注射数	863	820	820	805	723	721	759

事業の実施内容

←狂犬病予防注射の様子

《野犬の捕獲》

野犬は、敷地内への侵入や人畜等への咬傷事故の危険を伴うことから、町で捕獲を行っています。飼い犬が捨てられ野生化したと思われる犬や、敷地から逃げた徘徊犬が野犬と間違われて捕獲される例が多く見られ、飼い主の自覚と責任が求められています。

《野良猫対策》

猫は、犬のように飼い主への登録義務がありません。しかし、敷地内へのふん尿や夜なき等の苦情があった場合は、飼主や、野良猫へ餌付けをしている方へ指導を行っています。

← 保護された犬、猫

★ その他環境保全に係る経費　　10千円

環境保全の取り組みを推進するため、協議会や民間団体等へ負担金や補助金を交付しています。主な経費として沖縄県アジェンダ21県民会議等への負担金があります。

事業の成果

環境保全の啓発・対策では、不法投棄防止看板設置等により不法投棄の未然防止を図ることができました。また環境衛生では、犬の登録及び狂犬病予防注射を啓発・実施することで、人間を含め多くの動物への狂犬病感染の防止を図りました。さらに、登録されている飼い犬の生存・所在地確認等を行うことで犬の登録数を整理し、狂犬病予防接種率向上に努めました。また、野犬捕獲や野良猫対策、不快害虫の駆除剤半額補助等の実施により、町民が住みよい快適な生活環境づくりを推進することができました。

予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳				
			国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
	500	470				470	0

令和 元年度主要施策の成果に関する報告書

単位：千円

事業名	指定ごみ袋還元基金事業			予算科目	会計	一般会計	01
部 課	総務部 住民環境課	課長名	宮城 広子		款	衛生費	04
連絡先	889－1797				項	清掃費	02
目 標	環境と共生する美しく住みよいまち				目	塵芥、し尿処理費	01

事業の目的	対象（誰を・何を）	意図（どういう状態にしたいのか）
	町民や町内事業所等	町の指定ごみ袋の売上収入を基金として積立て、ごみの資源化や減量化を推進することや、環境保全活動の助成を行うことで、快適な生活環境づくりをめざしていきます。

事業の実施内容

★ 生ごみ処理機等購入補助金 83千円

ごみの資源化・減量化の一環として、生ごみ等の自己処理を推奨し、堆肥化を促進するため生ごみ処理機等購入補助金を交付しています。令和元年度は処理容器4世帯、処理機4世帯に補助金を交付しました。

★ エコセンター運営費 3,376千円

リサイクル情報の収集・提供、環境講座や環境学習ツアー、学校制服や体育着の再利用など、リサイクルの普及・啓発活動の拠点として、はえばるエコセンターを運営（委託）しました。

環境講座の様子

資源ごみ集団回収の様子

★ 資源ごみ集団回収等事業報奨金 670千円

資源の有効利用とリサイクルの推進を図るため、資源ごみ集団回収団体に報奨金を交付しています。令和元年度は40団体に報償金を交付しました。

事業の成果

生ごみ等処理機の購入補助を通してごみの堆肥化・減量化を促進し、ごみ減量に関心をもってもらうことができました。エコセンターでは、リサイクル情報の収集・提供、講座等を行っています。その活動を通して、循環型社会、豊かな自然環境の保全へ向けての普及・啓発活動の拠点となっています。環境教育・環境学習により、環境保全に対する子ども達の関心を高めることができました。また、資源ごみ集団回収団体へ報奨金を交付することにより、資源の有効利用とリサイクルの推進を図ることができました。

予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳				
			国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
	4,418	4,129				4,129	0

令和元年度主要施策の成果に関する報告書

単位：千円

事業名	ごみ処理対策事業			予算科目	会計	一般会計	01
部課	総務部　住民環境課	課長名	宮城　広子		款	衛生費	04
連絡先	889－1797				項	清掃費	02
目標	環境と共生する美しく住みよいまち				目	塵芥、し尿処理費	01

事業の目的	対象（誰を・何を）	意図（どういう状態にしたいのか）
	町民及び町内にある事業所などから排出される一般廃棄物	廃棄物の分別を推進し排出を抑制するとともに、再資源化を図り、適正処理することで町民の快適でうるおいのある生活を確保します。

事業の実施内容

歳出部門

1　家庭系ごみの処理にかかる経費

- ★ 家庭系ごみ収集・運搬委託料（4者へ委託）　38,400千円
- ★ 那覇市・南風原町環境施設組合負担金　156,454千円
- ★ 町指定ごみ袋作成費（印刷製本費）　9,583千円
- ★ ごみの指定袋販売委託料　6,345千円

共同住宅ごみステーション（入居者共通のかごが設置されてます）

分別作業の様子（ﾜｰｸﾌﾟﾗｻﾞ南風）

2　資源・粗大ごみの処理

- ★ 資源・粗大ごみ収集・運搬委託料（ワークプラザ南風へ委託）　27,679千円
- ★ ソファ・マットレス処理委託料（ワークプラザ南風へ委託）　344千円
- ★ 粗大ごみ処理券販売委託料　195千円
- ★ 草木処理委託料（草木を堆肥化しています一括交付金）　6,938千円
- ★ 施設使用料（那覇市へ草木処理ヤード使用料）　61千円
- ★ 計量手数料（草木計量時）　142千円
- ★ 容器包装びん再商品化委託料（PETﾎﾞﾄﾙ・色ﾋﾞﾝ等の処理）　157千円

3　その他のごみ処理費

- ★ 町内一斉清掃ごみ処理手数料（草木堆肥化）　2,437千円
- ★ 一斉清掃ごみ運搬車使用料　411千円
- ★ 動物死骸処理手数料　46千円

歳入部門

1　手数料収入

- ★ 一般廃棄物許可手数料　42千円

2　諸収入

- ★ 資源ごみ売上収入（古紙・カン・ビン・古着・廃食油）　3,117千円
- ★ 粗大ごみ処理券収入（粗大ごみシール券300円・600円の売上）　2,739千円
- ★ ごみ袋指定化収入（可燃・不燃・有害危険ごみ袋の売上）　48,462千円

事業の成果

廃棄物処理法第4条では、「市町村はその区域内における一般廃棄物の減量に関し住民の自主的な活動の促進を図り、及び一般廃棄物の適正な処理に必要な処理に必要な措置を講ずるよう努める･･･」とあり、一般廃棄物の処理は町民の日常生活にもっとも密着した行政サービスの一つであります。町民へ廃棄物減量を推進するとともに、一般廃棄物の適正処理も実施することができました。

予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳				
			国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
	249,458	249,192		9,746		82,961	156,485

7　行財政計画

令和元年度主要施策の成果に関する報告書

単位：千円

事業名	議会運営事業			予算科目	会計	一般会計	01
部課	議会事務局	局長名	比嘉　勝治		款	議会費	01
連絡先	889－3097				項	議会費	01
目標	行財政計画				目	議会費	01

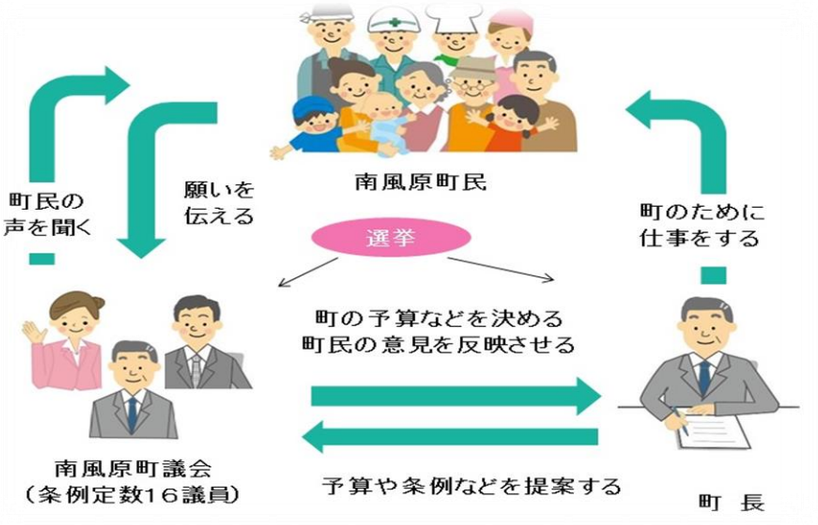
事業の目的	対象（誰を・何を）	意図（どういう状態にしたいのか）
	町政の課題や対応する政策の形成・決定、町民福祉の向上・利益について審議します。また、国・県・関係省庁などに意見書を提出し、国政や社会問題について、議会の意思を明らかにするために審議・決議を行います。	議会の権限の中で重要なものは、①条例の制定・改廃　②予算の決定　③決算の認定　④一定金額以上の契約の締結等の審議です。その他町民の福祉向上・利益につながることを審議し、議会が住民の理解・信頼を得るよう活動を行っています。

事業の実施内容

	予算項目	令和元年度予算	予算執行額	不用額
1	議員報酬	46,176千円	46,176千円	0千円
2	議員期末手当	14,180千円	14,180千円	0千円
3	議員共済費	16,536千円	16,535千円	1千円
4	旅費	2,692千円	2,424千円	268千円
5	議長交際費	66千円	64千円	2千円
6	負担金、補助金	4,272千円	3,887千円	385千円
7	行政経費	297千円	249千円	48千円
合計		84,219千円	83,515千円	704千円

令和元年度の議会運営事業は、前年度（平成30年度決算額81,152千円）と比較して、2,363千円の増となっており、主な理由は平成30年4月から9月の間、議員辞職による1名減（定数16名）に伴う、議員報酬、期末手当、共済費の減によるものです。

その他、議員の調査研究等により、町政の課題及び町民の意思を把握、収集し、町政に反映させ住民福祉の増進を図る活動の為の経費に対して交付する政務活動費（議員1人当たり年額6万円）については、6年目となり、使途の内訳では、主に調査研究費、広報・広聴費、資料購入費に充当されています。



事業の成果

令和元年度は、定例会が4回、臨時会が3回招集され、議案等123件を可決、陳情14件を採択しました。

また第8回議会報告会を5月20日にイオン南風原店1階イベント広場で開催し、45人の参加がありました。町民が参加しやすい場所で、議員と町民の距離を近づけることで、意見を聞きやすい環境づくりを心がけました。

更には、10月7日に町民生委員・児童委員連合会、2月15日に町学童保育連絡協議会と意見交換会を行い、両団体の現状把握に努めました。

予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳				
			国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
	84,219	83,515					83,515

令和元年度主要施策の成果に関する報告書

単位：千円

事業名	企画事務事業			予算科目	会計	一般会計	01
部　課	総務部　企画財政課	課長名	與那嶺　秀勝		款	総務費	02
連絡先	889－0187				項	総務管理費	01
目　標	行財政計画				目	企画費	08

事業の目的	対象（誰を・何を）	意図（どういう状態にしたいのか）
	町民、行政職員および関係団体・機関等	効果的な行政運営のための計画推進及び必要に応じて広域行政等による事業実施を進めます。

事業の実施内容

○南部広域市町村圏事務組合負担金
広域化する行政需要や地域共通の課題に対して、県内市町村及び近隣市町との連携による行政サービスの拡充を目指し、各広域行政による取り組みを推進しました。

総務費　　1，668千円
衛生費　　20，220千円（南部広域圏南斎場建設事業負担金）

令和元年度の主な事業
（1）ふるさと市町村圏基金事業
・広域研修事業（自治体職員政策形成セミナーの開催）
・芸術文化推進事業（日露交歓コンサート2019沖縄公演の開催）
・青少年健全育成事業
（2）「南斎場」の管理運営

・日露交歓コンサート2019沖縄公演（南風原町）の様子

○その他負担金など
・南部広域行政組合負担金　　1，905千円
・島尻地域振興開発推進協議会負担金　　158千円
・その他（手数料）　　1千円

事業の成果

広域行政については、火葬場など複数の市町村で実施した方が財政負担が軽減される事業や単独の市町村では解決が困難な事業について、共同で事業を実施しました。また、関係市町村の出資金と沖縄県からの補助金により設置した「ふるさと市町村圏基金」の運用益を活用して、広域研修事業や芸術文化推進事業等を実施しました。

予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳				
			国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
	23,962	23,952					23,952

令和元年度主要施策の成果に関する報告書

単位：千円

事業名	電子計算事務事業			予算科目	会計	一般会計	01
部課	総務部　企画財政課	課長名	與那嶺　秀勝		款	総務費	02
連絡先	889－0187				項	総務管理費	01
目標	行財政計画				目	電子計算費	14

事業の目的	対象（誰を・何を）	意図（どういう状態にしたいのか）
	町民、職員など	住民サービスとしての窓口業務の多くを、コンピュータにより管理・運営し行政サービスの充実、強化を図ります。また、電子自治体を推進するとともに、セキュリティ性（安全・保障）を強化します。

事業の実施内容

業務の多くをコンピュータにより管理・運営することで行政サービスの効率化を図っており、個人情報の漏洩や不正使用など情報セキュリティの確保と個人情報保護に努めています。

1　事務システムの充実　　18,367　千円

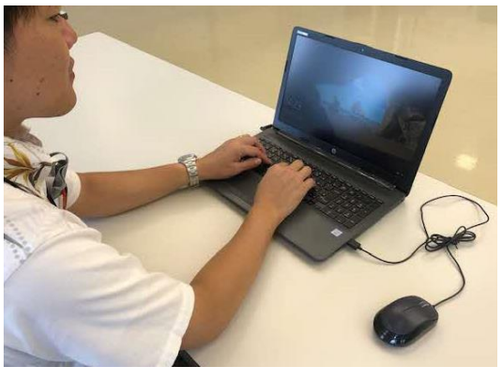
- ・情報システム機器使用料　10,025千円
- ・情報システム機器保守委託料　3,948千円
- ・システム改修費用　1,223千円
- ・備品・その他　3,171千円

2　行政情報システムの強化　　10,253　千円

- ・SE派遣委託料　5,232千円
- ・ウィルス対策費用等　5,021千円

3　セキュリティ強靭性の向上　　2,818　千円

- ・ネットワークの分離等によるセキュリティ強化対策事業委託料　1,282千円
- ・地方公共団体情報セキュリティ強化対策事業負担金　1,536千円



・各課で使用する共用パソコン

事業の成果

事務の効率化を図るため業務の多くをシステム化し、コンピュータ等の安定した管理・運営を行いました。また、システムの運用、管理の強化を図るため、専門の業者と保守委託契約の締結を行うことにより、トラブルが発生した時においても迅速な対応を行いました。
さらに情報セキュリティの強化を行うとともに、業務がスムーズに行えるよう整備を行いました。

予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳				
			国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
	32,487	31,438					31,438

令和元年度主要施策の成果に関する報告書

単位：千円

事業名	ふるさと納税推進事業			予算科目	会計	一般会計	01
部　課	総務部　企画財政課	課長名	與那嶺　秀勝		款	総務費	02
連絡先	889－0187				項	総務管理費	01
目　標	行財政計画				目	企画費	08

事業の目的	対象（誰を・何を）	意図（どういう状態にしたいのか）
	町外に在住のふるさと納税（寄附）者	ふるさと納税制度を活用し、事業の財源確保を図るとともに町、事業所が一体となり南風原町のPRや地域活性化を目指して取り組みます。

事業の実施内容

主な経費　132,806 千円
- ふるさと納税業務委託料　107,822 千円
- その他の経費　24,984 千円

業務委託の主な内容
（1）ふるさと納税のプロモーション（町及び町特産品のPR）
（2）返礼品の開拓、企画、交渉
（3）返礼品の発注、配送依頼、管理
（4）返礼品取り扱い事業者への精算業務
（5）寄附者及び返礼品取り扱い事業者からの問い合わせ対応
（6）寄附管理システムの構築及び提供

▼ふるさと納税返礼品

▼ふるさと納税の受入実績（過去5年間）

	件数(件)	寄附受入金額(円)
令和元年度	15,602	208,762,000
平成30年度	2,733	55,292,000
平成29年度	812	14,894,008
平成28年度	10	750,000
平成27年度	14	940,000

※団体による寄附を含みます。

事業の成果

令和元年度は15,602件、208,762千円の寄附の受入があり、事業の財源確保、特産品のPRや地域活性化に繋がりました。

予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳				
			国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
	135,703	132,806	0	0	0	0	132,806

令和元年度主要施策の成果に関する報告書

単位：千円

事業名	住基・印鑑登録・旅券事務事業			予算科目	会計	一般会計	01
部課	総務部　住民環境課	課長名	宮城　広子		款	総務費	02
連絡先	889－4414				項	戸籍住民基本台帳費	03
目標	行財政計画				目	戸籍住民基本台帳費	01

事業の目的

対象（誰を・何を）	意図（どういう状態にしたいのか）
町民など	本町、豊見城市、南城市、与那原町、八重瀬町の5市町間で住民票や戸籍、印鑑証明書が受け取れる広域行政窓口サービス事業、マイナンバーカードの交付や住基カード及びマイナンバーカードを保持している方への土日祝祭日、早朝、夜間も各種証明書が取得できるコンビニ交付サービスや旅券の受付申請、交付を行っており、町民サービスの向上を図ります。

事業の実施内容

住民の皆様が町内外へ引っ越した時、又は婚姻届、離婚届、出生届、死亡届など役場へ届出後の住民基本台帳やマイナンバーカードの記録更新を行い、氏名、生年月日、性別、住所などが記載された住民票を編成しました。住民基本台帳は住民の方々に関する事務処理の基礎となるもので、住民票の写しの交付などにより、住民の方々の居住関係を公証するとともに国民健康保険、後期高齢者医療、介護保険、国民年金の被保険者の資格の確認、児童手当の受給資格の確認、学齢簿の作成、生活保護及び予防接種に関する事務、印鑑登録に関する事務処理のために利用されています。

また、旅券（パスポート）の受付申請・交付や、新規又は車検の切れている自動車を車検場に移動させる際、公道を臨時的に走らせるために必要な許可を受けるための制度、自動車臨時運行許可業務（仮ナンバー）を行い、住民の利便性に努めました。

主な経費	
窓口対応嘱託職員等報酬	6，704千円
偽造防止証明書用紙等印刷代・消耗品・通信運搬費	849千円
コンビニ交付事務委託料	569千円
コンビニ交付事務運営負担金	678千円
個人番号カード交付事業費交付金	5，307千円
その他の経費	360千円

交付状況

【窓口交付、自動交付機、コンビニ交付】　（単位：通）

窓口交付					自動交付機				コンビニ交付			
住民票謄抄本	印鑑証明書	戸籍謄抄本	諸証明	税証明等	住民票謄抄本	印鑑証明書	戸籍謄抄本	税証明等	住民票謄抄本	印鑑証明書	戸籍謄抄本	税証明等
20,075	8,423	8,109	2,560	5,685	4,223	2,529	562	1,004	2,707	1,268	226	712

	証明書	利用時間	設置場所
自動交付機	住民票、印鑑証明書 所得証明書、所得課税証明書 戸籍全部事項証明書 戸籍附票	7:00～22:00	南風原町役場
コンビニ		6:30～23:00	全国のファミリーマート、ローソン等のコンビニ

【旅券（パスポート）】　（単位：件）

一般旅券の発給申請の受理					一般旅券の交付					紛失・焼失届出受理			
10年	5年	子供	変更	計	10年	5年	子供	変更	計	10年	5年	子供	計
501	386	98	16	1,001	520	403	106	18	1,047	6	1	0	7

【自動車臨時運行許可業務（仮ナンバー】

件数（件）
1,912

【マイナンバーカード交付総件数】

件数
3,831

事業の成果

・個人番号カード（マイナンバーカード）や住民基本台帳カードを利用し、南風原町役場設置の自動交付機や全国のコンビニを利用することで、土日祝祭日及び時間外も各種証明書を取得することができます。

・本町、豊見城市、南城市、与那原町、八重瀬町の5市町間で証明書が受け取れる広域行政サービス事業、また、旅券（パスポート）の受付申請・交付や自動車臨時運行許可業務（仮ナンバー）を行い、町民サービスへの向上を図っています。

予算の執行状況

予算額	決算額	決算額の財源内訳				
		国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
15,260	14,467	7,328			132	7,007

令和元年度主要施策の成果に関する報告書

単位：千円

事業名	町県民税に係る経費			予算科目	会計	一般会計	01
部課	総務部　税務課	課長名	大城　あゆみ		款	総務費	02
連絡先	889－4413				項	徴税費	02
目標	行財政計画				目	税務徴税費	01

事業の目的	対象（誰を・何を）	意図（どういう状態にしたいのか）
	町民税納税義務者	課税客体の把握に努め、適正・公正な課税を実施します。また納税者が、町税の制度やしくみについて理解を深め、納税意識の高揚を図ることができるよう、窓口及び申告受付時の体制を強化します。

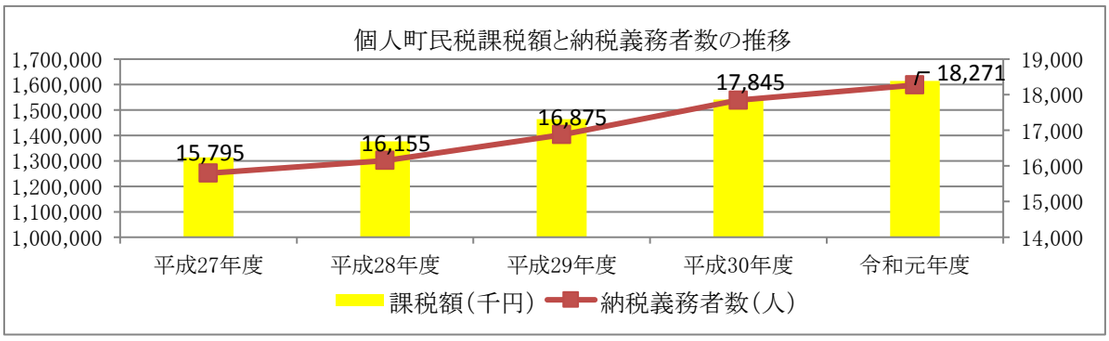
事業の実施内容

町で賦課徴収している住民税には、個人住民税（町民税・県民税）と法人町民税があります。個人住民税は前年中の所得に対しそれぞれの負担能力に応じて課される税です。法人町民税は、町内に本店や支店または事業所等がある法人等が申告納税しています。

《町民税の現年分課税額等の推移》

■個人町民税

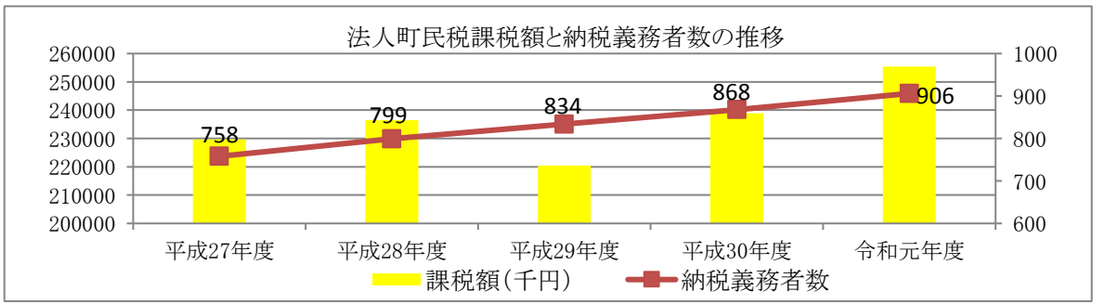
区分	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
課税額　（千円）A	1,313,832	1,376,585	1,464,065	1,540,796	1,613,842
納税義務者数　（人）B	15,683	16,155	16,875	17,618	18,271
1人当たりの金額（円）C=A/B	83,774	85,211	86,759	87,456	88,328



■法人町民税

区分	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
課税額　（千円）　a	229,713	236,496	220,444	238,944	255,424
納税義務者数（法人）　b	758	799	834	868	906
1法人当たりの金額（千円）c=a/b	303	296	264	275	282

※課税額：決算審査第6号様式より　※納税義務者数：課税状況調べ第48表より



令和元年度　主な経費等　15,354 千円

（内訳）
- 賃金・・・・・・・・・・ 3,765 千円
- 郵送費等・・・・・ 2,673 千円
- 委託・使用料・・ 7,955 千円
- 事務経費等・・・ 961 千円

事業の成果

個人住民税については、納税義務者数の増加等に伴い税収も増加傾向にあります。当初課税後においては、課税客体の調査及び未申告者への申告勧奨等をおこない、適正かつ公正な課税とサービス提供へつなげることができました。

法人町民税についても、納税義務者数及び課税額は、ともに増加傾向にあります。

予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳				
			国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
	16,777	15,354					15,354

令和元年度主要施策の成果に関する報告書

単位：千円

事業名	固定資産税に係る経費			予算科目	会計	一般会計	01
部　課	総務部　税務課	課長名	大城　あゆみ		款	総務費	02
連絡先	889－4413				項	徴税費	02
目　標	行財政計画				目	税務総務費	01

事業の目的	対象（誰を・何を）	意図（どういう状態にしたいのか）
	固定資産税納税義務者	固定資産（土地・建物・償却資産）に係る課税を適正に行い、納税者へ対し分かりやすい説明資料を提供することで納税意識の高揚を図ります。

事業の実施内容

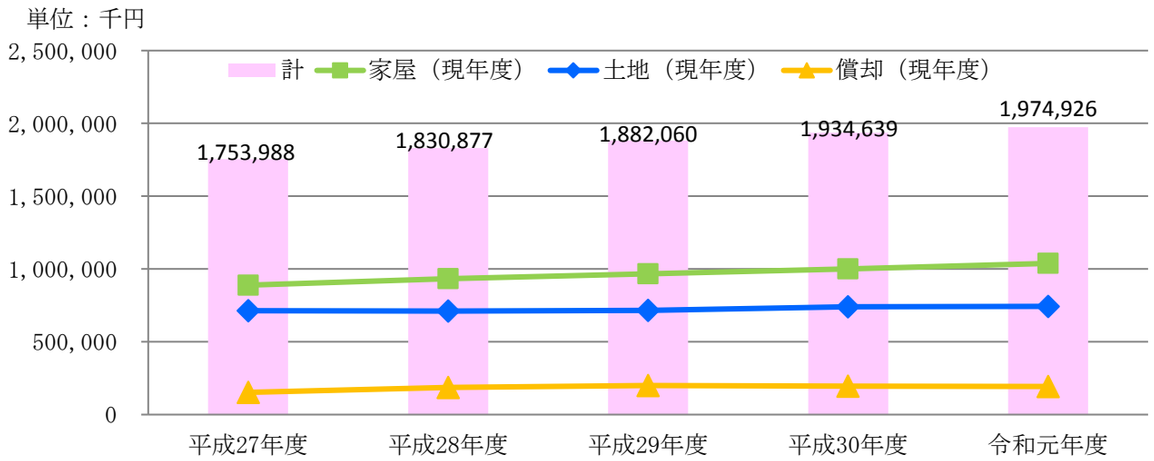
1．土地に対する課税を適正かつ円滑に行うための委託業務等・・・・9，766千円
〇主な業務内容
・地番データ修正、地目・地積データ修正業務（土地の分合筆に伴う地番データの修正、土地の利用状況の変更による課税地目データの修正等を行いました。）
・画地測量業務（新たに分合筆した土地や一体的に利用している土地の形状を測量し評価を行いました。）
・土地評価見直業務（令和3年度の評価替に向けた調査・評価等を行いました。）
・不動産鑑定業務（令和3年度の評価替えの基準となる標準宅地価格の不動産鑑定評価を行いました。）

2．家屋に対する課税を適切かつ円滑に行うための委託業務等・・・・1，468千円
〇主な業務内容
・家屋評価システム保守管理委託料（家屋評価システムの保守管理を行いました。）
・家屋評価システム使用料（家屋評価システムを用いて適正な評価計算を行いました。）

3．その他の経費・・・・4，328千円
内訳
消耗品費・印刷製本費　382千円　　その他（負担金等）　357千円
納税通知書等経費（役務費・委託料・使用料）　3．589千円

固定資産税現年分課税額（調定額）の推移　単位:千円

	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年年度
土地（現年度）	712,351	710,942	716,471	739,932	743,290
家屋（現年度）	889,009	933,101	965,862	999,623	1,038,328
償却（現年度）	152,628	186,834	199,727	195,084	193,308
計	1,753,988	1,830,877	1,882,060	1,934,639	1,974,926



事業の成果

課税業務の一部を外部委託することにより、限られた時間と人員で効果的かつ効率的に業務を行うことができました。

予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳				
			国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
	16,947	15,562					15,562

令和元年度主要施策の成果に関する報告書

単位：千円

事業名	町税（町県民税、軽自、固定）賦課徴収事業			予算科目	会計	一般会計	01
部　課	総務部　税務課	課長名	大城　あゆみ		款	総務費	02
連絡先	889－0523				項	徴税費	02
目　標	行財政計画				目	賦課税徴収費	02

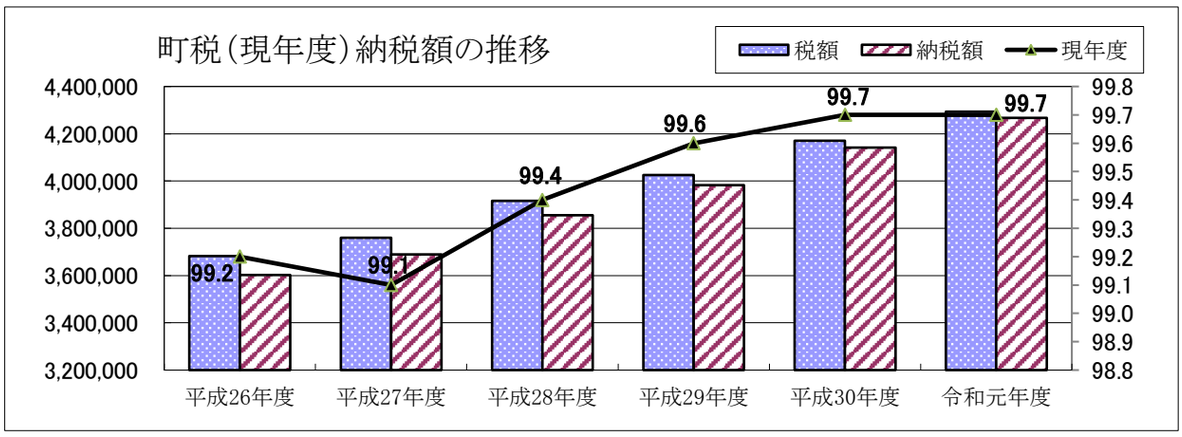
事業の目的	対象（誰を・何を）	意図（どういう状態にしたいのか）
	町税（町県民税、法人町民税、固定資産税、軽自動車税、たばこ税）の納税者	町税滞納者の実態を把握し催告、口座振替の推進、滞納処分等を行い税負担の公平性と町の自主財源確保に努めます。

事業の実施内容

主な経費　47,435 千円
- 納付指導員報酬（3人）　6,480 千円
- 過年度還付金　37,240 千円
- その他事務経費　3,715 千円

↑ ミラーズロックのようす

納付指導員の主な仕事
（1） 町税の納付指導に関すること
（2） 町税の口座振替に関すること
（3） 納税義務者の実態把握、調査及び連絡に関すること
（4） 納税義務者への納税意識の普及促進に関すること
（5） その他



（単位:千円）

項　　目		平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
税　　額		3,682,194	3,760,030	3,915,953	4,025,887	4,170,298	4,293,671
納　税　額		3,601,668	3,688,747	3,855,588	3,982,922	4,141,057	4,267,534
収納率	現年度	99.2	99.1	99.4	99.6	99.7	99.7
	滞納分	45.2	45.2	45.5	53.4	56.4	57.2
	合　計	97.8	98.1	98.5	98.9	99.3	99.4

事業の成果

・滞納者の生活状況、債権や資産、収入の調査を行い、納付が困難な場合は分割納付誓約等を提出させ完納へと繋げることができました。
・長期滞納者、高額滞納者、納税意識の低い滞納者の債権や資産の差押等を実施して積極的な滞納整理を展開することができました。
・催告書等により納付の推進を図ることができました。
・訪問徴収を廃止し、自主納付を強化推進することにより納期内納付意識の向上につながりました。
※令和元年度の成果として、納期内納付の強化推進や預貯金等の差押え、タイヤロック等を実施した結果、現年度・滞納分合計収納率が0.1％増となりました。

予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳				
			国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
	48,270	47,435					47,435